

# 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事

【水富公民館】				【水富小学校】	
【建築図】		【電気設備図】		【建築図】	
A-00	図面リスト	E-01	電気設備特記仕様書	A-18	特記仕様書（改修その1）
A-01	特記仕様書（改修その1）	E-02	【改修前後】電気設備（1階）	A-19	特記仕様書（改修その2）
A-02	特記仕様書（改修その2）	E-03	【改修前後】電気設備（2階）	A-20	案内図・配置図
A-03	特記仕様書（改修その3）			A-21	外部仕上表
A-04	特記仕様書（改修その4）	【機械設備図】		A-22	1階平面図
A-05	特記仕様書（改修その5）	M-01	機械設備特記仕様書（1）	A-23	2階平面図
A-06	特記仕様書（改修その6）	M-02	機械設備特記仕様書（2）	A-24	3階平面図
A-07	案内図・配置図	M-03	衛生器具表	A-25	R階平面図
A-08	1・2階平面図	M-04	【改修前後】給排水（1階）	A-26	北校舎矩計図
A-09	改修前 1階トイレ平面詳細図・展開図	M-05	【改修前後】給排水（2階）	A-27	南校舎矩計図
A-10	改修後 1階トイレ平面詳細図・展開図	M-06	【改修前後】換気（1階）	A-28	詳細図
A-11	改修前 2階トイレ平面詳細図・展開図	M-07	【改修前後】換気（2階）	A-29	詳細図（2）
A-12	改修後 2階トイレ平面詳細図・展開図			A-30	仮設計画図（参考）
A-13	改修前・後 天井伏図				
A-14	建具キープラン				
A-15	建具表（改修前）				
A-16	建具表（改修後）				
A-17	詳細図				





5 建具 改修 工事	① 改修工法 [5.1.3]	<p>建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所</p> <table border="1"> <tr> <td>・7.6に①製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内部</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・建具表による</td> </tr> </table> <p>②木製建具</p> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>	・7.6に①製建具	-	-	・建具表による	・樹脂製建具	-	-	・建具表による	・鋼製建具	・外部	-	・建具表による		・内部	-	・建具表による	・鋼製軽量建具	-	-	・建具表による	・ステンレス製建具	-	-	・建具表による
	・7.6に①製建具	-	-	・建具表による																						
	・樹脂製建具	-	-	・建具表による																						
	・鋼製建具	・外部	-	・建具表による																						
		・内部	-	・建具表による																						
・鋼製軽量建具	-	-	・建具表による																							
・ステンレス製建具	-	-	・建具表による																							
2 防火戸 [5.1.4]	<p>適用箇所 ※建具表による</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・行う ※建具表による</p>																									
3 見本の製作等 [5.1.5]	<p>建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) ・行わない</p> <p>建具見本製作の目的等: ( ) 特殊な建具の取組 ・行う (建具符号: ) ・行わない</p>																									
4 防犯建物部品 [5.1.7]	<p>適用箇所 (・建具表による )</p>																									
5 アルミニウム製建具 [5.2.2~5][表5.2.1、2]	<p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]</p> <p>耐風圧性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>・70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>-</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法 工法 水切り板、ぜん板等 ※図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	・70	※図示による	・B種	S-5	-	-	・100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	-	※図示による	
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																					
・A種	S-4	A-3	W-4	・70	※図示による																					
・B種	S-5	-	-	・100	※図示による																					
・C種	S-6	A-4	W-5	-	※図示による																					
6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm													
種類	材質	線径	網目																							
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																							
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																							

10 ステンレス製建具	性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	<p>簡易気密型ドアセット 適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ) (適用する建具 ※建具表による)</p>												
	①木製建具 [5.7.2~4]	<p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL</p> <p>形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放熱量 ※F☆☆☆☆</p>												
	②フラッシュ戸 [5.7.2~5]	<p>表面材のホルムアルデヒド放熱量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による</p>												
	表面材の合板の種類	<table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 [G]</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 [G]</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 [G]</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 [G]	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板 [G]	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)	
	合板の種類	規格等	備考											
・普通合板 [G]	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類)													
・天然木化粧合板 [G]	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類)													
・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類)													
表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する	<p>・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 線仕上げ ・塗り線 ・生地線(素地) ・生地線(ウレタンクイヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま 表面板の仕上 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紐張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 ・建具表による</p>													
③建具用金物 [5.8.1~3]	<p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による</p> <p>金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による ・建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による ・建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による ・建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による ・建具表による</p> <p>掘り玉、レバーハンドル、押板頭、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示</p> <p>錠前類 シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 クローザ類</p>													

17 軽量シャッター	管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	めっきの付着量 ※T2又はT12 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	開閉形式の種類 ・電動式(手動併用) ※手動式 [5.12.2~4] 耐風圧強度 ( ) Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による ) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 (※A290)	
	18 オーバーヘッドドア [5.3.2、3]	電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による )	セクション材料による区分 風圧力による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質	
	19 ガラス [3.7][5.14.2~4]	適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 ・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ 形状による種類 ・平面合わせガラス・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による等級 破片の状態及びショットの衝撃特性による種類 ・I類 ・II類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱進入率による区分 耐久性能による区分 (日射熱進入率が2種の場合) ・A種 ・B種 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ※図示による 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ※図示による		
	20 ガラスブロック [5.14.5]	呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能	160×160 ・95 200×200 ・95	雙用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示
	21 ガラス用フィルム	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 ※施工箇所は建具表による	種類 記号 その他性能等	・日射調整フィルム [G] 内貼り用 外貼り用 ・放射射フィルム ・衝撃破壊対応ガラス ・飛散防止フィルム ・層間部位破壊対応ガラス ・飛散防止フィルム ・ガラス貫通防止フィルム 品質 JIS A 5759 による 熱割れ計算書 ※要 ・不要 第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要

6 内装 改修 工事	① 改修範囲 [6.1.3]	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま</p>	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示の範囲 ・除去範囲全て)																		
	2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]	合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示)																		
	③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]	材料のホルムアルデヒド放熱量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(b)による	・JAS 1063-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]																		
	④ 施工一般 [6.5.2]	・JAS 1063-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級	※A種 ・ B種					※2級	※A種 ・ B種		
	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用															
		※2級	※A種 ・ B種																		
		※2級	※A種 ・ B種																		
5 製材 [G] [6.5.2]	・JAS 1063-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 A種 ・ B種					※1等	※10%以下 A種 ・ B種			
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																
		※1等	※10%以下 A種 ・ B種																		
		※1等	※10%以下 A種 ・ B種																		

Table with 4 columns: ⑨ 合板等, ⑩ 接合剤, 11 防蟻・防蟻処理, 9 接合具等, 12 内部間仕切軸組及び床組み, 13 窓、出入口その他, ⑪ 軽量鉄骨天井下地. Includes details on construction methods, materials, and specifications for various building components.

Table with 4 columns: ⑫ 軽量鉄骨壁下地, ⑬ ビニル床シート, 17 ビニル床タイル, 18 特殊機能床材, ⑭ ビニル幅木, 20 ゴム床タイル, 21 カーペット敷き, 22 合成樹脂塗床, 23 フローリング張り. Includes details on flooring materials, installation methods, and performance requirements.

Table with 4 columns: 24 畳敷き, ⑯ せっこうボード, 26 壁紙張り, ⑮ モルタル塗り, 28 タイル張り, ⑰ セルフレベリング材塗り, 30 フリーアクセスフロア, 31 可動間仕切, 32 移動間仕切, ⑱ トイレブース, ⑲ 手すり. Includes details on wall treatments, tile work, leveling materials, movable partitions, toilet enclosures, and handrails.

Table with 4 columns: ⑲ モルタル塗り, 28 タイル張り, ⑰ セルフレベリング材塗り, 30 フリーアクセスフロア, 31 可動間仕切, 32 移動間仕切, ⑱ トイレブース, ⑲ 手すり. Includes detailed specifications, material lists, and performance criteria for the finishing and flooring work.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 35 階段滑り止め, 36 黒板及びホワイトボード, 37 表示, 38 タラップ, 39 ブラインド, 40 ロールスクリーン, 41 カーテン, 42 カーテンレール, 43 ブラインドボックス及びカーテンボックス, 44 天井点検口, 45 床点検口, 46 くつふきマット, 47 流し台ユニット, 48 鋼製書架及び物品棚.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 49 屋内掲示板, 51 防煙垂れ壁, 52 収納家具.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 7 塗装改修工事, 3 素地ごしらえ, 4 錆止め塗料塗り.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 9 環境配慮改修工事, 4 石綿含有塗料の除去, 5 石綿含有建築用仕上塗料等の除去.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 8 耐震改修工事, 9 1 石綿粉じん濃度測定, 2 石綿含有吹付け材の除去, 3 石綿含有保温材等の除去, 4 石綿含有成形板の除去, 5 石綿含有建築用仕上塗料等の除去, 6 PCB含有シーリング材処分, 7 外断熱改修工事.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 8 断熱・防露改修工事, 9 屋上緑化改修工事.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 10 透水性アスファルト舗装改修工事.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 11 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 12 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 13 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 14 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 15 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 16 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 17 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 18 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 19 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 20 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 21 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 22 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 23 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 24 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 25 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

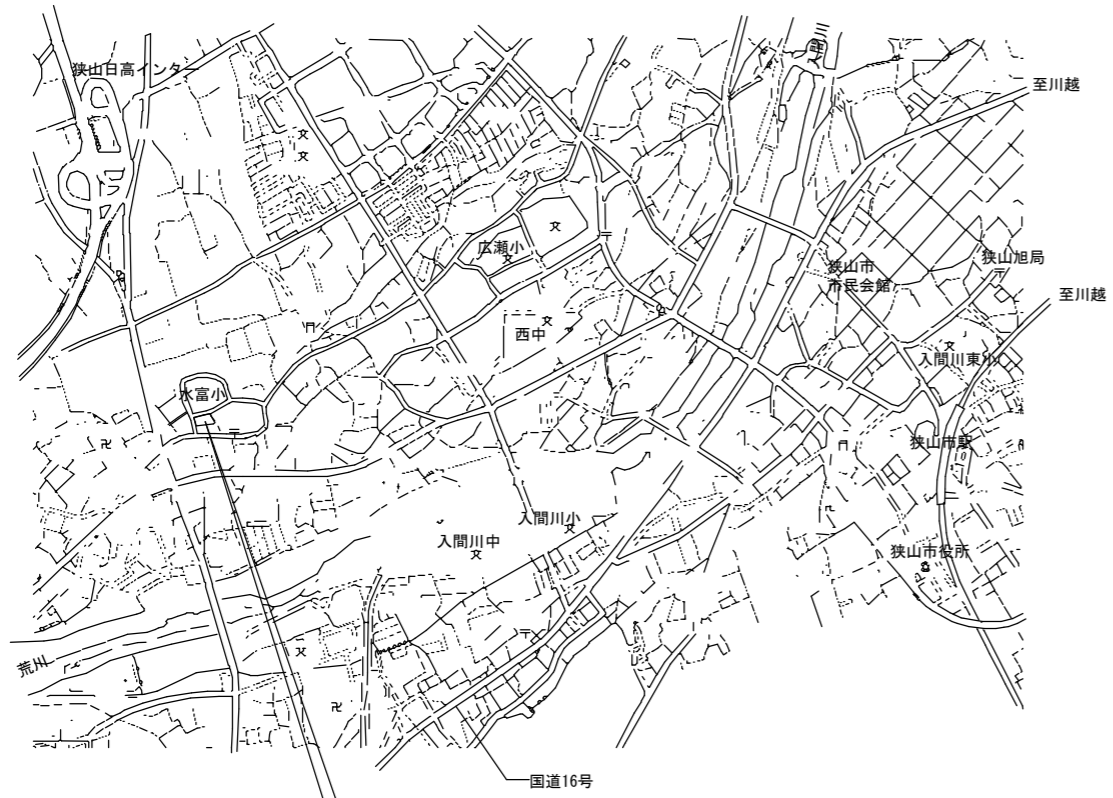
Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 26 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Specifications. Includes items like 27 舗装版切断時に発生する濁水の処理, 28 舗装版切断時に発生する濁水の処理, 29 舗装版切断時に発生する濁水の処理, 30 舗装版切断時に発生する濁水の処理.

10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類の種類 呼び径(mm) 備考 ・SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上
	② 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類の種類 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 100×100×6 床モルタル ・鉄筋格子
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐力スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋( ) ・重ね継手
	④ 鉄筋の定着	継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による( ) 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所にする部分の位置及び施工方法等 ・図示による( )
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による( ) 機械式定着工法 適用箇所 ・図示による( ) 種類 ・摩擦圧接結合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による
	6 各部配筋	鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。
	7 ガス圧接	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による( ) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 あり 適用箇所( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm
	8 機械式継手	※図示による (5.3.7)
	9 溶接継手	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) 引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(b)による

11 コンクリート工事	① コンクリートの種類等 (6.2.1)	施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・1ロットに対して( )箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置
	② セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む) ) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所( )
	3 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m <sup>3</sup> 以下)
	4 混和材料	種類 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による( ) 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による( ) ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による( )
	6 湿潤養生	湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( )日
	7 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) 種 別 適用箇所 ・A種 ※図示による( ) ・B種 ※図示による( ) ・C種 ※図示による( ) コンクリートの仕上りの平たんさ 種 別 適用箇所 ・a種 ※図示による( ) ・b種 ※図示による( ) ・c種 ※図示による( )
	8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・図示による( )
	③ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板(※12mm ) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による( ) ・MGR工法用シートの使用 適用箇所 図示による( ) 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 図示による( ) スリーブの材種・規格等 ・図示による( )
	10 軽量コンクリート	存置期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による( ) ) 適用箇所 (6.10.1.2) ・図示による( ) 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.11による スランブ ※21cm

11 コンクリート	11 寒中コンクリート	適用期間(月 日～ 月 日) (6.11.1.2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による( )、S=( )
	12 暑中コンクリート	適用期間(月 日～ 月 日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm <sup>2</sup> ・図示による( )、S=( )
	13 マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1.2) ・図示による( ) セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)
	14 無筋コンクリート	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による
	15 コンクリートの単位水量測定	コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18(N/mm <sup>2</sup> ) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による( ) 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m <sup>3</sup> に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5)単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。



案内図 N.S

- 凡例
- 工事範囲を示す
  - 工事車両出入り口を示す
  - 工事車両通行経路を示す
  - 交通誘導員を示す(搬出入時)
  - 仮設トイレ(洋:洋式、洗:手洗)
  - 植栽伐採(カイズカイブキ)

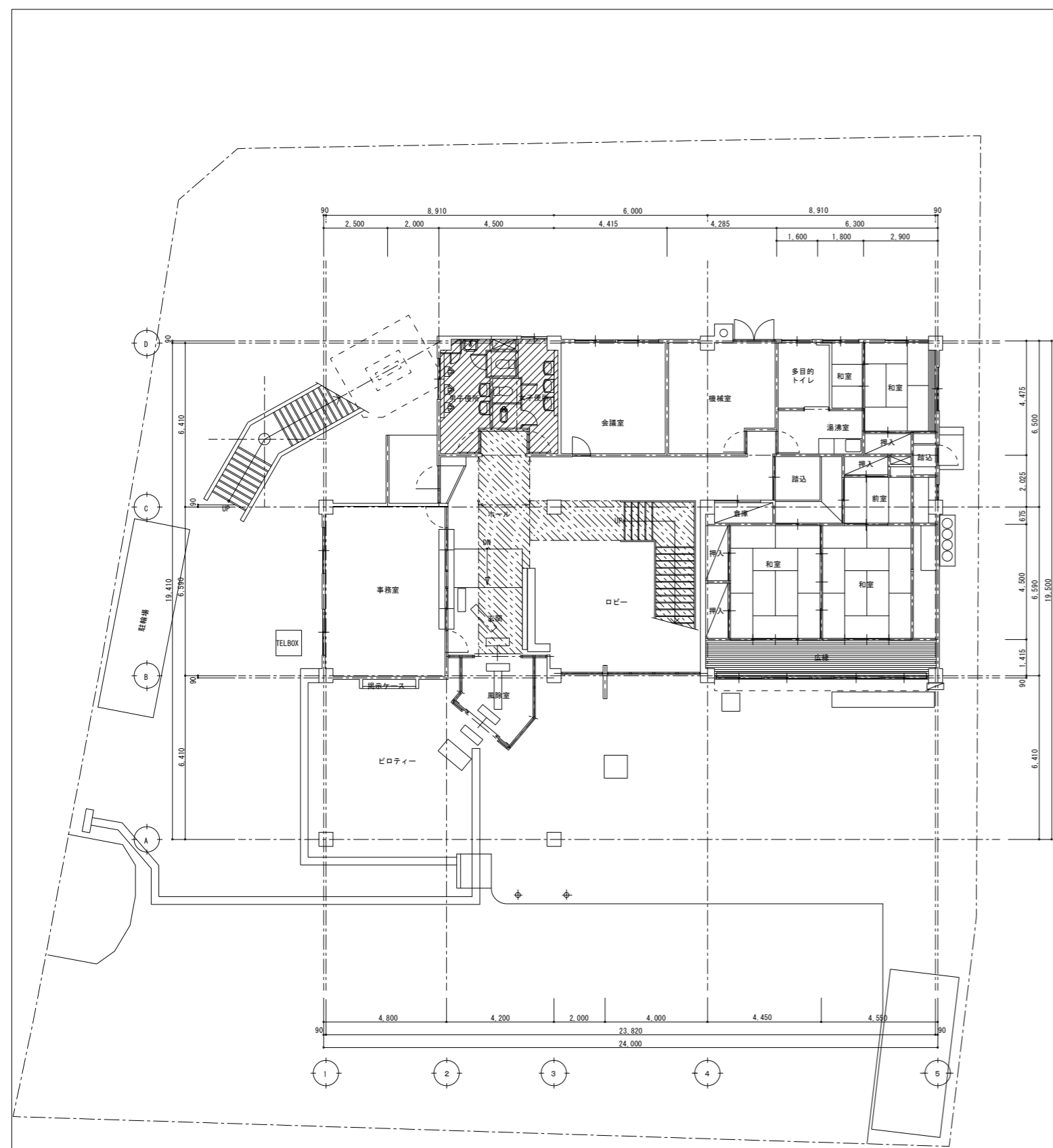
特記事項

- ・仮設計画は周囲の状況进行调查し、仮設計画図を作成の上、監督員の承認を受けること
- ・工事範囲において、地盤面、舗装面が荒れた場合は、整地、土砂補充舗装面の復旧を適宜行うこと
- ・工事開始前に施設職員・監督員と協議を行い施設の運営や行事に関して協力すること
- ・工事案内板を設置し、安全対策等について適宜指示を行うこと
- ・工事車両は、事前に台数、出入位置について施設職員と打合せを行い安全確認すること
- ・仮設トイレ仕様は洋式便座、水洗機能、施設機能、照明設備とする
- ・仮設トイレは男女別の表示をする

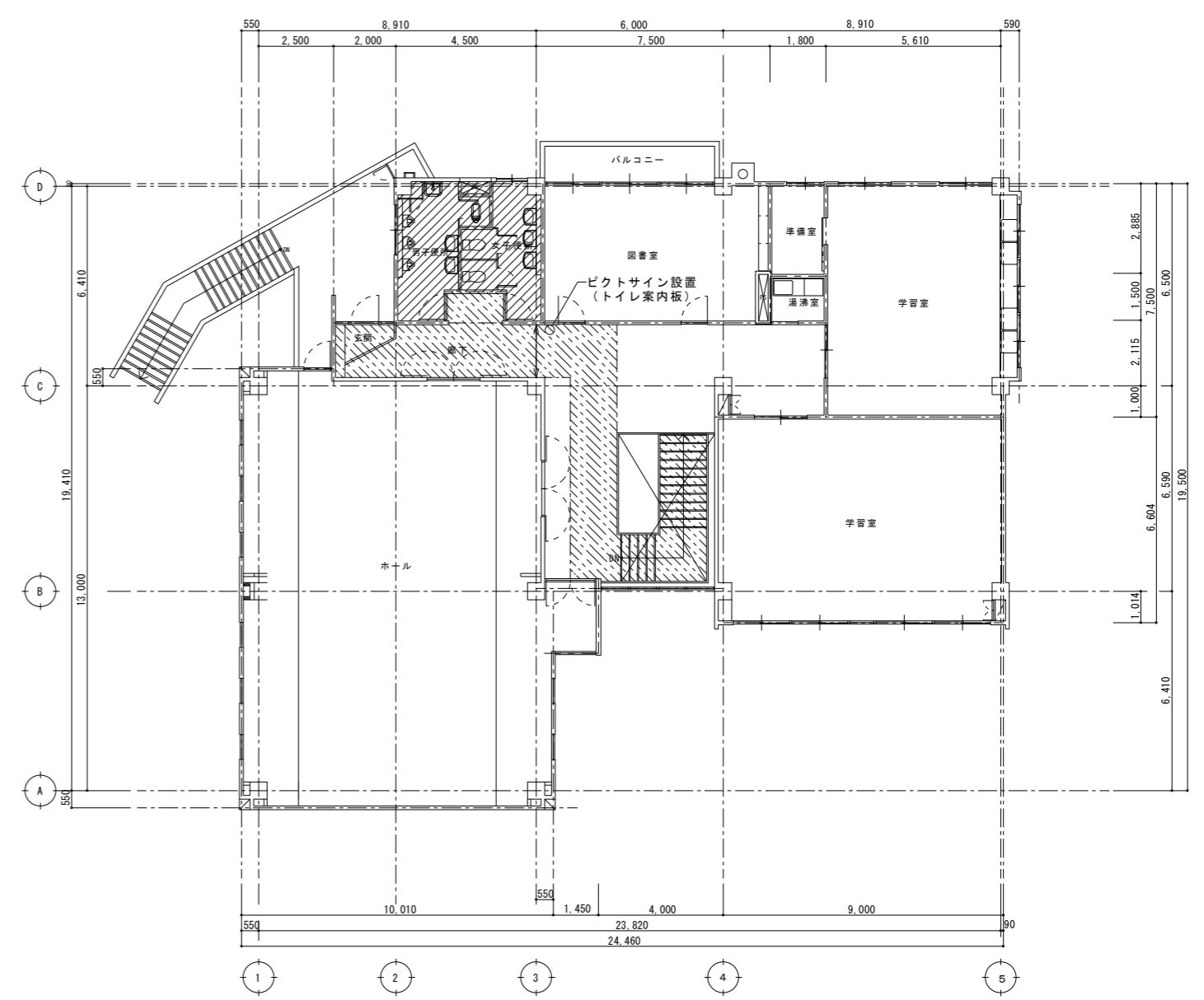


配置図 A2 1/300

狭山市 生涯学習部 教育施設管理課		工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
		図面名称 案内図・配置図	図面番号 A07
		縮尺 A2 1/300	

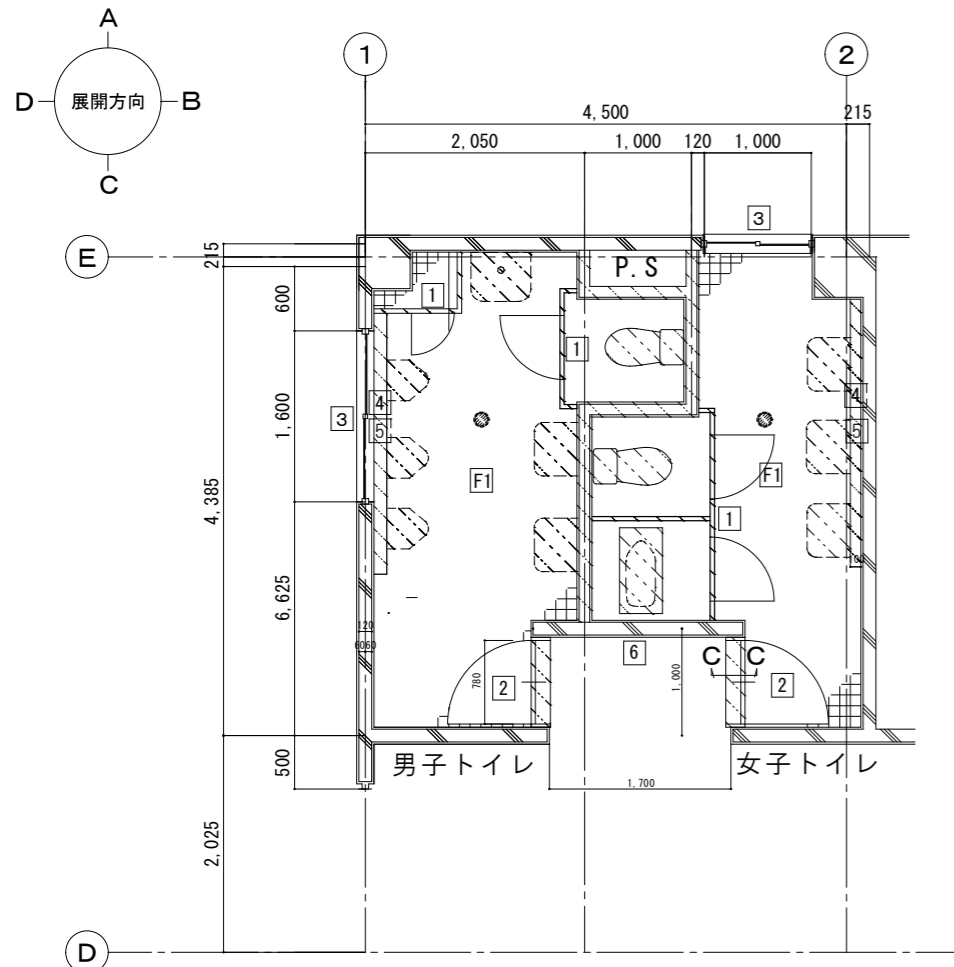


1階平面図 S=1/100

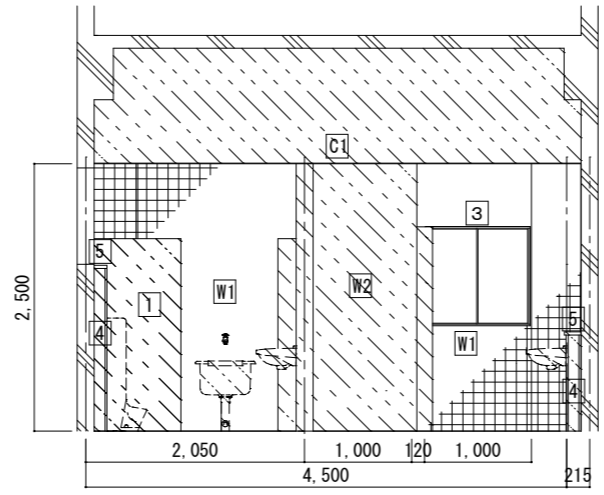


2階平面図 S=1/100

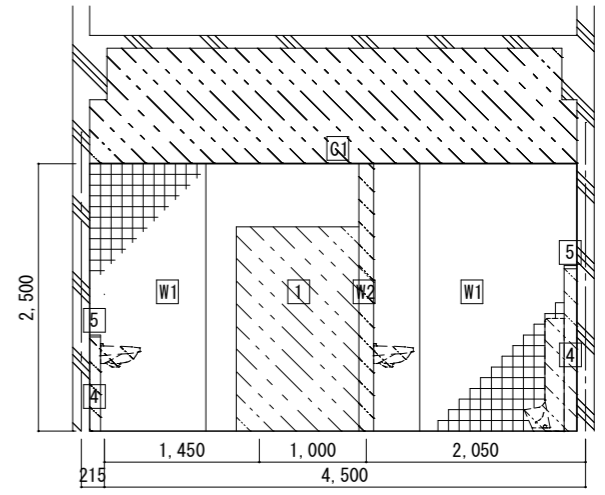
- 凡例
- 工事対象室 (脚立足場・養生・清掃)
  - 養生 (ブルーシート)
  - 仮設間仕切り: B種 出入戸設置



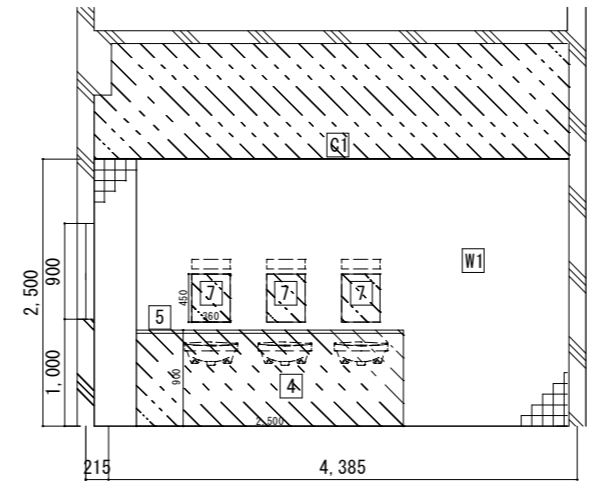
改修前 トイレ平面詳細図



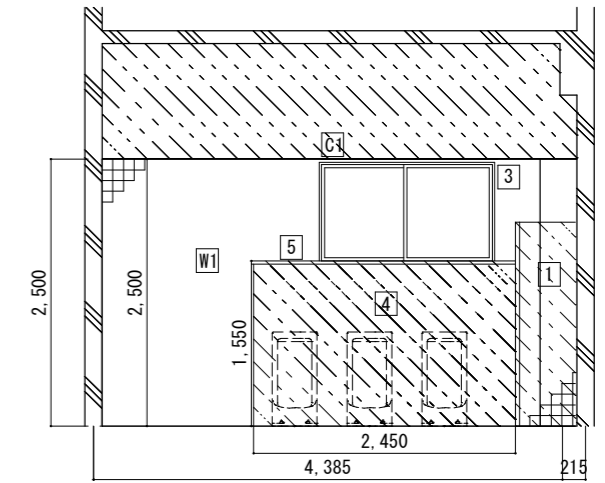
A側展開図



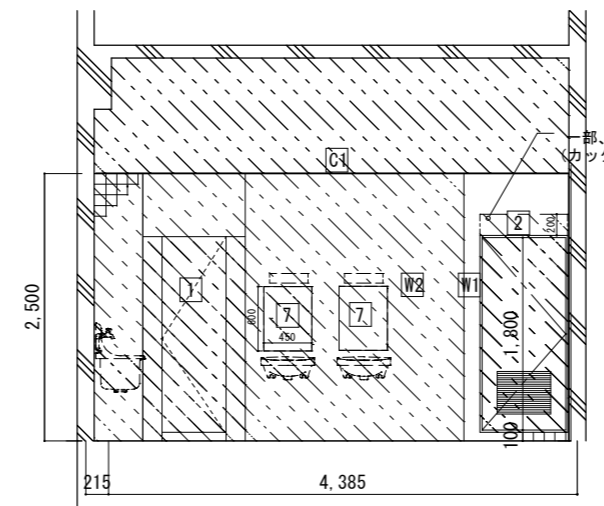
C側展開図



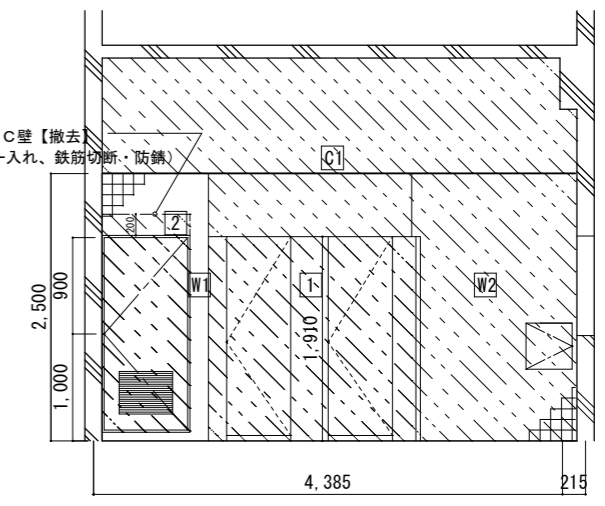
B側展開図 (女子トイレ)



D側展開図 (男子トイレ)



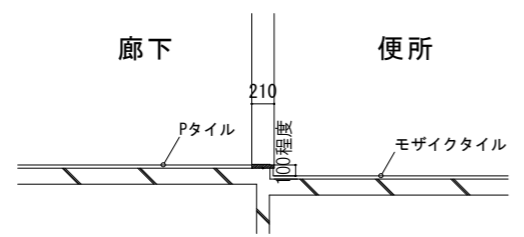
B側展開図 (男子トイレ)



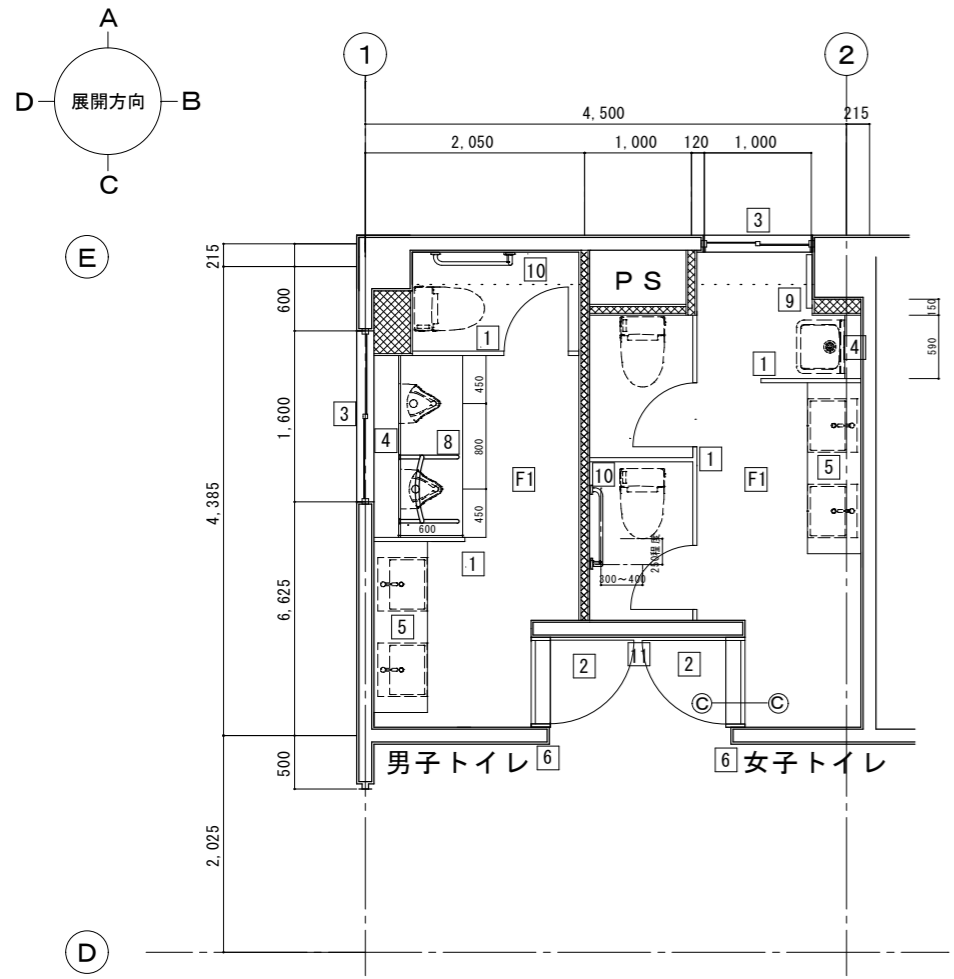
D側展開図 (女子トイレ)

記号	現況仕上表
F1	床 アスファルト防水、押えコンクリート、モザイクタイル
W1	壁 モルタル下地、タイル張り
W2	壁 LGS下地、石膏ボード t12.5 タイル張り
C1	天井 LGS下地、けい酸カルシウム板 t6 EP塗装
1	トイレブース t40
2	木製建具撤去 ドア枠・沓摺共
3	木額縁
4	配管ライニングCB
5	テラゾーブロック
6	ピクトサイン
7	化粧鏡、化粧棚

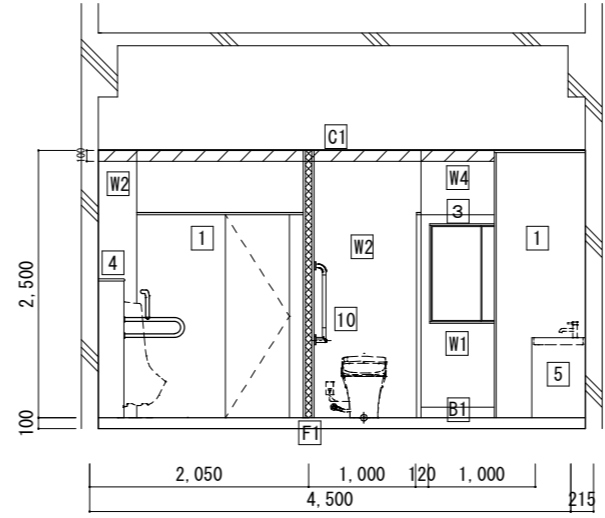
- RC躯体
- 撤去範囲
- 壁タイル前面調査 (浮きタイル撤去モルタル補修)
- 破線の設備機器は設備図による



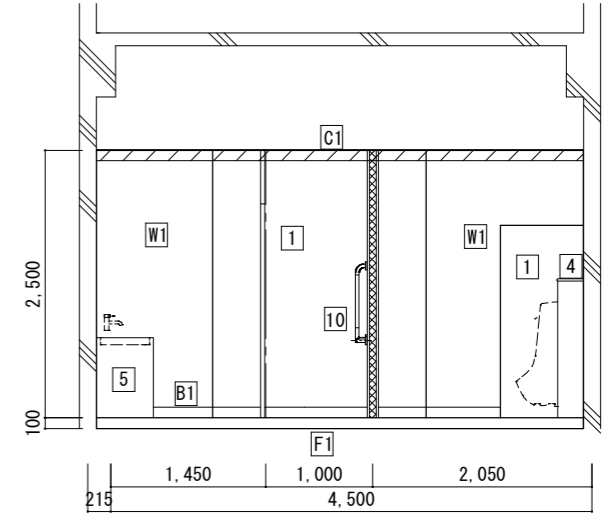
C-C断面図



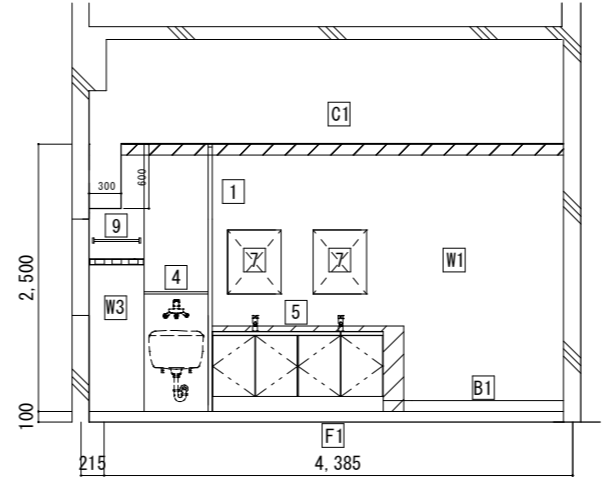
改修後 1階トイレ平面詳細図



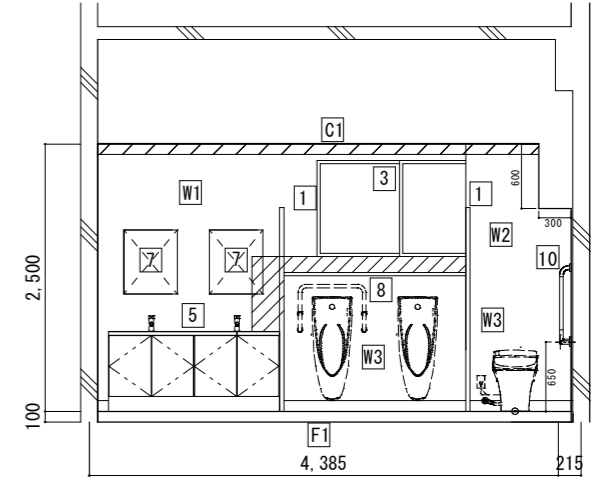
A側展開図



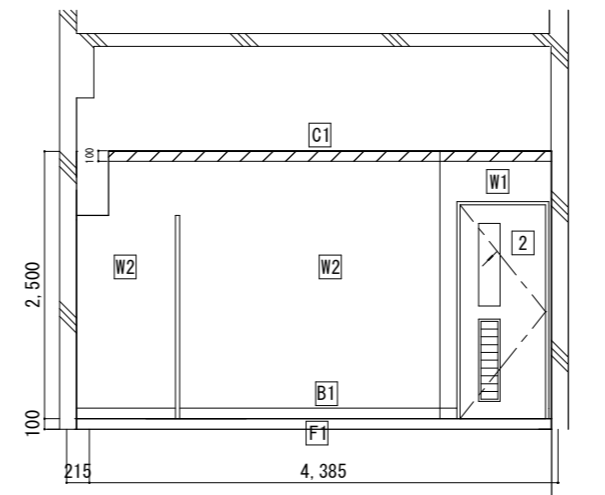
C側展開図



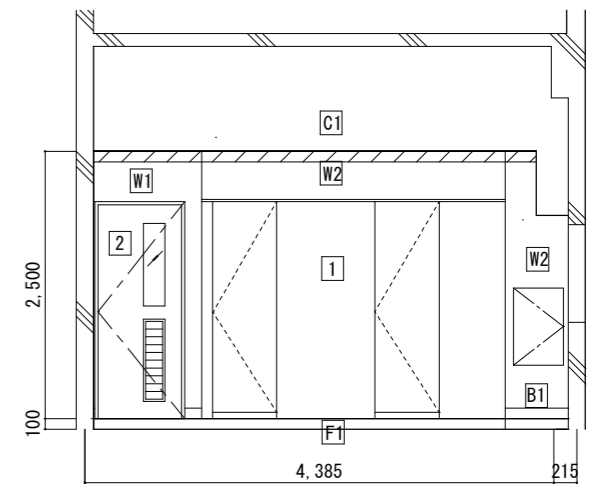
B側展開図 (女子トイレ)



D側展開図 (男子トイレ)



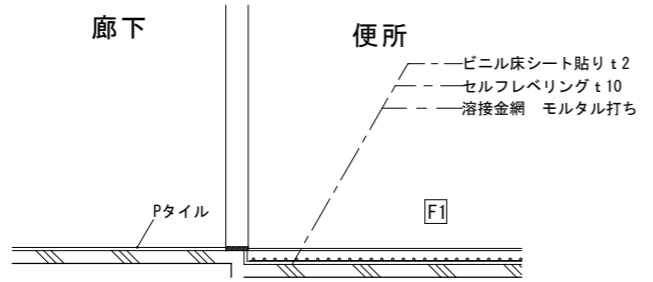
B側展開図 (男子トイレ)



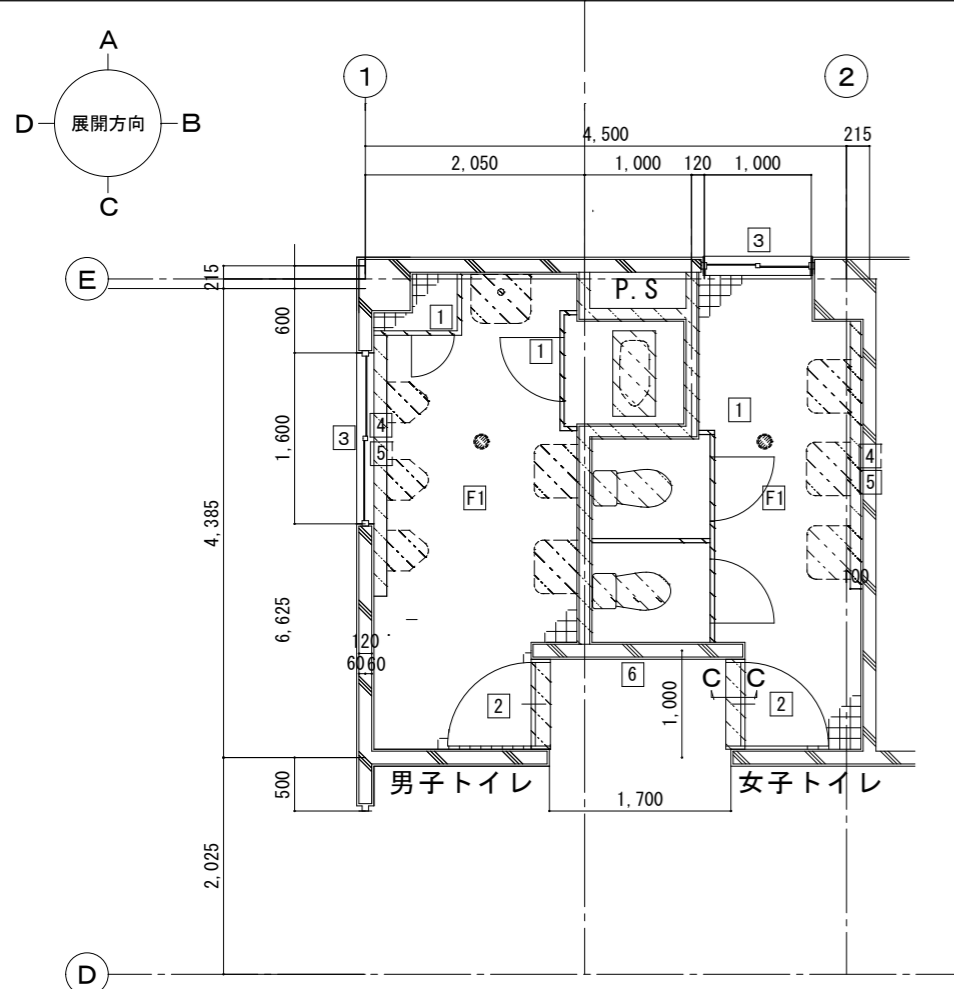
D側展開図 (女子トイレ)

記号 仕上げ(処理)	
F1	床 溶接金網、モルタル打ち、セルフレベリング、複層ビニル床シート t2.0 抗菌
B1	巾木 床材床巻上げ H100 アルミ見切り押え
W1	壁 (タイル浮き部補修)、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
W2	壁 LGS下地、シーリング石膏ボード t12.5、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
W3	壁 LGS下地、耐水合板 t12、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
W4	下がり壁 シーリング石膏ボード t12.5、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
C1	天井 LGS下地、けい酸カルシウム板 t6.0 EP塗り 塩ビ廻縁
1	トイレブース新設
2	木製建具新設 ドア枠・沓摺共
3	額縁補修 SOP塗り
4	ライニング甲板メラミンポストフォーム新設
5	洗面カウンター新設
6	ピクトサイン新設
7	鏡新設
8	小便器手摺新設
9	モップ掛ハンガー、タオル掛け新設
10	L型手摺新設
11	掲示板新設

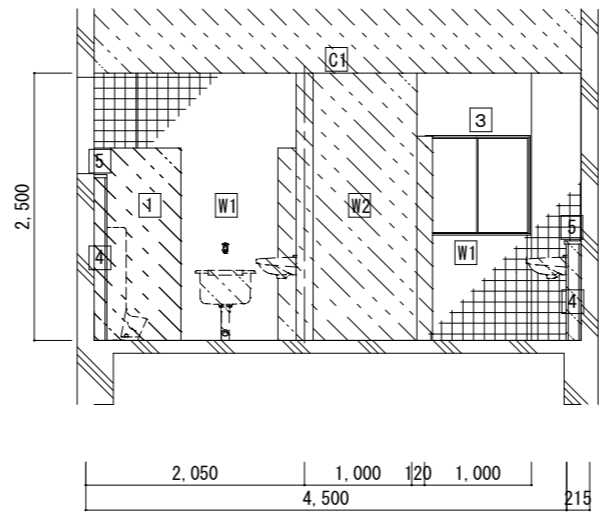
- モルタル補修
- 壁新設LGS下地
- 破線の設備機器は設備図による
- 浮きタイル撤去モルタル補修 (壁タイル全面浮き調査のこと)
- 手摺取付部等は、耐水合板下地とする



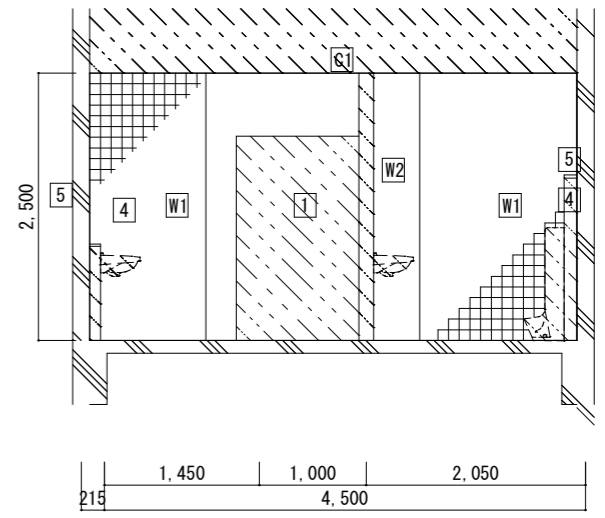
C-C断面



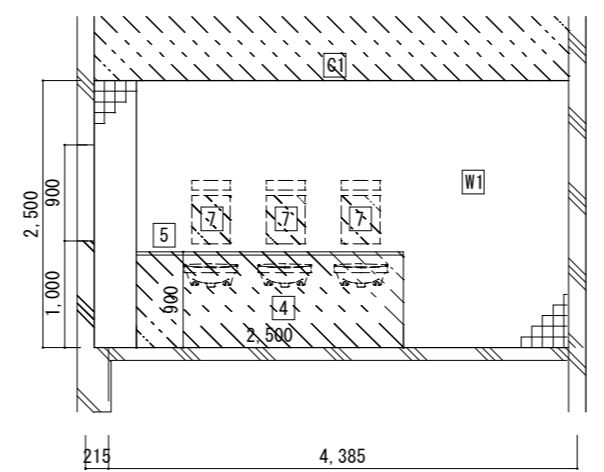
改修前 トイレ平面詳細図



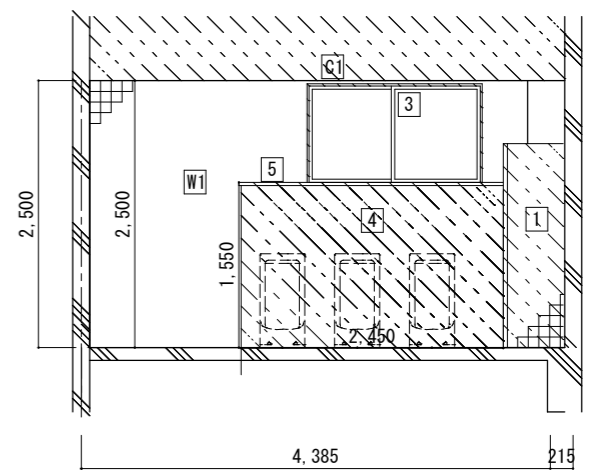
A側展開図



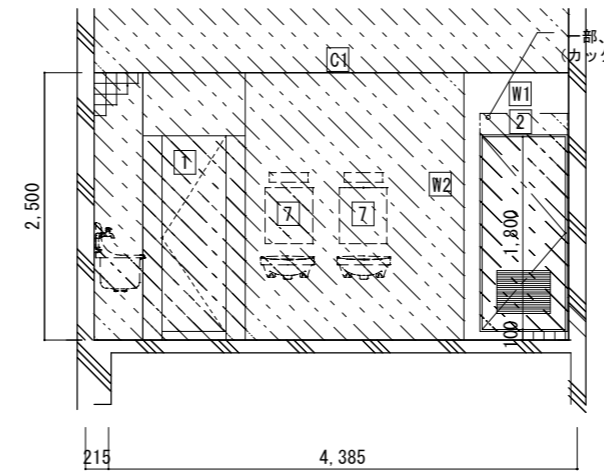
C側展開図



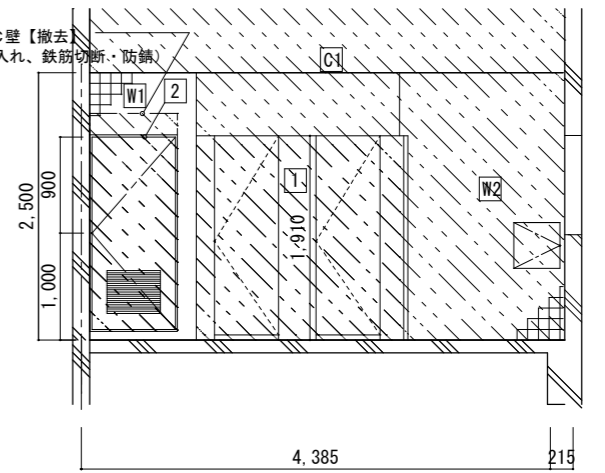
B側展開図 (女子トイレ)



D側展開図 (男子トイレ)



B側展開図 (男子トイレ)



D側展開図 (女子トイレ)

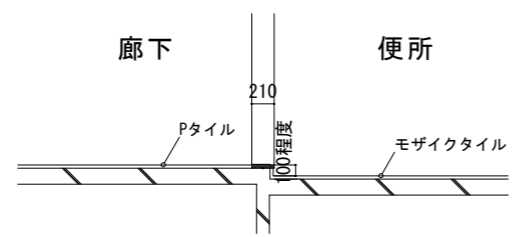
記号	現況仕上表
F1	床 アスファルト防水、押えコンクリート、モザイクタイルモザイクタイル貼り
W1	壁 モルタル下地、タイル張り
W2	壁 LGS、石膏ボード t12.5 タイル張り
C1	天井 LGS下地、けい酸カルシウム板 t6
1	トイレブース t40
2	木製建具 ドア枠・沓摺共
3	木額縁
4	配管ライニングCB
5	テラゾーブロック
6	ピクトサイン
7	化粧鏡、固定棚

RC躯体

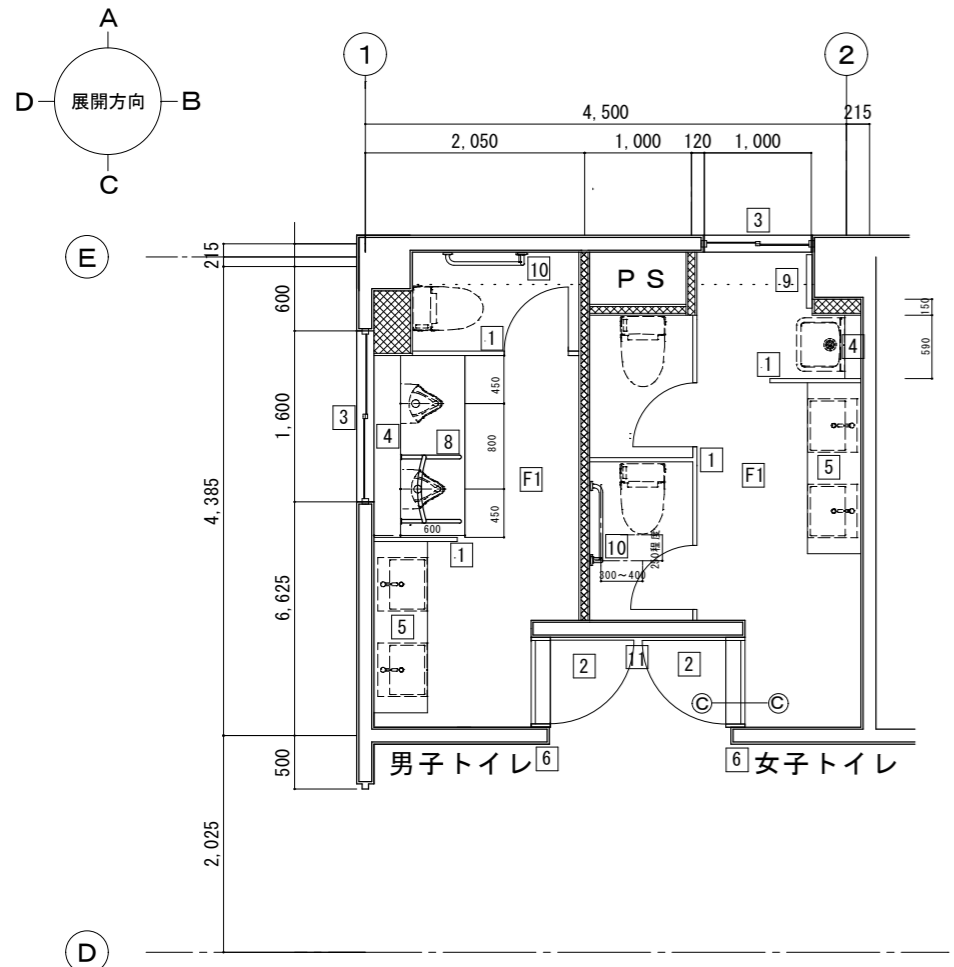
撤去範囲

○壁タイル前面浮き調査  
(浮きタイル撤去モルタル補修)

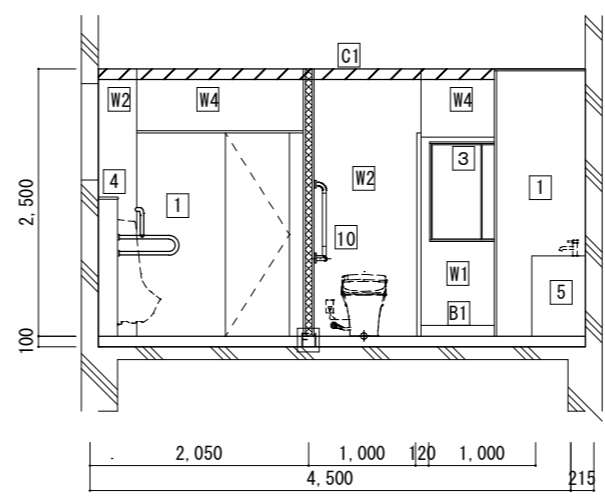
○破線の設備機器は設備図による



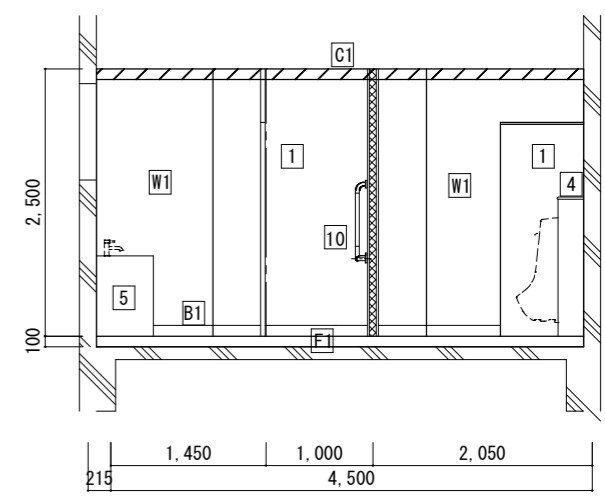
C-C断面図



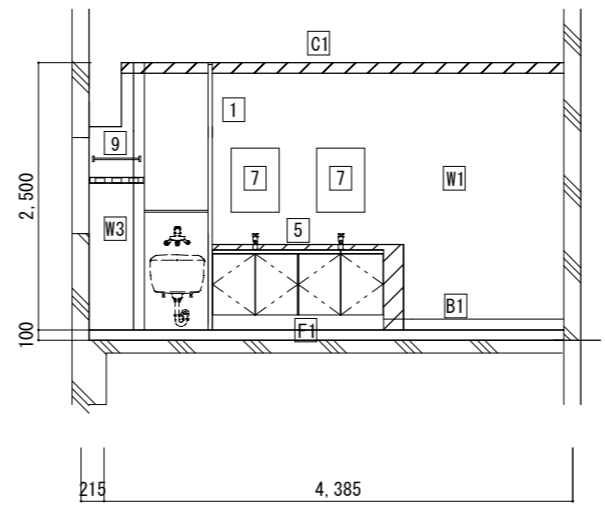
改修後 2階トイレ平面詳細図



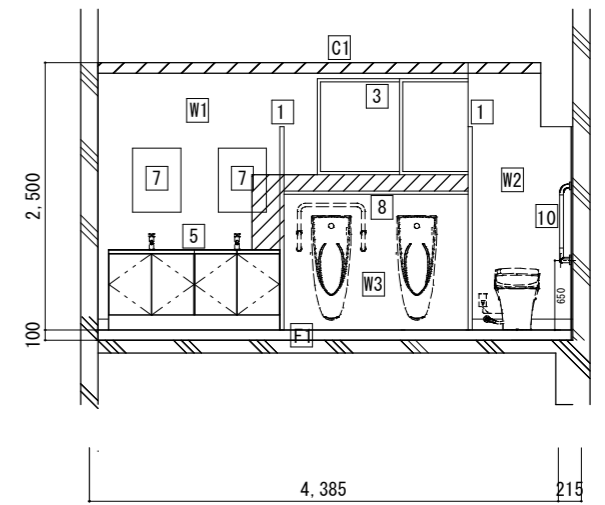
A側展開図



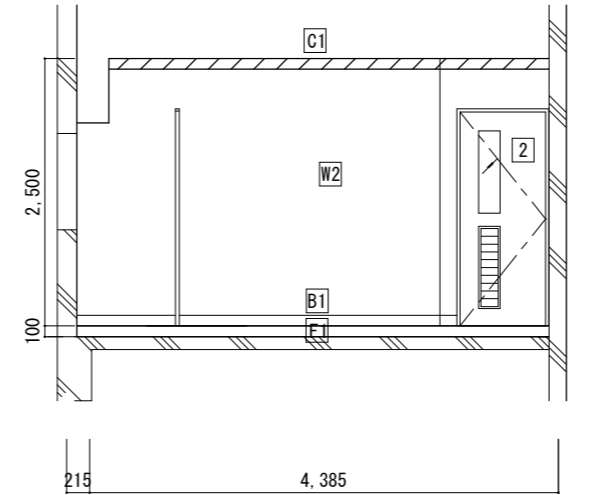
C側展開図



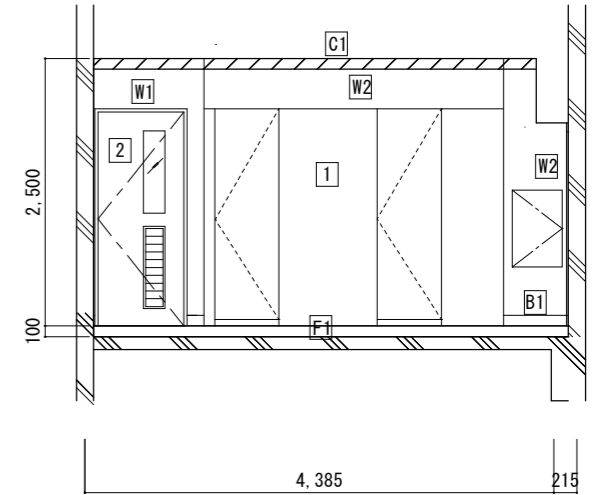
B側展開図 (女子トイレ)



D側展開図 (男子トイレ)



B側展開図 (男子トイレ)

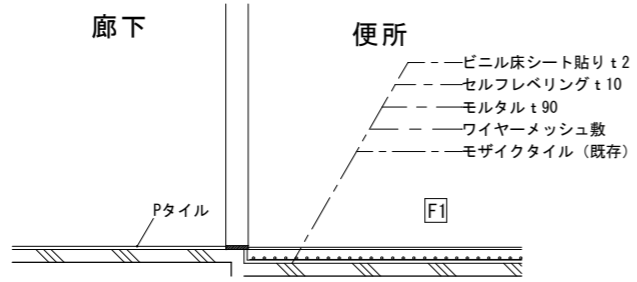


D側展開図 (女子トイレ)

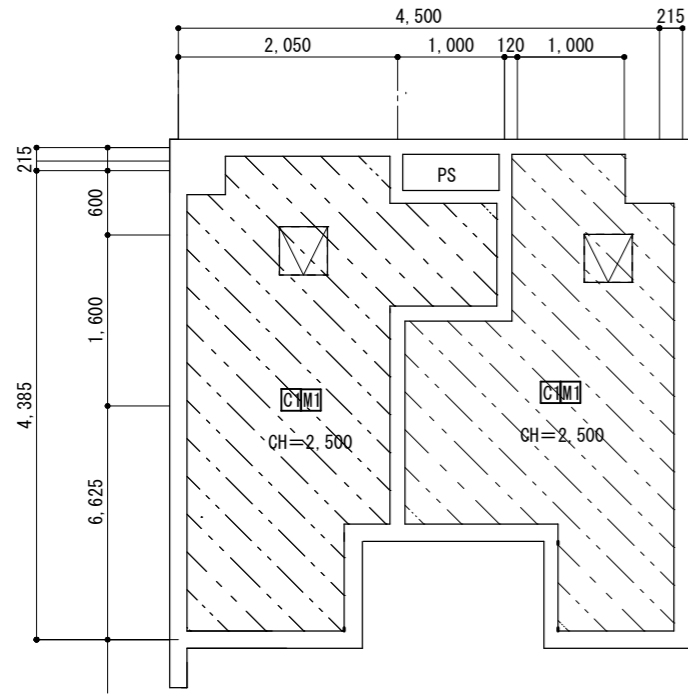
記号 仕上げ(処理)	
F1	床 モルタル、セルフレベリング下地、複層ビニル床シート t2.0 抗菌
B1	巾木 床材床巻上げ H100 アルミ見切り押え
W1	壁 (タイル浮き部補修)、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
W2	壁 LGS下地、シーリング石膏ボード t12.5、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
W3	壁 LGS下地、耐水合板 t12、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
W4	下がり壁 LGS下地、シーリング石膏ボード t12.5、化粧けい酸カルシウム板 t6.0 目地シーリング
C1	天井 LGS下地、けい酸カルシウム板 t6.0 EP塗り 塩ビ廻縁
1	トイレブース新設
2	木製建具新設 ドア枠・沓摺共
3	額縁補修、SOP塗装
4	ライニング甲板 メラミンポストフォーム新設
5	洗面カウンター新設
6	ピクトサイン新設
7	鏡新設
8	小便器手摺新設
9	モップ掛ハンガー、タオル掛け新設新設
10	L型手摺新設
11	掲示板新設

- /// モルタル補修
- /// 壁新設LGS下地

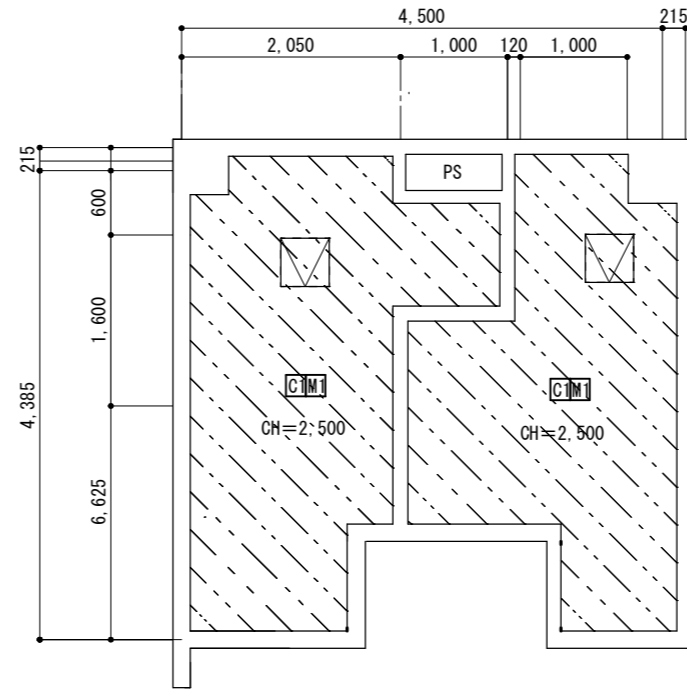
- 破線の設備機器は設備図による
- 浮きタイル撤去モルタル補修 (壁タイル全面浮き調査のこと)
- 手摺取付部等は、耐水合板下地とする



改修前



改修前 1階トイレ天井伏図



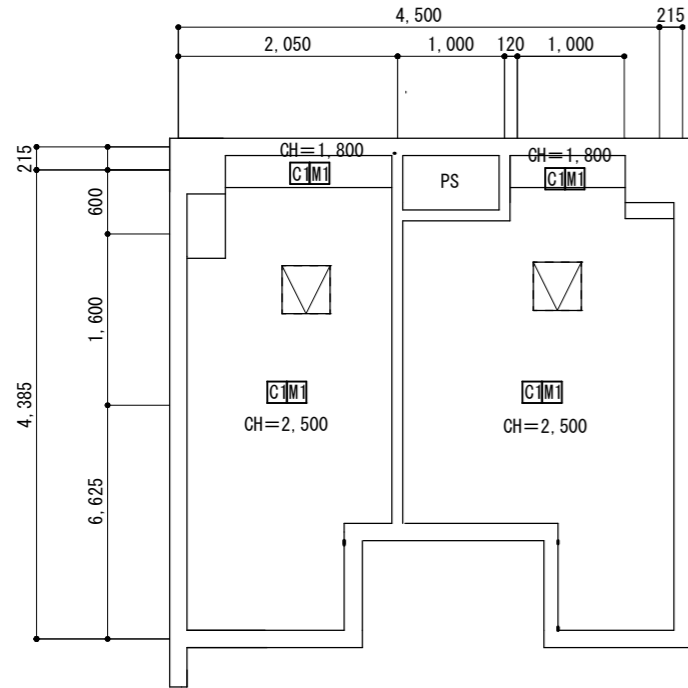
改修前 2階トイレ天井伏図

記号	現況
C1	天井 ケイカル板 6mm (LGS下地撤去共) EP塗り
M1	塩ビ廻り縁

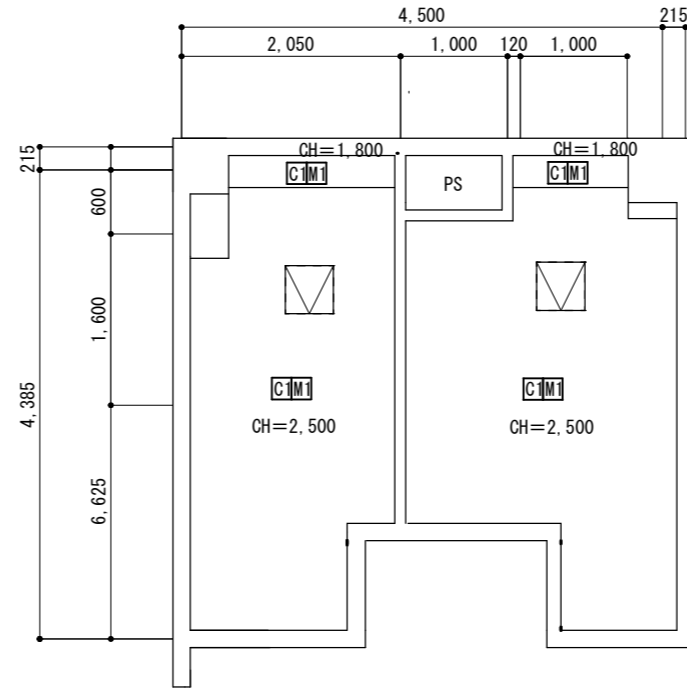
凡例

	は、【撤去】範囲
	は、天井点検口 450角

改修後



改修後 1階トイレ天井伏図



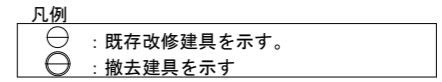
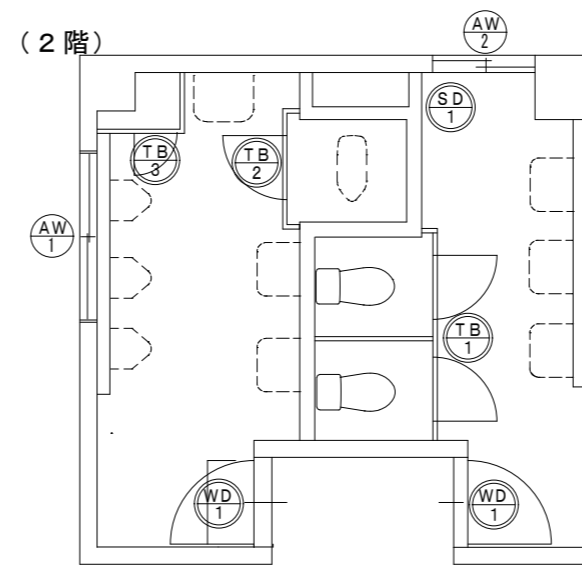
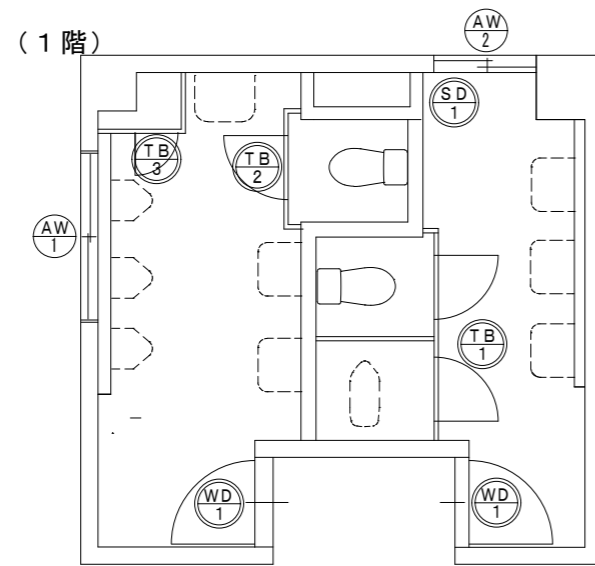
改修後 2階トイレ天井伏図

記号	仕上げ
C1	天井 ケイカル板 6mm (LGS下地撤去共) EP塗り
M1	塩ビ廻り縁

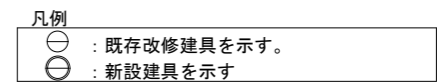
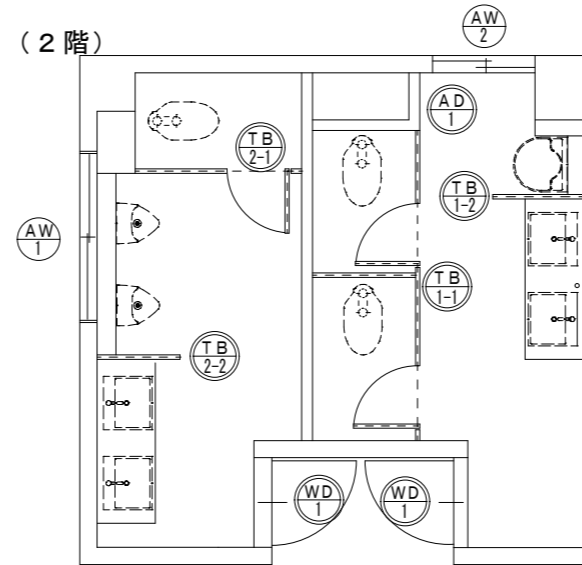
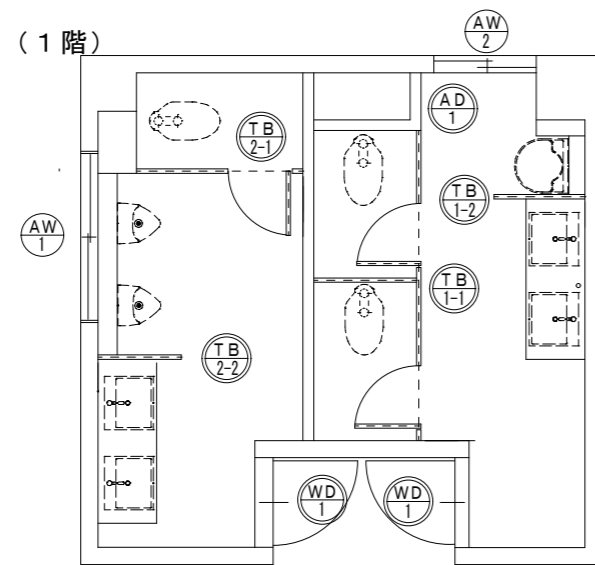
凡例

	は、【撤去】範囲
	は、天井点検口 450角

改修前

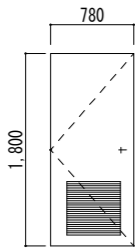
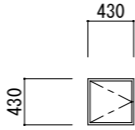
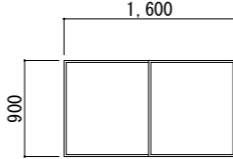
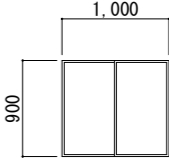
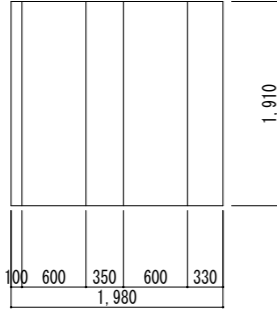

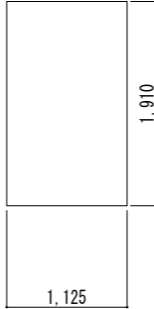

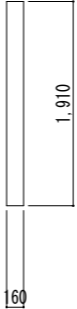




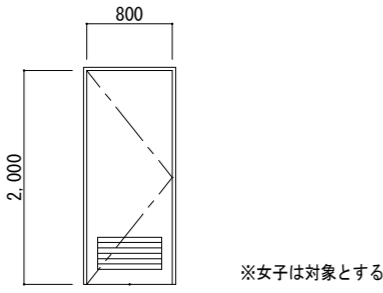
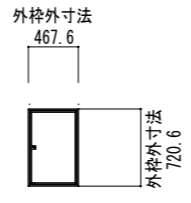
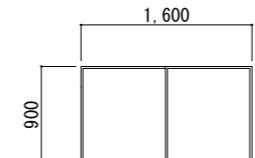
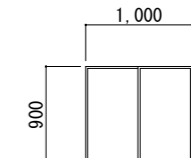
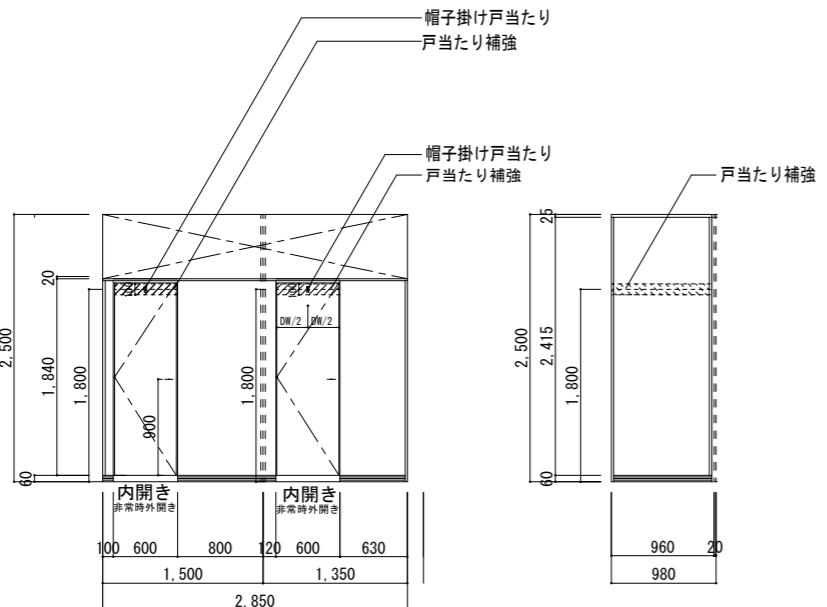
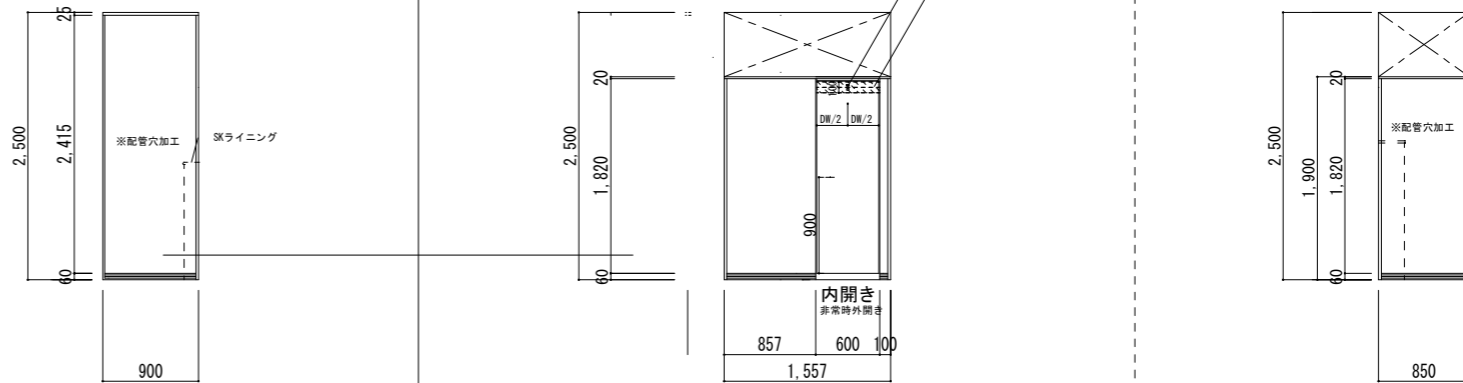
改修後



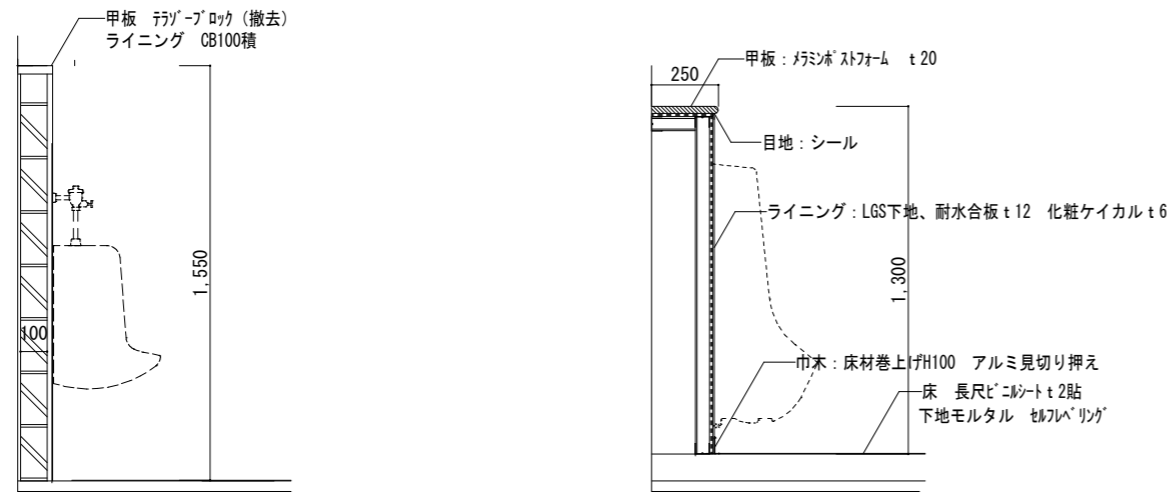
※トイレブース標準色：建材メーカー常備色柄材  
 ※ブース高については、協議決定のこと。

		工事名称	設計年月
		狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	
狭山市 生涯学習部 教育施設管理課		図面名称	図面番号
		建具キープラン	A14
		縮尺	1/50
		A2	

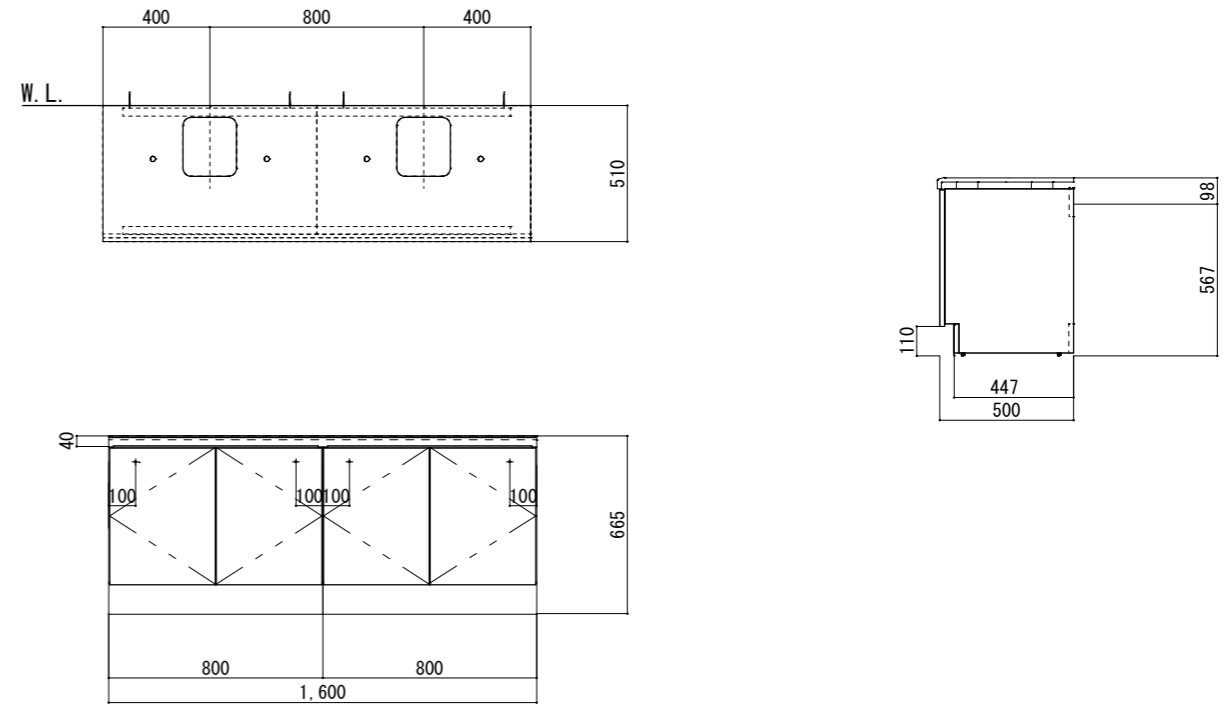
記号・数量	(WD1) 木製片開きフラッシュ戸	4 箇所	(SD1) スチール製片開き戸 (点検扉)	2 箇所	(AW1) アルミ製引違い窓	2 箇所	(AW2) アルミ製引違い窓	2 箇所
形状	 <p>※女子は対象とする</p>							
場所	1. 2階 男子・女子トイレ		1. 2階 女子トイレ		1. 2階 男子トイレ		1. 2階 女子トイレ	
仕上	メラミン化粧合板フラッシュ 枠 SOP塗		フラッシュ片開き 点検口		既存引き違い窓		既存引き違い窓	
見込	40							
材質・仕上	木製		スチール		既存ガラス t3		既存ガラス t3	
金物	SUS丁番、戸当たり、SUS沓摺、他標準金物一式		点検錠、丁番		戸車、クレセント、他付属金物一式		戸車、クレセント、他付属金物一式	
改修内容	【撤去】 (枠・沓摺共)		【撤去】					
記号・数量	(TB1) トイレブース	2 箇所	(TB2) トイレブース	2 箇所	(TB3) トイレブース	2 箇所		
形状								
場所	1. 2階 女子トイレ		1. 2階 男子トイレ		1. 2階 男子トイレ			
形式	トイレブース		トイレブース		トイレブース			
見込	40		40		40			
材質・仕上	メラミン化粧合板、芯材ペーパーコア、巾木ステンレスH=60		メラミン化粧合板、芯材ペーパーコア、巾木ステンレスH=60		メラミン化粧合板、芯材ペーパーコア、巾木ステンレスH=60			
改修内容	笠木・エッジ材・壁レール・天井レール アルミ押出型材 【撤去】		笠木・エッジ材・壁レール・天井レール アルミ押出型材 【撤去】		笠木・エッジ材・壁レール・天井レール アルミ押出型材 【撤去】			
					工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事		設計年月	
狭山市 生涯学習部 教育施設管理課					改修前 建具表		図面番号 A2 1/50	
							図番番号 A15	

記号・数量	WD 1 木製片開きフラッシュ戸	4 箇所	AD 1 片開き戸 (点検扉)	1 箇所	AW 1 アルミ製引違い窓	2 箇所	AW 2 アルミ製引違い窓	2 箇所				
形状												
場所	1, 2階 男子・女子トイレ		2階 女子トイレ		1, 2階 男子トイレ		1, 2階 女子トイレ					
仕上	メラミン化粧板フラッシュ 枠 SOP塗		壁 点検口		既存引き違い窓		既存引き違い窓					
見込	40mm											
材質・仕上			アルミ押出型材、シルバー		既存ガラス t3		既存ガラス t3					
金物	SUS丁番、戸当たり、SUS沓摺、ガラリ、他標準金物一式		スライドアングル、垂れ下り防止部品、鍵付き		戸車、クレセント、他付属金物一式		戸車、クレセント、他付属金物一式					
改修内容	新設【枠・沓摺共】 建具周囲シーリング 建具廻りモルタル		新設 建具周囲シーリング		額縁補修 SOP塗替え 機械警備撤去 (設備)		額縁補修 SOP塗替え 機械警備撤去 (設備)					
記号・数量	TB 1-1 トイレブース		2 箇所	TB 1-2 トイレブース		2 箇所	TB 2-1 トイレブース		2 箇所	TB 2-2 トイレブース		2 箇所
形状												
場所	1, 2階女子トイレ						1, 2階男子トイレ					
形式	トイレブース						トイレブース					
見込	40						40					
材質・仕上	表面材：メラミン化粧板、芯材：ペーパーコア、枠材：LVL (単板積層材)、巾木：ステンレス (H=60) 笠木・エッジ材・壁レール・天井レール：アルミ押出型材						表面材：メラミン化粧板、芯材：ペーパーコア、枠材：LVL (単板積層材)、巾木：ステンレス (H=60) 笠木・エッジ材・壁レール・天井レール：アルミ押出型材					
金物	グレビティヒンジ、フック付き戸当たり、表示付きスライドボルト (非常時外開き) 非常解笠木レス戸当たり						グレビティヒンジ、フック付き戸当たり、表示付きスライドボルト (非常時外開き) 非常解笠木レス戸当たり					
				工務名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事				設計年月				
狭山市 生涯学習部 教育施設管理課				図面名称 改修後 建具表				縮尺 A2				
				図面番号 A16								

ライニング参考図

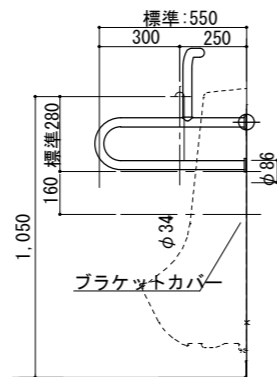
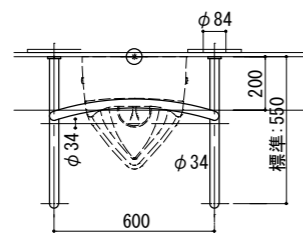
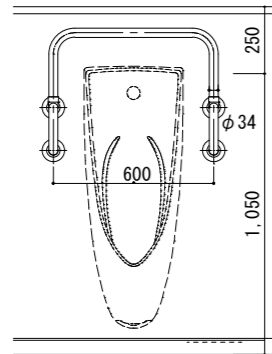


洗面カウンター廻り詳細図



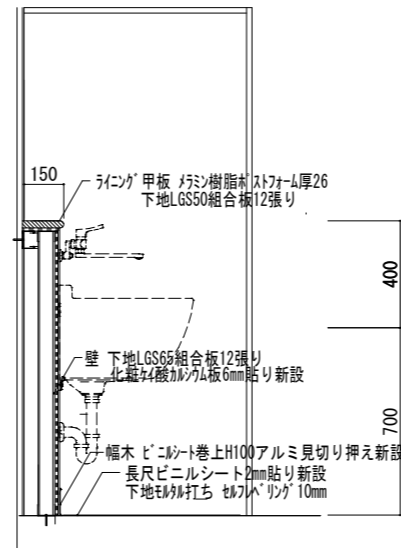
小便器手摺詳細図

- 手すり本体 (φ34)  
半硬質樹脂 (抗菌剤入) +  
表面材: 軟質樹脂二層成形  
芯材: ステンレス鋼管  
φ27.2×1.5t
- ブラケットカバー  
樹脂成形品・笠木同色仕上
- 固定座金  
ステンレス
- Tジョイント部  
樹脂成形品・笠木同色仕上
- ボルト類  
ステンレス

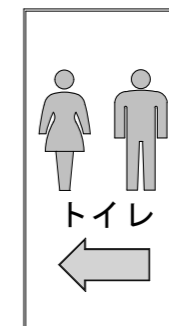
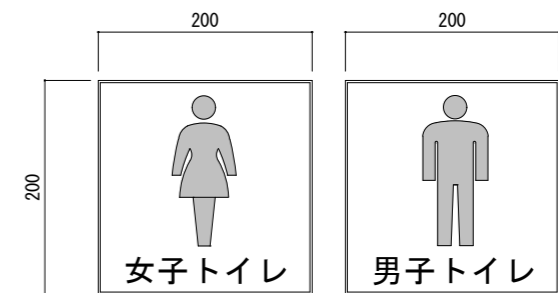


光電センサーが手摺を感知しない高さとする。

SK掃除流し詳細図



ピクトサイン詳細図



平付型 3か所  
突出型 2か所

# 電気設備工事特記仕様書

**1 工事概要**

- 1.1 工事名 狭山市立水富公民館トイレ改修工事
- 1.2 工事場所 狭山市根岸2丁目17番13号
- 1.3 工期 契約日から令和年月日まで

現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで  
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

- 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電灯設備</li> <li>● 動力設備</li> <li>● 電熱設備</li> <li>● 雷保護設備</li> <li>● 受変電設備</li> <li>● 電力貯蔵設備</li> <li>● 発電設備</li> <li>● 構内情報通信網設備</li> <li>● 構内交換設備</li> <li>● 情報表示設備</li> <li>● 映像・音響設備</li> <li>● 拡声設備 (非常放送設備)</li> <li>● 誘導支援、呼出し設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ共同受信設備</li> <li>● テレビ電波障害防除設備</li> <li>● 監視カメラ設備</li> <li>● 駐車場管制設備</li> <li>○ 防火、入退室管理設備</li> <li>○ 自動火災報知設備</li> <li>● 自動閉鎖設備</li> <li>● ガス漏れ火災警報設備</li> <li>● 電話配管設備</li> <li>● 中央監視制御設備</li> <li>● 医療関係設備</li> <li>● 昇降機設備</li> </ul>
---	---

- 1.5 指定部分 ○無 ・有 ( 工期:令和年月日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
  - 1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・令和年月日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
  - 2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
  - 3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 1.7 建物概要 公民館

- 1.8 工事概要 電灯設備の撤去・新設及び取外し再取付 自動火災報知設備設備の取外し再取付 機械設備の撤去
- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事
- 2 工事仕様
  - 2.1 共通仕様
    - (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事項)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事項)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事項)(以下「標準仕様書等」という。 )及び監督員の指示に従い施工する。
    - なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
    - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
    - (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
  - 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けられるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事前電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工事前仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で利用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で ・設ける (規模 ) ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日を含む期間、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途) (1) 引渡しを要するもの ( ) (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑 ) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管 ) 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 ( ) ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は領書を提出すること。

⑫ 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。ただし、見えがかり部の塗装については監督員の指示による。 壁等の壁は、既存壁及び別途工事の壁との整合を極力図るものとする。																																																												
1 3 鍵	(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。																																																												
1 4 地中電線路	<table border="1"> <thead> <tr> <th>敷き均し土</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良質土</td> <td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。</p> <p>(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。</p> <p>ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。</p>	敷き均し土	管 種 別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)																																																								
敷き均し土	管 種 別																																																												
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)																																																												
⑬ 回路の種別 行先表示	湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。																																																												
⑭ 電線の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。																																																												
⑮ 電線管の接続	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・赤帯で区別する。																																																												
1 9 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きなす。 ・構外搬出適切処理する。																																																												
2 0 再生砂・再生アスコン	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1棟体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																												
2 1 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備前産設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修) を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] 時、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。																																																												
設計用標準水平震度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上層階 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水 槽 類(※1)</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地下・1階</td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類(※1)</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類(※1)</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。 重要機器 ・配電盤 ・発電装置(防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置 上層階の定義は次による。 2〜6階建の場合は最上階、7〜9階建の場合は上層2階、10〜12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p>	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6		機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		一般の施設																																																							
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																								
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																								
中間階	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																								
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																								
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																								
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																								
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																								
2 2 あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けられるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																																												
2 3 はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。																																																												
⑯ 改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 (2) 外部足場 ・ A種(枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり掘置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。																																																												
2 5 墜落制止用器具 (フルハーネス型)	・使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による ・使用を要しない																																																												

⑯ ⑰ アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
⑱ その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承認を受ける。</li> <li>(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。</li> <li>(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。</li> <li>(4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。</li> <li>(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。</li> <li>(6) 改修工事等を行う場合は、施工する前後に工事対象面の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。</li> <li>(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。</li> <li>(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。</li> <li>(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</li> <li>(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。また、必要に応じて住民及び関係自治会等に対し工事説明を実施する。</li> <li>(11) 工期中、翌月の月間工程表を前月の20日までに監督員に提出する。</li> <li>(12) 工期中、月毎の工事履行報告書を翌月7日までに監督員に提出する。</li> <li>(13) 資材・製造所等選定報告書の提出は要さない。</li> <li>(14) 監督員の検査を受けて使用すべき機器等は、監督員が指定するものとする。以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。</li> </ol>

項目	特記事項
⑰ 電灯設備	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2口コンセントは板式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。</li> <li>(2) 照明器具 防炎照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。</li> <li>(3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS Q 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。</li> <li>(4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。</li> <li>(5) 継手 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継手を使用する。ただし、ボード張りで、ボード表面と塗りしろカバーの間が隙れないように施工した場合は、継手を必要としない。</li> <li>(6) 位置ボックスの省略 ケーブルこぎし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。</li> </ol>
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び閉閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とし。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・耐塩用 ・一般用) 受 電 電 圧 地中線用高圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 300A 主 進 断 装 置 変圧器設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA× 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 (概要)
7 発電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼル発電装置</li> <li>ガスタービン発電装置</li> <li>燃料電池発電装置</li> <li>太陽光発電装置</li> <li>(概要)</li> <li>ガスエンジン発電装置</li> <li>マイクロガスタービン発電装置</li> <li>熱供給(コージェネレーション)発電装置</li> <li>風力発電装置</li> </ul>

項目	特記事項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
⑨ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
1 0 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事項)による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ  
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300	1,200
" (身体障害者用)	"	1,100	1,000
" (人感センサー切換用)	"	2,000	2,000
コンセント、電話用アット、直列エント	"	300	400
" (和室)	"	150	200
" (台所)	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	"	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	"	900	900
復帰ボタン ( " )	"	1,800	1,800
廊下表示灯 ( " )	"	2,000	2,000
端子盤	"	(上端1,900以下)1,500	2,000

- 3 その他
  - 3.1 他工事との取合区分 発注図又は工事区分表による。
  - 3.2 図面上の縮尺 図面上の縮尺は、JIS A 1版とした縮尺とする。
  - 3.3 疑義 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

項目	特記事項
鋪装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	<p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水(以下「濁水」という。)の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m<sup>3</sup> ・中間処理施設 市 地内、(株) ・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は熔融含まず) ・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は熔融を含む)</p> <p>2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。 )により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。</p> <p>2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。</p> <p>第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>3 この特記仕様書に疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>

項目	特記事項
昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書	<p>第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事 (新設、増設又は更新) において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」 (平成28年2月19日付け国土交通省住宅局建築指導課) による。</p> <p>第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。</p> <p>2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。</p> <p>3 発注者とは、本工事の発注者をいう。</p> <p>4 受注者とは、本工事の受注者をいう。</p> <p>5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。</p> <p>6 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。</p> <p>7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。</p> <p>第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。</p> <p>2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。</p> <p>3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。</p> <p>4 製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。</p> <p>5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。</p> <p>第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。</p>

官公庁等打ち合わせ機関	
建築 :	_____
昇降機 :	_____
施設管理者 :	_____
電力会社 :	_____
電話会社 :	_____
ケーブルテレビ会社 :	_____
消防本部 :	_____

2023.4

	工 事 名	狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	発注年月	
	図 書 名	水富公民館 電気設備工事特記仕様書	図 紙	図 番 号
				E01

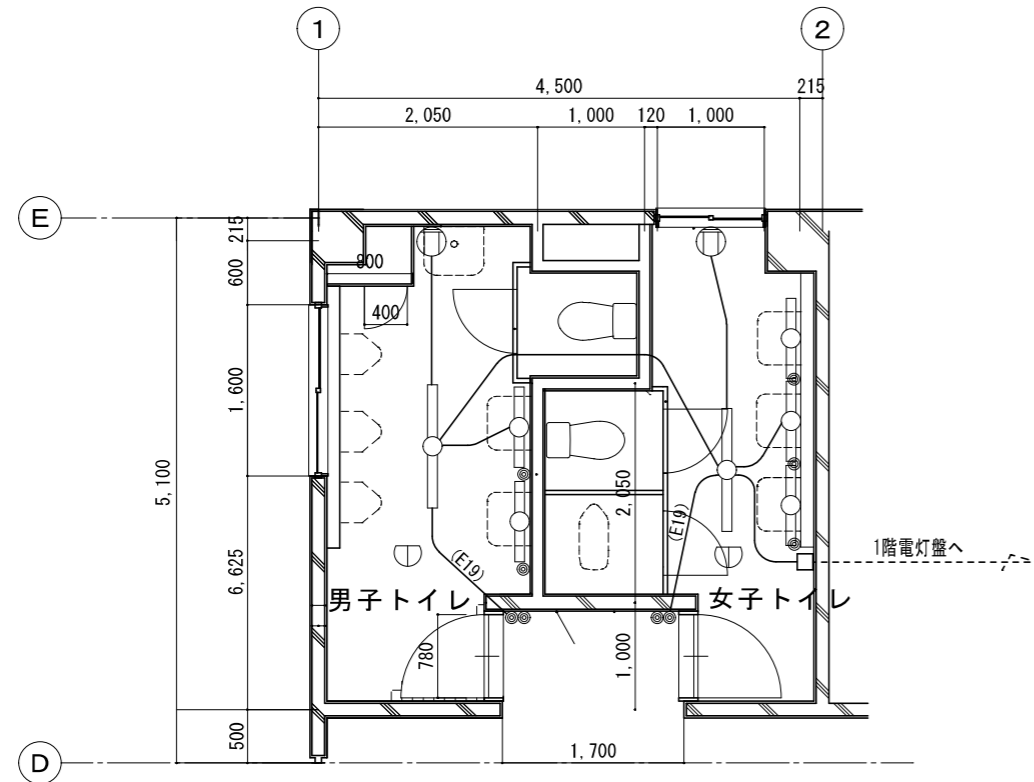
既存

凡例

記号	名称	仕様
	照明器具	FLR20
	照明器具	FLR40
	スイッチ	H=1.2
	スポット形煙感知器(取外再取付)	
	コンセント	2P15A (ボックス共)

【特記事項】

- ・特記なき実線の機器及び配線(電線管共)を撤去とする。
- ・既存スイッチの撤去後はブランクプレートを設置する。
- ・各トイレの窓部分に設置されている機械警備近接スイッチは撤去とする。



改修前 1階トイレ平面詳細図

改修

照明器具姿図

A	LRS1-08	B	LDS2-LRS1-08
消費電力:7.6W 光束 :1065lm		消費電力:7.4W 光束 :1015lm	
C	LSS9-4-65		
消費電力:43W 光束 :6900lm			

凡例

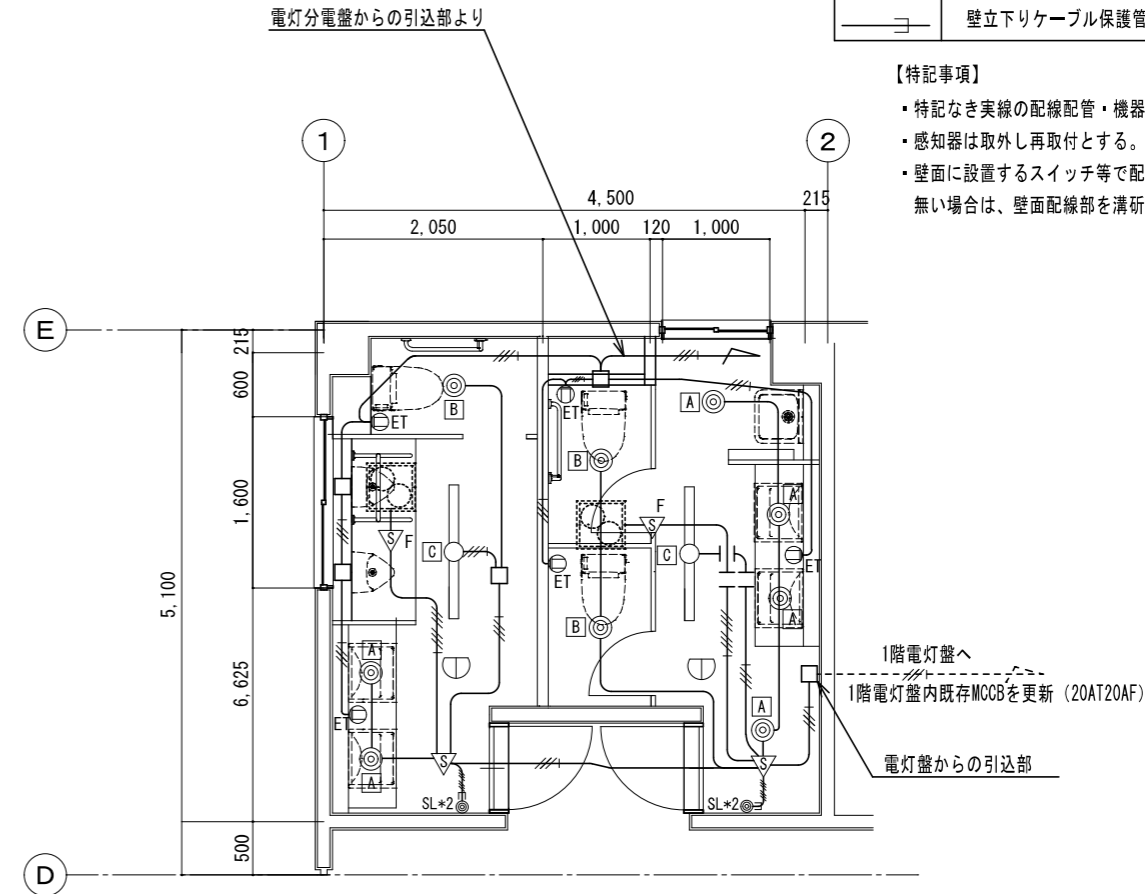
記号	名称	仕様
	照明器具	
	照明器具(ダウンライト)	
	人感センサー操作スイッチ(2回路)	(OFF・自動・連続)カバー付 H=2.0m
	人感センサー	親機
	人感センサー	子機、換気扇接続端子付
	スポット形煙感知器(取外再取付)	
	コンセント	2P15A×1ET (ボックス共)
	換気扇	

凡例

記号	配線
	EM-EEF1.6-3C(天井内コブツ)
	EM-IE2.0×6(管内)
	EM-EEF2.0-3C×2(1Cアース)(天井内コブツ)
	EM-EEF2.0-3C(1Cアース)(天井内コブツ)
	壁立下りケーブル保護管PF22

【特記事項】

- ・特記なき実線の配線配管・機器を新設とする。
- ・感知器は取外し再取付とする。
- ・壁面に設置するスイッチ等で配線をしまうクリアランスが無い場合は、壁面配線部を溝研りする。(PF管内)



改修後 1階トイレ平面詳細図

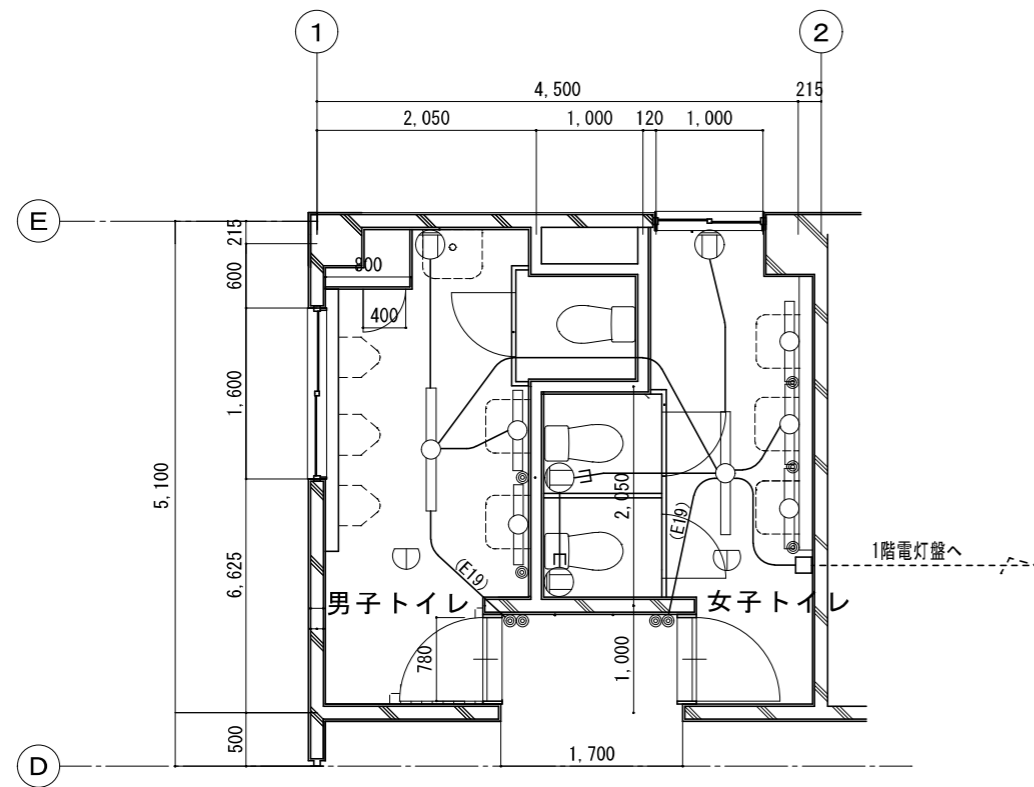
既存

凡例

記号	名称	仕様
	照明器具	FLR20
	照明器具	FLR40
	スイッチ	H=1.2
	スポット形煙感知器(取外再取付)	
	コンセント	2P15A (ボックス共)

【特記事項】

- ・特記なき実線の機器及び配線(電線管共)を撤去とする。
- ・既存スイッチの撤去後はblankプレートを設置する。
- ・各トイレの窓部分に設置されている機械警備近接スイッチは撤去とする。



改修前 2階トイレ平面詳細図

改修

照明器具姿図

A	LRS1-08 消費電力:7.6W 光束 :1065lm	B	LDS2-LRS1-08 消費電力:7.4W 光束 :1015lm
C	LSS9-4-65 消費電力:43W 光束 :6900lm		

凡例

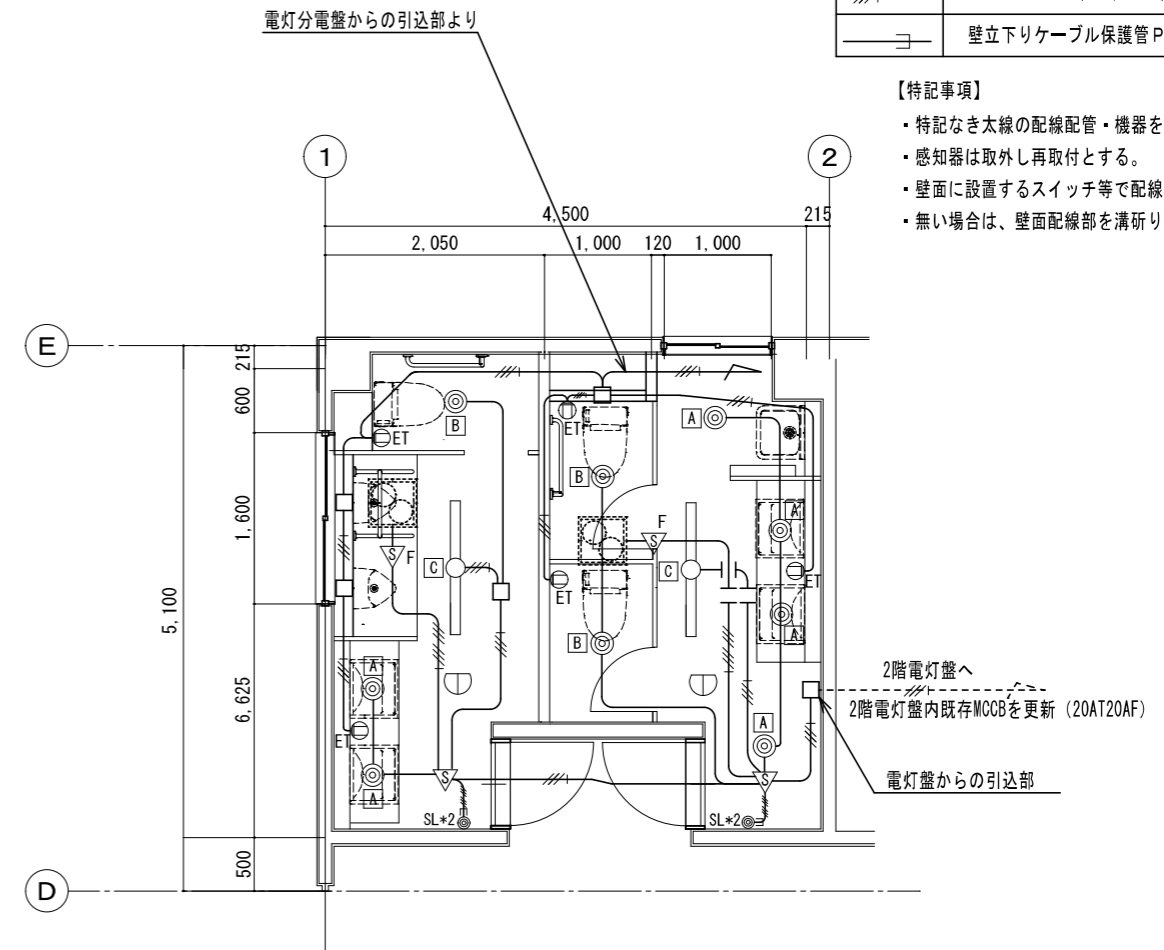
記号	名称	仕様
	照明器具	
	照明器具(ダウンライト)	
	人感センサー操作スイッチ(2回路)	(OFF・自動・連続)カバー付 H=2.0m
	人感セッ	親機
	人感セッ	子機、換気扇接続端子付
	スポット形煙感知器(取外再取付)	
	コンセント	2P15A×1ET (ボックス共)
	換気扇	

凡例

記号	配線
	EM-EEF1.6-3C(天井内コガシ)
	EM-IE2.0x6(管内)
	EM-EEF2.0-3C×2(1Cアース)(天井内コガシ)
	EM-EEF2.0-3C(1Cアース)(天井内コガシ)
	壁立下りケーブル保護管PF22

【特記事項】

- ・特記なき太線の配線配管・機器を新設とする。
- ・感知器は取外し再取付とする。
- ・壁面に設置するスイッチ等で配線をしまうクリアランスが無い場合は、壁面配線部を溝研りする。(PF管内)



改修後 2階トイレ平面詳細図

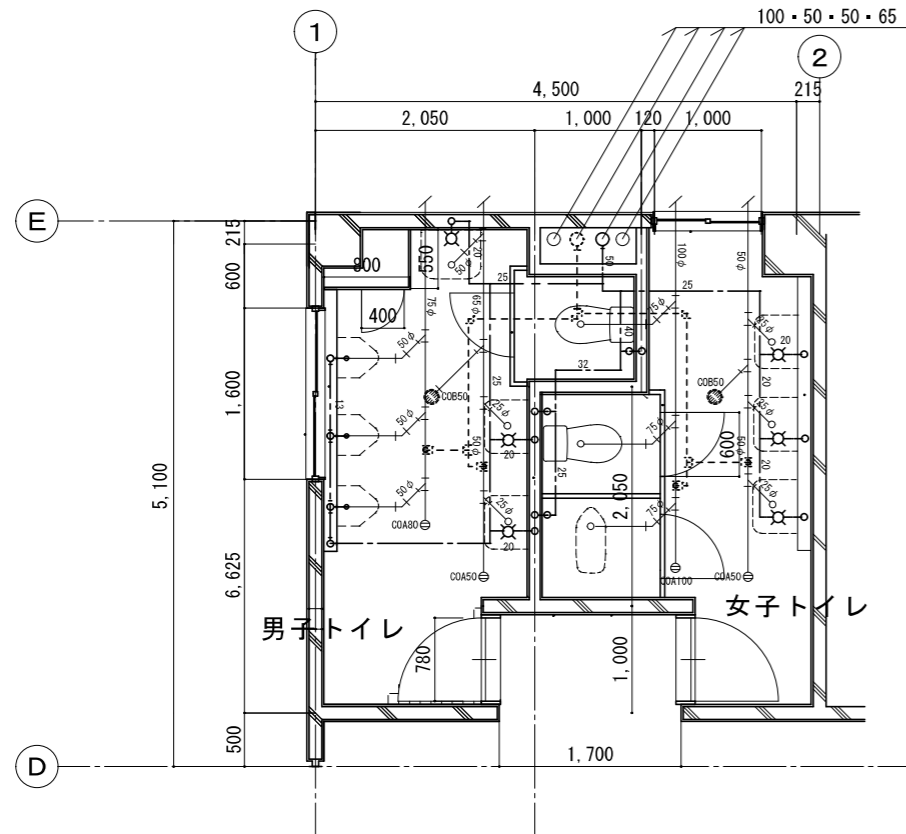


O 空 気 調 和 設 備	1 設計温湿度	外 気 温度 (DB) 湿度 (RH) 28 ℃ 96 % 夏 期 36.9℃ 46.1% 冬 期 0.6℃ 50.7% ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC ( R410A、R32又はR407C ) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 騒音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上わたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・漏水試験用掃除口ソケット		
									4 樹の適用	別紙仕様による。
O 空 気 調 和 設 備	2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない	1 長方形ダクト	※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト(・A区分 ※B区分)	13 そ の 他	① 配管材料	配管材料は ※下記 ・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記) による。 施工箇所 管種別 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) ※SUS ※SGP-VB ・ポリプテン管 ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管) ※SUS ※SGP-VB ・HIVP ・ポリプテン管 保温をしない屋外露出部 ※SUS ※SGP-VB 地中埋設部(水道直結部分) ※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE) ・	O 給 湯 設 備	1 配管材料	・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管(M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリプテン管(さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
O 空 気 調 和 設 備	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm ) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない	2 円形ダクト	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	② 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 弁 類	(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-Iによる。	
										3 風量測定口
O 空 気 調 和 設 備	4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 円形内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	③ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	4 ガス瞬間湯沸器	飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。	
										5 長方形ダクト
O 空 気 調 和 設 備	6 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。	5 ダンパー	(2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	④ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	5 電気給湯器		
										7 風量測定口
O 空 気 調 和 設 備	8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP)を使用できる。 (2) 浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・	⑤ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図工4(・(a) ・(b) ・(c))	
										9 吹出口及び吸込口ボックス
O 空 気 調 和 設 備	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウル製	7 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全交換器用隣の部ダクト 仕様はN・(ロ) ・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房 ・湯沸室 ・ ) 用の隠蔽べい部ダクト(仕様はh・(イ) ・Xとし範囲は図示による)	⑥ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。	
										10 ダンパー
O 空 気 調 和 設 備	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない	⑦ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。	
										11 配管材料
O 空 気 調 和 設 備	12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	9 衛生器具付属水栓	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	⑧ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										13 温度計
O 空 気 調 和 設 備	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷水ヘッダー(往)及び各選り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	10 衛生器具付属水栓	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	⑨ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										15 瞬間流量計
O 空 気 調 和 設 備	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※図定形 ・着脱形)を設ける。 制御壁には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・還油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	11 水せつけん入れ	せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。	⑩ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										17 冷却塔
O 空 気 調 和 設 備	1 設計温湿度	外 気 温度 (DB) 湿度 (RH) 28 ℃ 96 % 夏 期 36.9℃ 46.1% 冬 期 0.6℃ 50.7% ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC ( R410A、R32又はR407C ) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 騒音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上わたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・漏水試験用掃除口ソケット		
									2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない
O 空 気 調 和 設 備	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm ) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない	2 円形ダクト	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	② 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 弁 類	(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-Iによる。	
										3 風量測定口
O 空 気 調 和 設 備	4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 円形内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	③ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	4 ガス瞬間湯沸器	飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。	
										5 長方形ダクト
O 空 気 調 和 設 備	6 円形ダクト	※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(VU) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注1) 使用区分は図示による。	5 ダンパー	(2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	④ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	5 電気給湯器		
										7 風量測定口
O 空 気 調 和 設 備	8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP)を使用できる。 (2) 浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・	⑤ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図工4(・(a) ・(b) ・(c))	
										9 吹出口及び吸込口ボックス
O 空 気 調 和 設 備	9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウル製	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ・する ※しない	⑥ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。	
										10 ダンパー
O 空 気 調 和 設 備	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式(※遠隔 ・ )	9 衛生器具付属水栓	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	⑦ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										11 配管材料
O 空 気 調 和 設 備	12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	10 衛生器具付属水栓	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	⑧ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										13 温度計
O 空 気 調 和 設 備	14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷水ヘッダー(往)及び各選り管 ※熱交換器の温水管(出入口) ・	11 水せつけん入れ	せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。	⑨ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										15 瞬間流量計
O 空 気 調 和 設 備	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ(※図定形 ・着脱形)を設ける。 制御壁には(※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・還油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	11 水せつけん入れ	せっけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。	⑩ 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。	
										17 冷却塔
O 空 気 調 和 設 備	1 設計温湿度	外 気 温度 (DB) 湿度 (RH) 28 ℃ 96 % 夏 期 36.9℃ 46.1% 冬 期 0.6℃ 50.7% ※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。	18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC ( R410A、R32又はR407C ) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 騒音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上わたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・漏水試験用掃除口ソケット		
									2 総合試運転調整	※本工事 ・別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ・する ※しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない
O 空 気 調 和 設 備	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm ) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける(測定口は80φとする) ・設けない	2 円形ダクト	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	② 給水設備	給水設備	O 消 火 設 備	3 弁 類	(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-Iによる。	
										3 風量測定口
O 空 気 調 和 設 備	4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 円形内貼りしたチャンパーには、点						

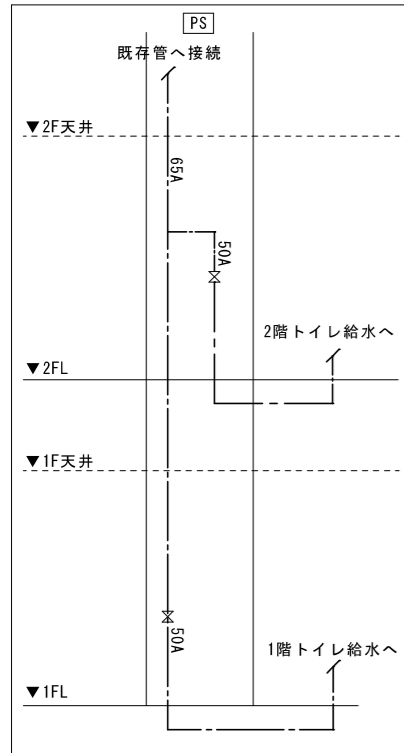
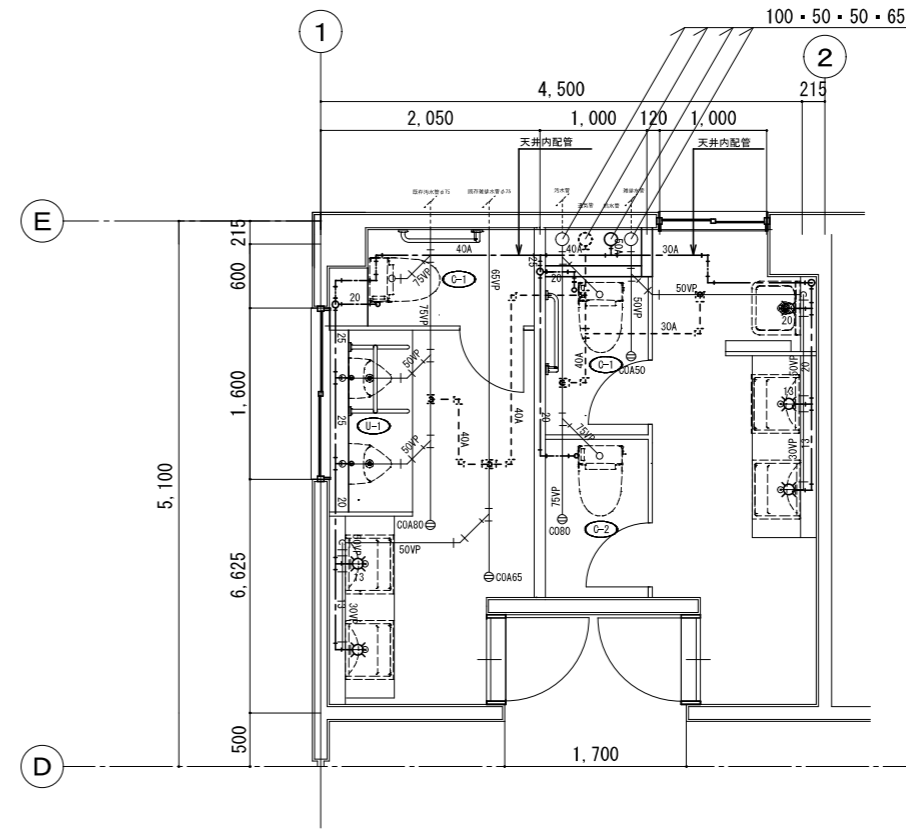
新設機器表

名 称	仕 様	参考型番	1階		2階		合計
			男子	女子	男子	女子	
洋風大便器 C-1	床置き床排水型大便器 暖房洗浄便座 蓋ナシ 発電壁リモコン 紙巻器 他一式共	CFS498BCK、TCF5534AU、TCA347 YH702	1	1	1	1	4
洋風大便器 C-2	床置き床排水大便器 暖房洗浄便座 蓋アリ 発電壁リモコン 紙巻器 他一式共	CFS498BCK、TCF5534AU、TCA347 YH702		1		1	2
小便器 U-1	壁掛けストール小便器 自動洗浄装置付AC100V 壁フランチ	UFS900R	2		2		4
洗面器	壁給水、壁排水、自動水栓(発電タイプ)、水石けん入れ	MVRS45P、TLE28SS1W、TLK05202J	2	2	2	2	8
掃除流し	壁給水、壁排水 Pトラップ	SK507、T30AR20V9C、T9R T8C、TK40P		1		1	2
換気扇	天井埋込型、接続ダクトφ150mm 埋込寸法300mm程度 AC100V	DVF-XT18Y、DV-X18L	1	1	1	1	4

既存



改修



改修前 1階トイレ平面詳細図

撤去器具表

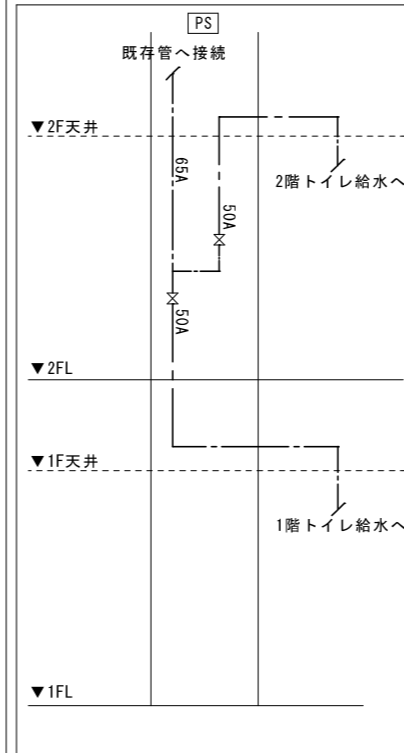
室名	器具名	型式	数量	備考
1階男子トイレ	壁付小便器		3	
	洋式大便器		1	紙巻器
	洗面器		2	
	スロップシンク		1	
1階女子トイレ	和式大便器		2	紙巻器
	洋式大便器		1	紙巻器
	洗面器		4	

【凡例】  
 - - - - - : 給水管  
 — — — — — : 排水管  
 - - - - - : 通気管(銅管)

【特記】  
 ・埋設配管は影響部分のみ撤去とし、不要な配管は建物貫通部でキャップ止めとする(1階女子トイレ)  
 ・PS内各種縦管は、2階天井スラブ貫通部まで撤去とする。  
 ・便器撤去後の開口は閉鎖する。

【給水管系統図 S=FREE】

改修後 1階トイレ平面詳細図



【凡例】  
 - - - - - : 給水管(ポリブデン管、高密度ポリエチレン管)  
 - - - - - : 排水管(耐火VP・VP)  
 - - - - - : 通気管(耐火VP・VP)

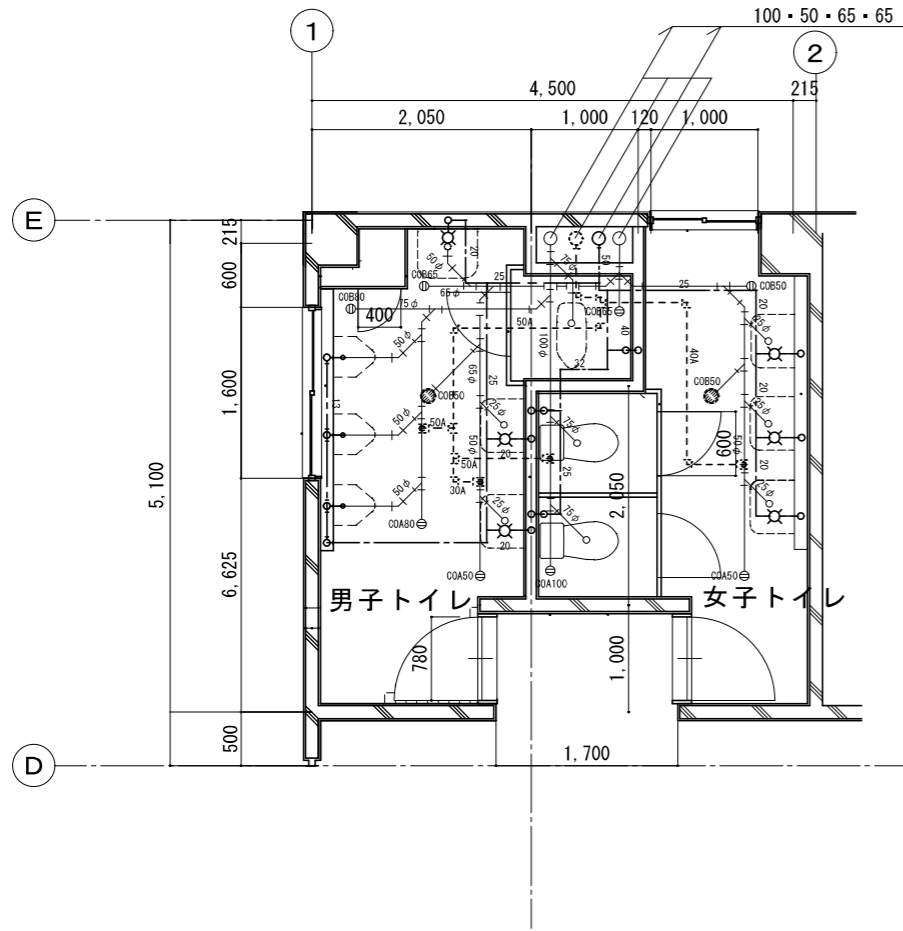
新設器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
1階男子トイレ	壁付小便器		2	自動洗浄
	洋式大便器		1	紙巻器・ボタンスイッチ
	洗面器		2	自動水栓・水せっけん入れ
1階女子トイレ	洋式大便器		2	紙巻器・ボタンスイッチ
	洗面器		2	自動水栓・水せっけん入れ
	スロップシンク		1	

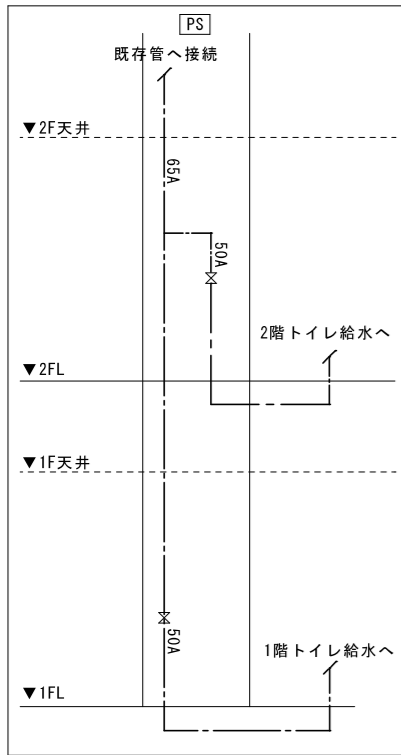
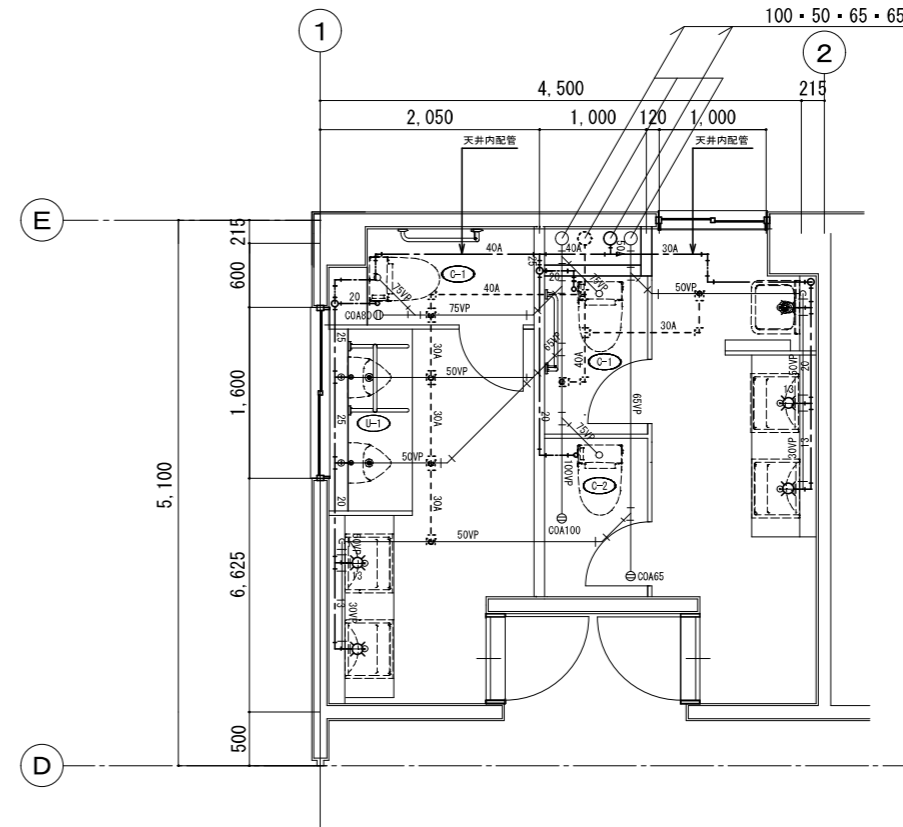
【特記】  
 ・セルフレビング下埋設配管の際は、布設部分を折る  
 ・新設配管は建物内への貫通部にて既存配管と接続する  
 ・PS内の縦管は全て更新とする。

【給水管系統図 S=FREE】

既存



改修



改修前 2階トイレ平面詳細図

【凡例】

- : 給水管
- - - : 排水管
- · - · - : 通気管 (鋼管)

【特記】

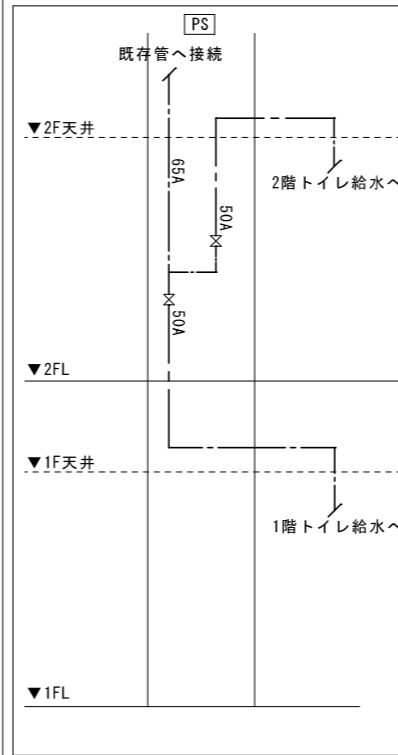
- ・埋設配管は影響部分のみ撤去とし、不要な配管は建物貫通部でキャップ止めとする (1階女子トイレ)
- ・PS内各種配管は、2階天井スラブ貫通部まで撤去とする。
- ・便器撤去後の開口は閉鎖する。

撤去器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
2階男子トイレ	壁付小便器		3	
	和式大便器		1	紙巻器
	洗面器		2	
	スロップ シンク		1	
室名	器具名	型式	数量	備考
2階女子トイレ	洋式大便器		2	紙巻器
	洗面器		3	紙巻器

【給水管系統図 S=FREE】

改修後 2階トイレ平面詳細図



【凡例】

- : 給水管 (ポリブデン管、高密度ポリエチレン管)
- - - : 排水管 (耐火VP・VP)
- · - · - : 通気管 (耐火VP・VP)

新設器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
2階男子トイレ	壁付小便器		2	自動洗浄
	洋式大便器		1	紙巻器・ボタンスイッチ
	洗面器		2	自動水栓・水せっけん入れ
室名	器具名	型式	数量	備考
2階女子トイレ	洋式大便器		2	紙巻器・ボタンスイッチ
	洗面器		2	自動水栓・水せっけん入れ
	スロップ シンク		1	

【特記】

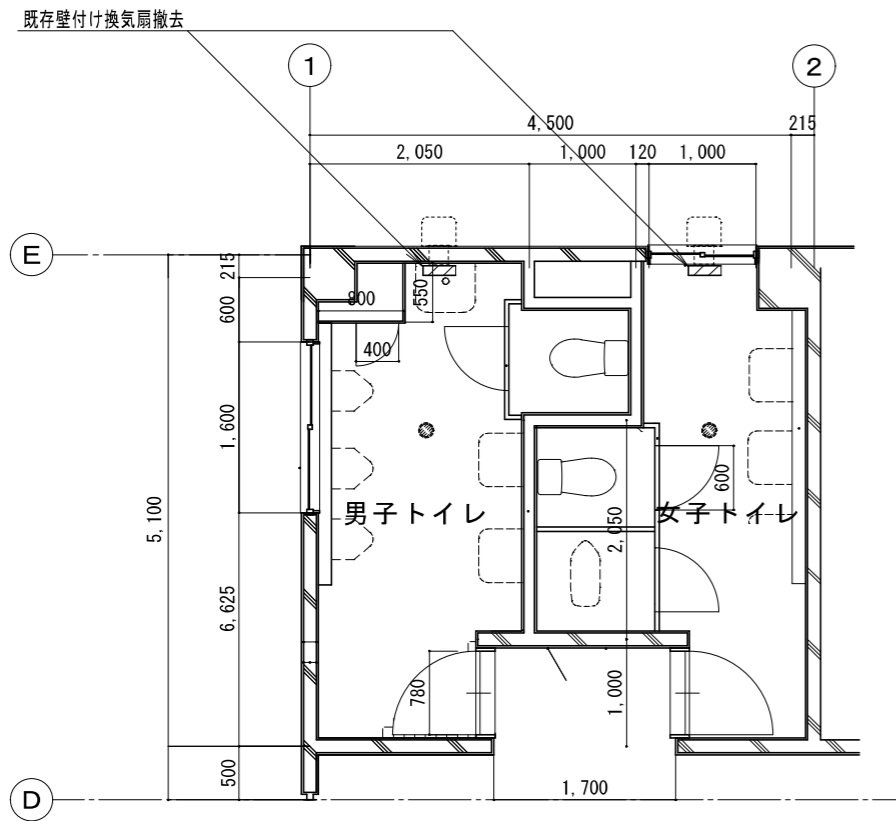
- ・セルフレベルング下埋設配管の際は、布設部分を研る
- ・新設配管は建物内への貫通部にて既存配管と接続する

【給水管系統図 S=FREE】

既存

撤去器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
1階男子トイレ	壁付け換気扇		1	取付寸法300口程度
室名	器具名	型式	数量	備考
1階女子トイレ	壁付け換気扇		1	取付寸法300口程度



改修前 1階トイレ平面詳細図

改修

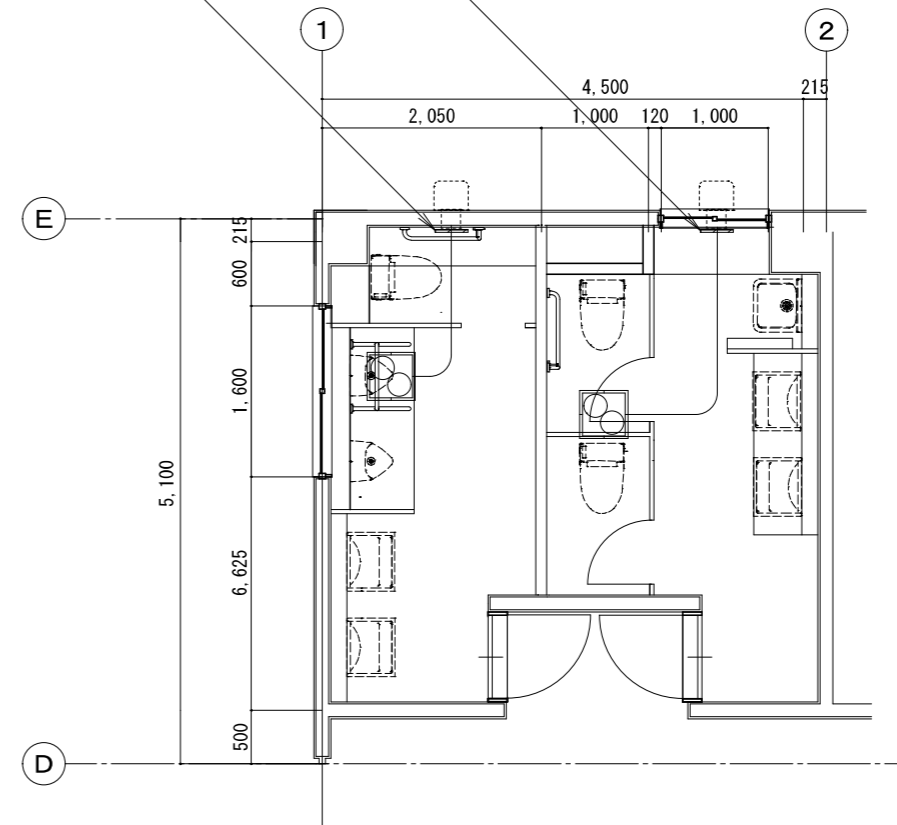
【凡例】

：フレキシブルダクトφ150  
(排気口より1mの部分に保温 (GW25))

新設器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
1階男子トイレ	天井埋込換気扇		1	φ150 埋込寸法300口程度
室名	器具名	型式	数量	備考
1階女子トイレ	天井埋込換気扇		1	φ150 埋込寸法300口程度

金属プレート新設 (1.6t) : W300×H300程度 (内側GW25貼付)  
排気口: 防虫網・ベントキャップ設置 (φ150)

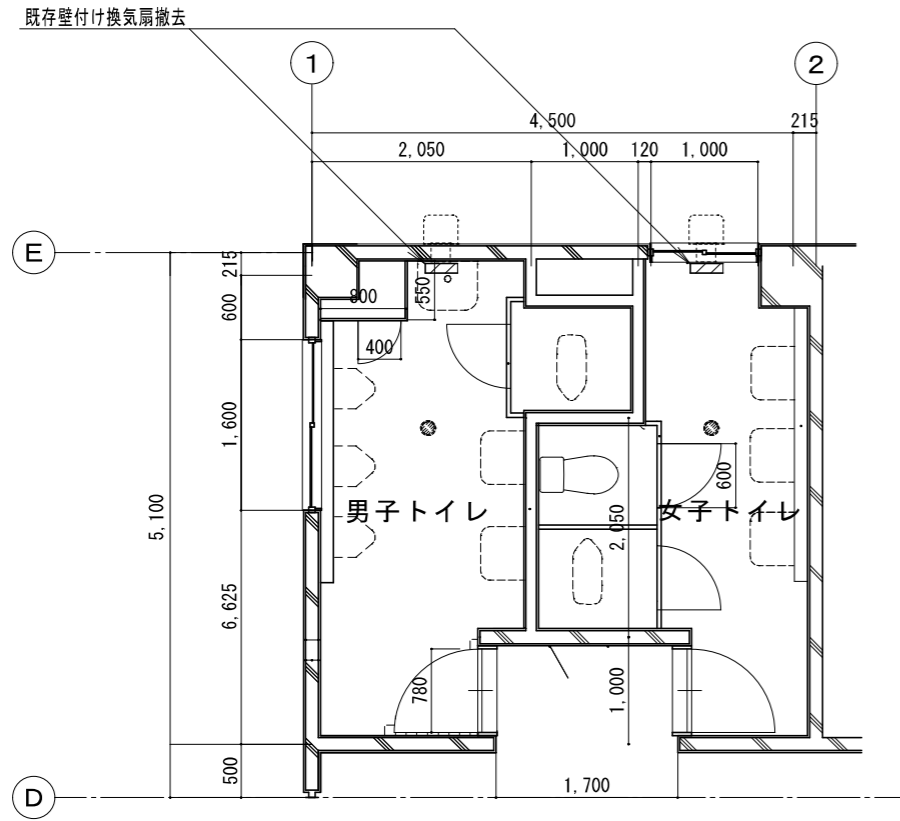


改修後 1階トイレ平面詳細図

既存

撤去器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
2階男子トイレ	壁付け換気扇		1	取付寸法300口程度
室名	器具名	型式	数量	備考
2階女子トイレ	壁付け換気扇		1	取付寸法300口程度



改修前 2階トイレ平面詳細図

改修

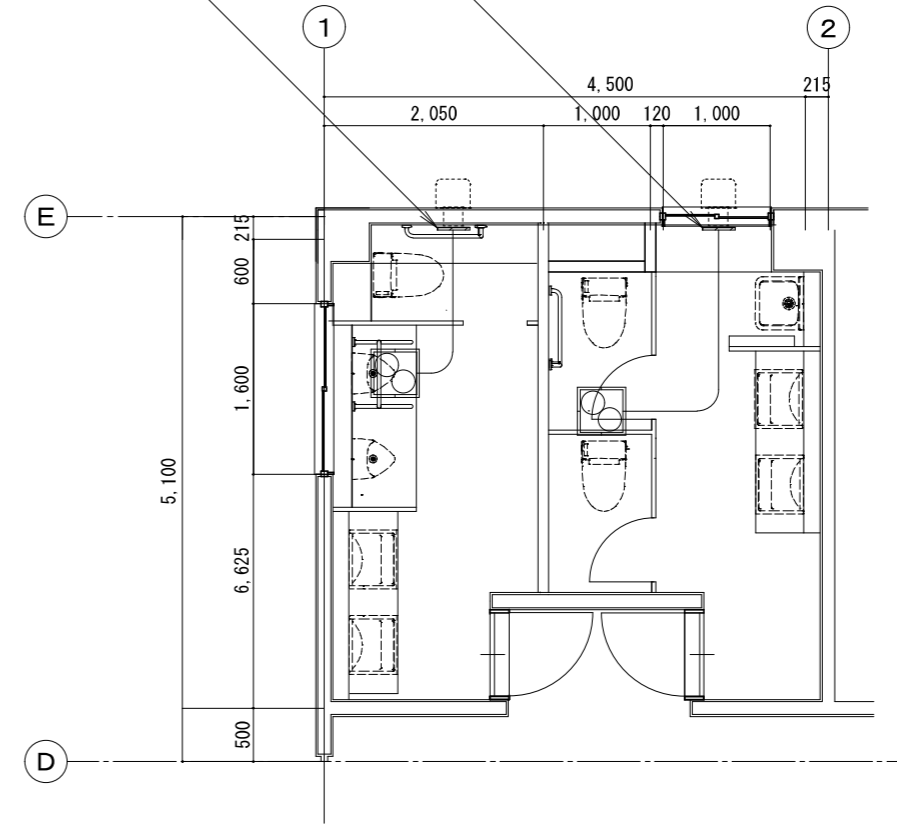
【凡例】

：フレキシブルダクトφ150  
(排気口より1mの部分に保温(GW25))

新設器具表

室名	器具名	型式	数量	備考
1階男子トイレ	天井埋込換気扇		1	φ150 埋込寸法300口程度
室名	器具名	型式	数量	備考
1階女子トイレ	天井埋込換気扇		1	φ150 埋込寸法300口程度

金属プレート新設(1.6t) : W300×H300程度(内側GW25貼付)  
排気口 : 防虫網・ベントキャップ設置(150φ)



改修後 2階トイレ平面詳細図

工事名称  
狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び狭山市立水富小学校屋上防水改修工事

設計年月

狭山市 生涯学習部 教育施設管理課

図面名称  
水富公民館 改修前後 換気設備2階トイレ平面詳細図

縮尺  
A2 1/50

図面番号  
M07

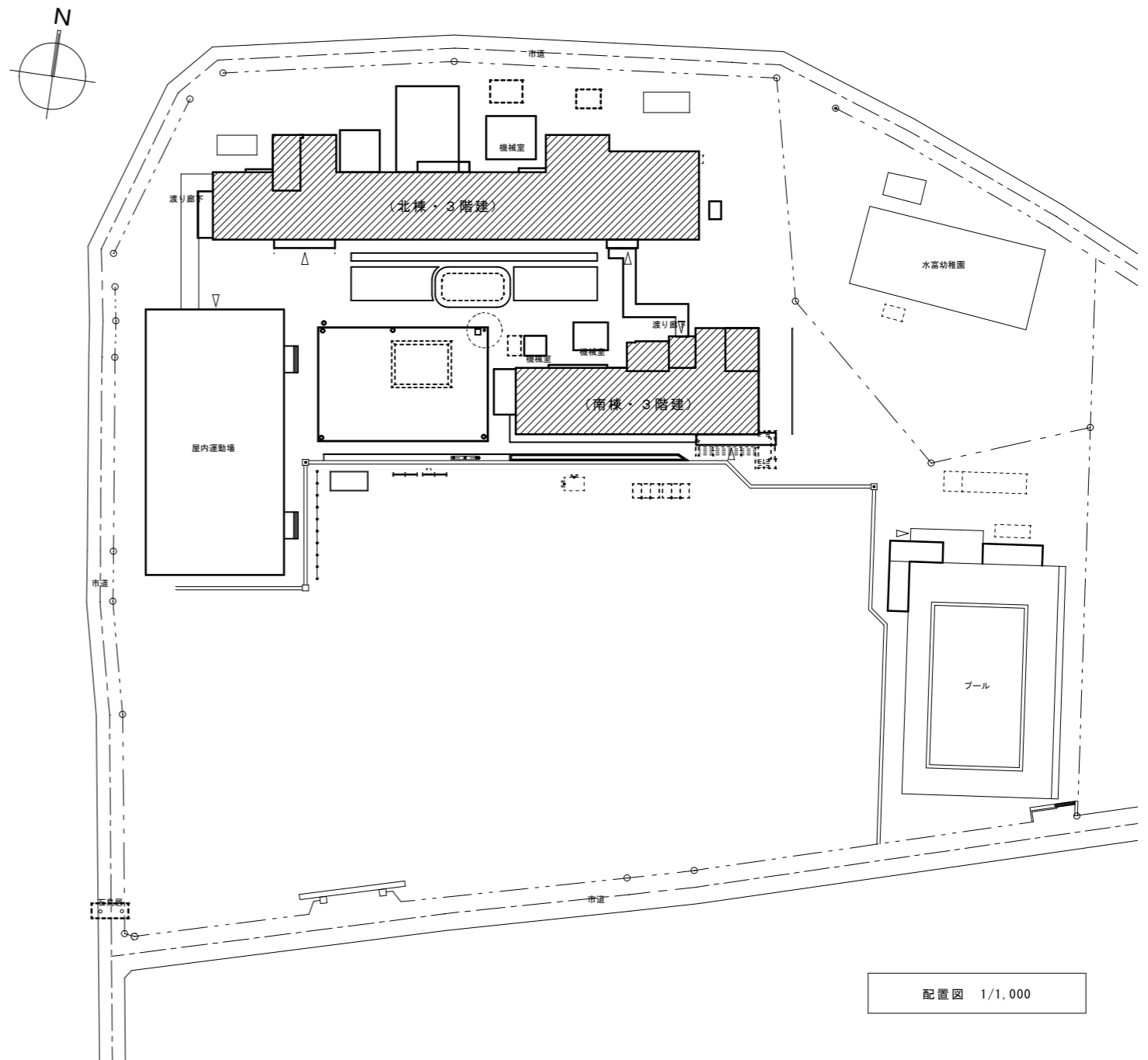
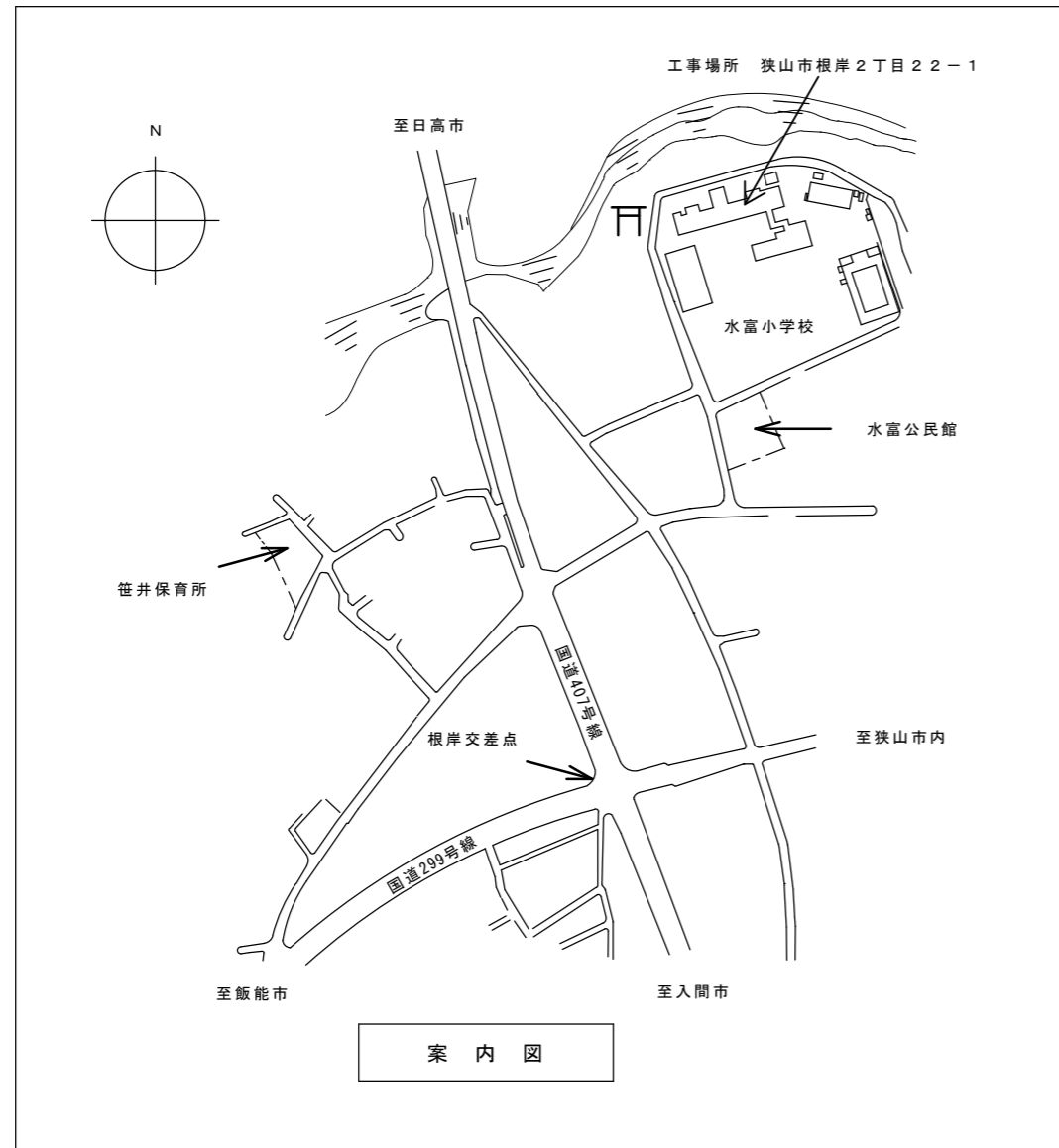


6	改質アスファルトシート 防水	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>
	7	合成高分子系ルーフィングシート 防水

9	シーリング	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>
10	とい	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>

4-2	モルタル塗り仕上げ外壁	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>
4-3	タイル張り仕上げ外壁	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>

5	浮き部改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>
6	目地改修工法	<p>高日射反射率防水の適用 ☑ ※適用する ・ 適用しない</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び設置数量</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ</p> <p>※表3.4.1)から[表3.4.3]による</p> <p>※J S A 6013に基づく種類及び厚さ</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※改質アスファルトシートの製造所の指定による</p> <p>種類( )、設置数量( )個/㎡</p> <p>押え金物</p> <p>※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p>



凡例  
 工事対象範囲

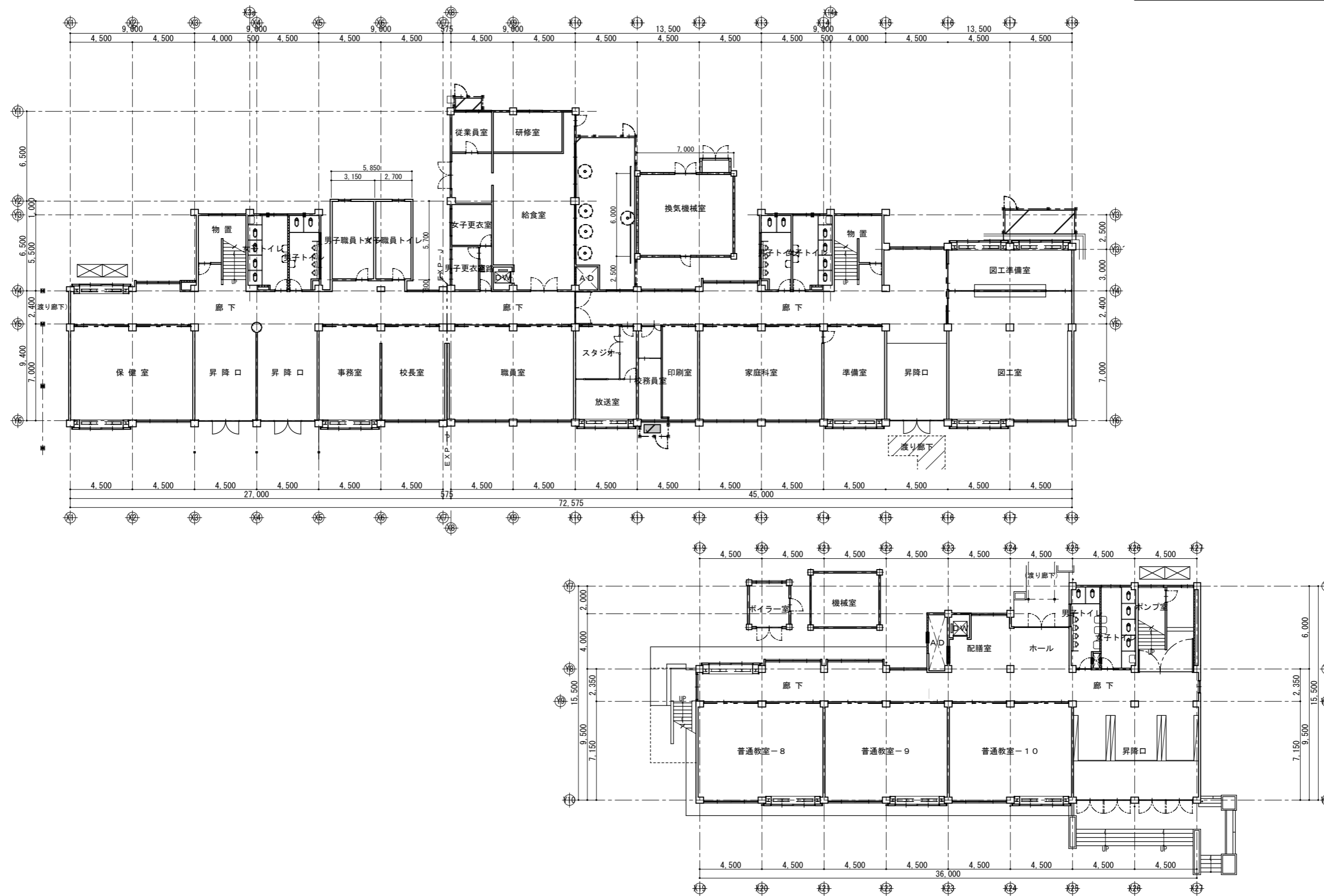
		工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
狭山市 生涯学習部 教育施設管理課		図面名称 案内図・配置図	縮尺 A2 1/500 図面番号 A-20

外部仕上表

棟	部位	仕上 (既存)	下地処理	改修仕上	
北校舎 校舎屋上	平場	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	立上	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	笠木	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	付属物	ドレン	既存ドレン (縦、横)	ドレン廻り研り、モルタル修正、既存ドレン撤去	改修用ドレン新設 Φ100
		丸環	SUS製	下地調整	SOP塗装
EXP. Jカバー		ステンレス製	撤去	新設	
太陽光パネル		—	撤去・移設、付属配線撤去	復旧、付属配線新設	
南校舎 校舎屋上	平場	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	立上	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	笠木	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	付属物	ドレン	既存ドレン (縦)	ドレン廻り研り、モルタル修正、既存ドレン撤去	改修用ドレン新設 Φ100
北校舎 階段室1屋上	平場	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	立上	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	笠木	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	付属物	ドレン	既存ドレン (縦、横)	ドレン廻り研り、モルタル修正、既存ドレン撤去	改修用ドレン新設
丸環		SUS製	下地調整	SOP塗装	
南校舎 階段室2屋上	平場	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	立上	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	笠木	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	付属物	ドレン	既存ドレン (縦)	ドレン廻り研り、モルタル修正、既存ドレン撤去	改修用ドレン新設
南校舎 機械室屋上	平場	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	立上	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	笠木	ウレタン塗膜防水 (X-2)	塗膜脆弱部撤去・平滑処理 高圧洗浄、既存ウレタン部プライマー塗布	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2) 高耐久シリコン系保護塗料	
	付属物	ドレン	既存ドレン (縦)	ドレン廻り研り、モルタル修正、既存ドレン撤去	改修用ドレン新設



凡例

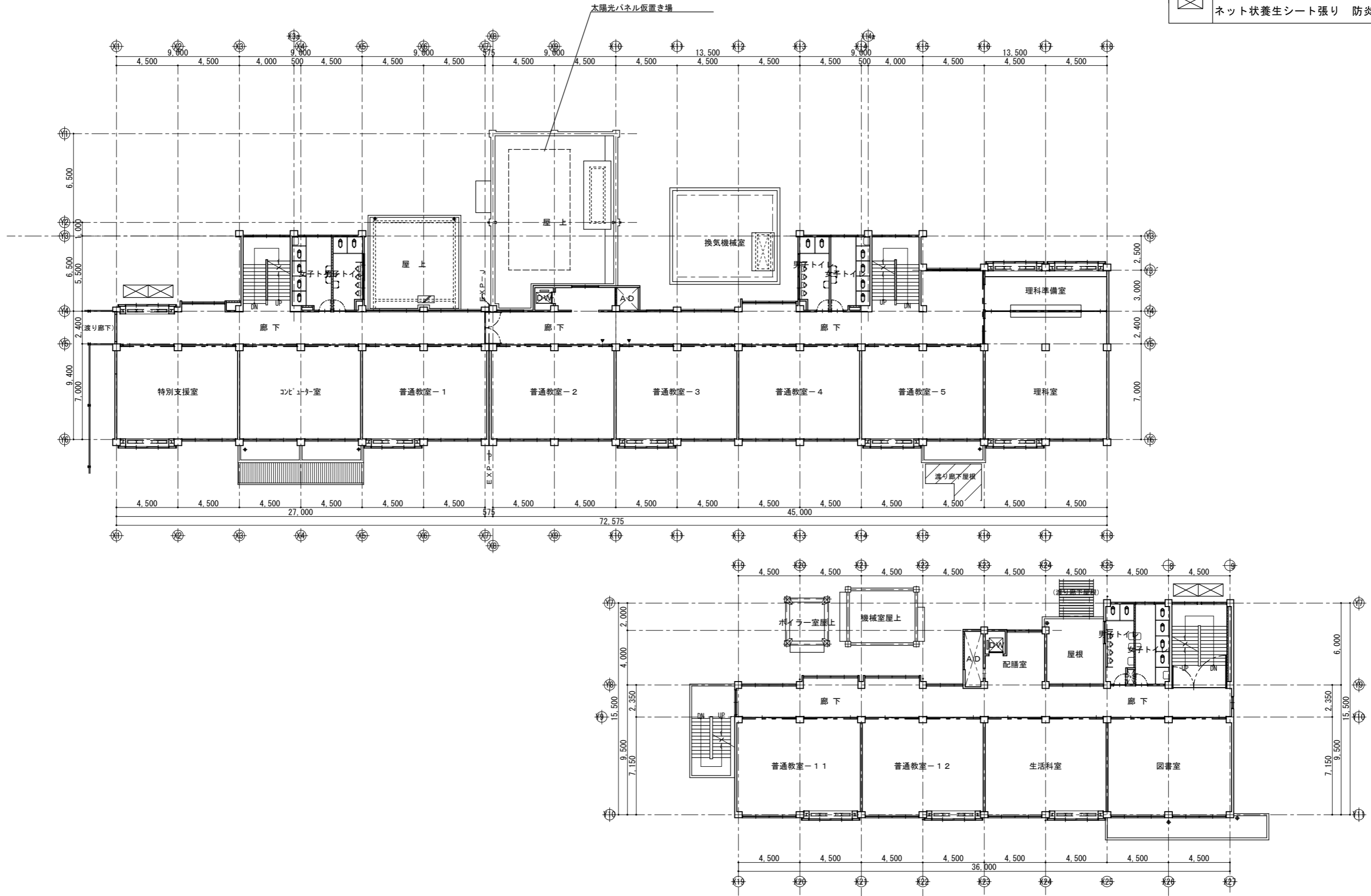
- ⊠ くさび緊結式足場 (建地幅900)
- ⊞ ネット状養生シート張り 防災I類



	工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
狭山市 生涯学習部 教育施設管理課	図面名称 1階平面図	縮尺 A2 1/200 図番 A-22

凡例

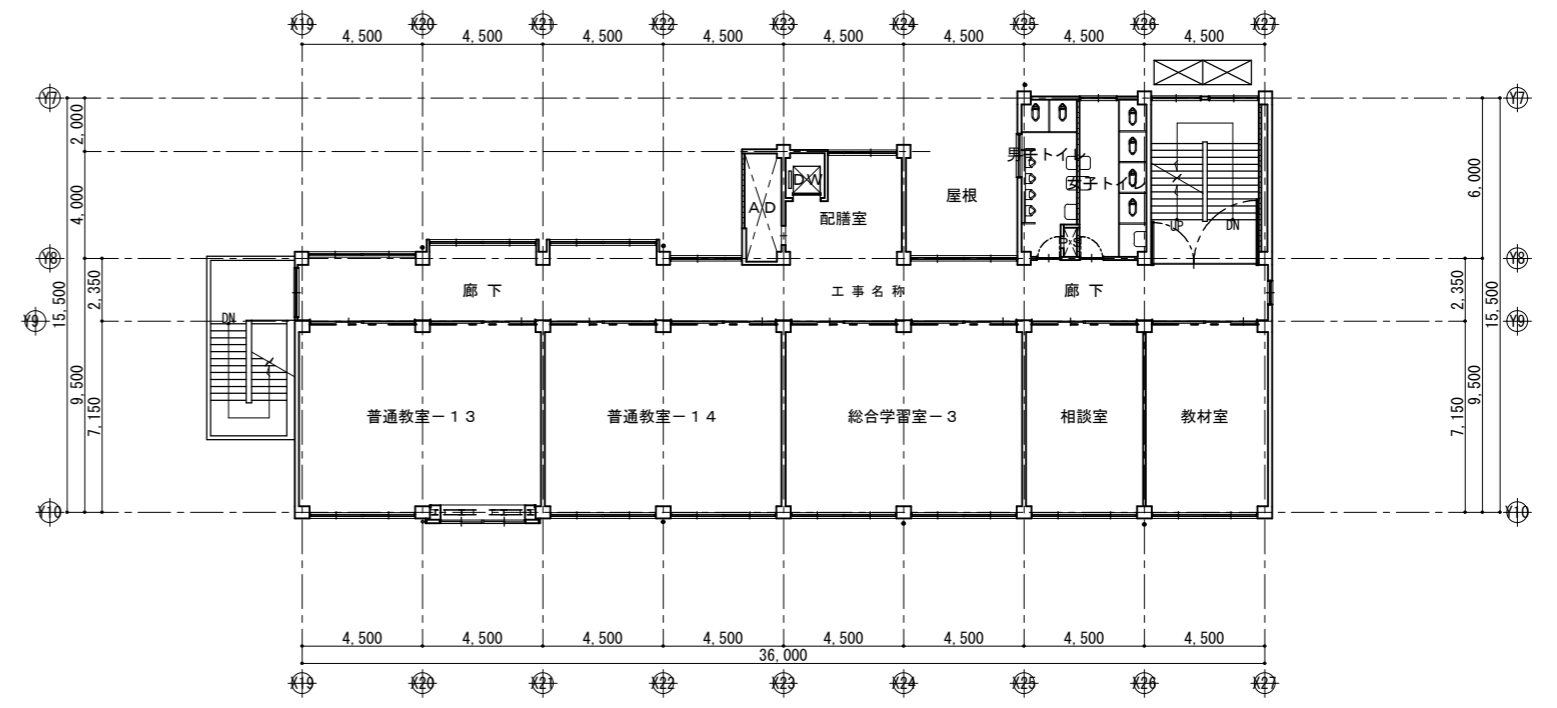
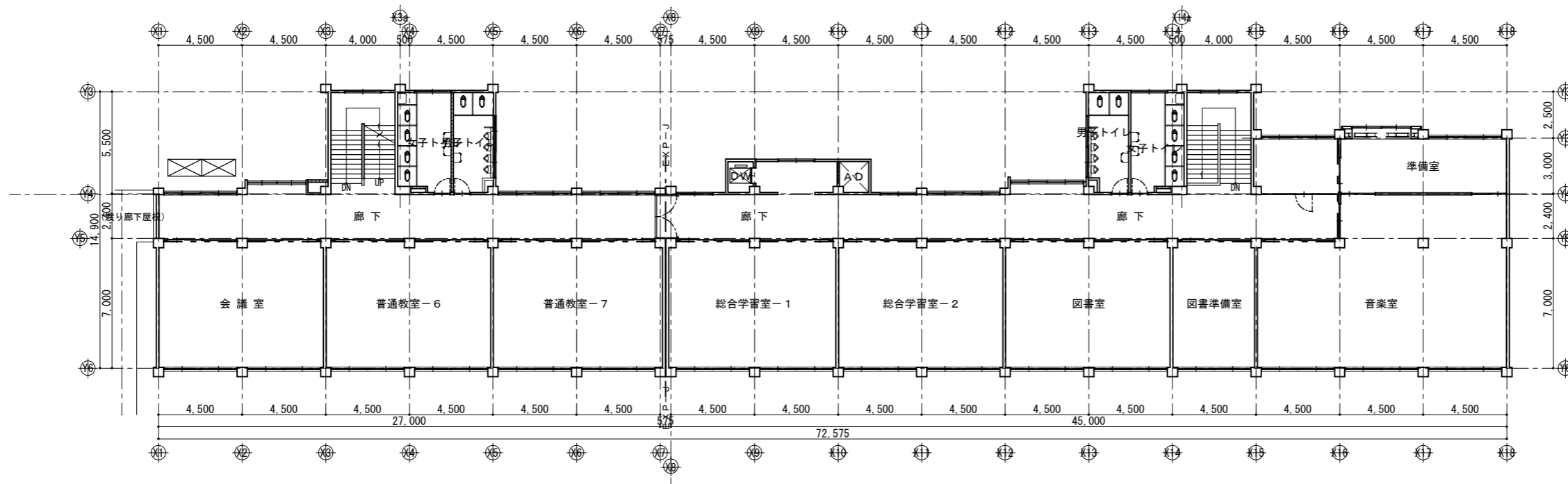
-  くさび緊結式足場 (建地幅900)
-  ネット状養生シート張り 防災I類



狭山市 生涯学習部 教育施設管理課		工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事		設計年月
		図面名称 2階平面図		縮尺 A2 1/200
				図面番号 A-23

凡例

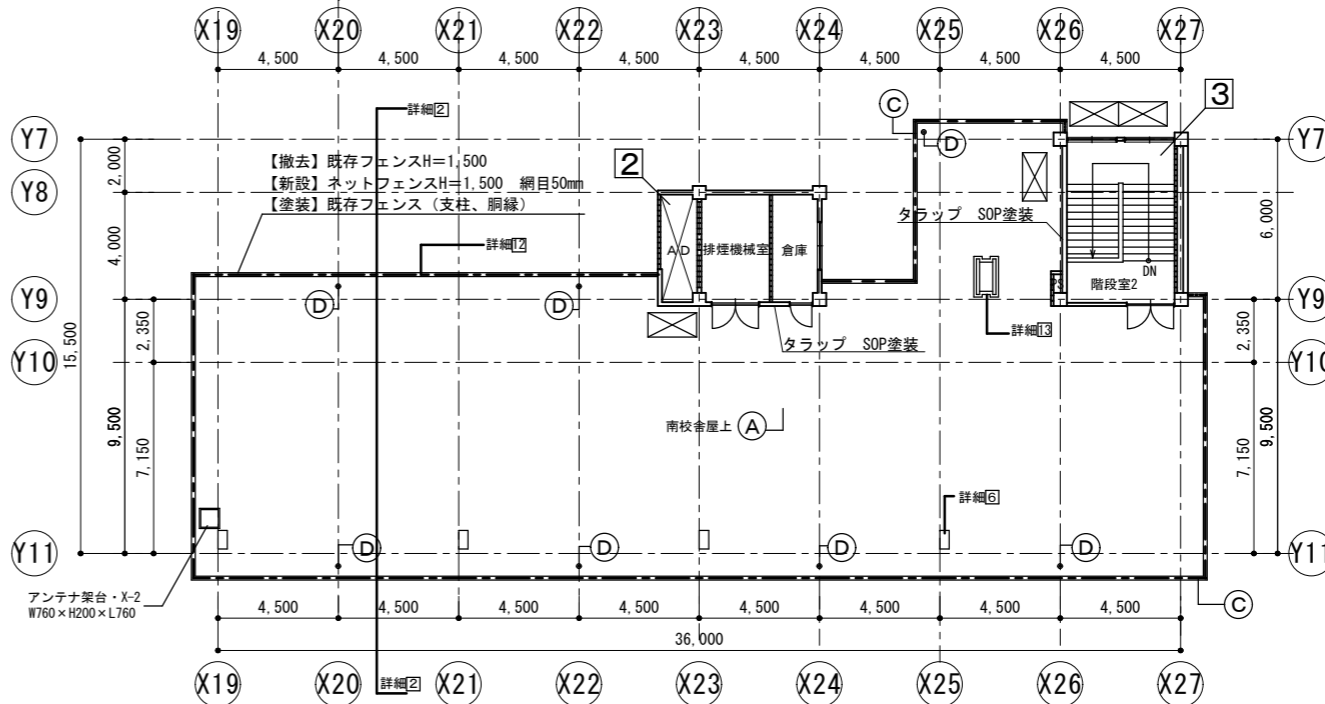
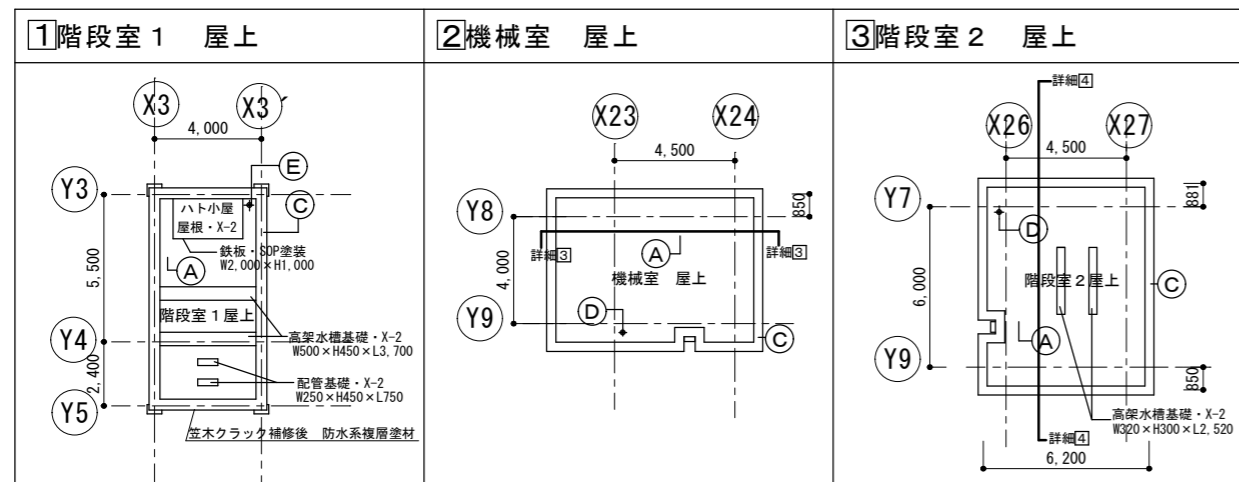
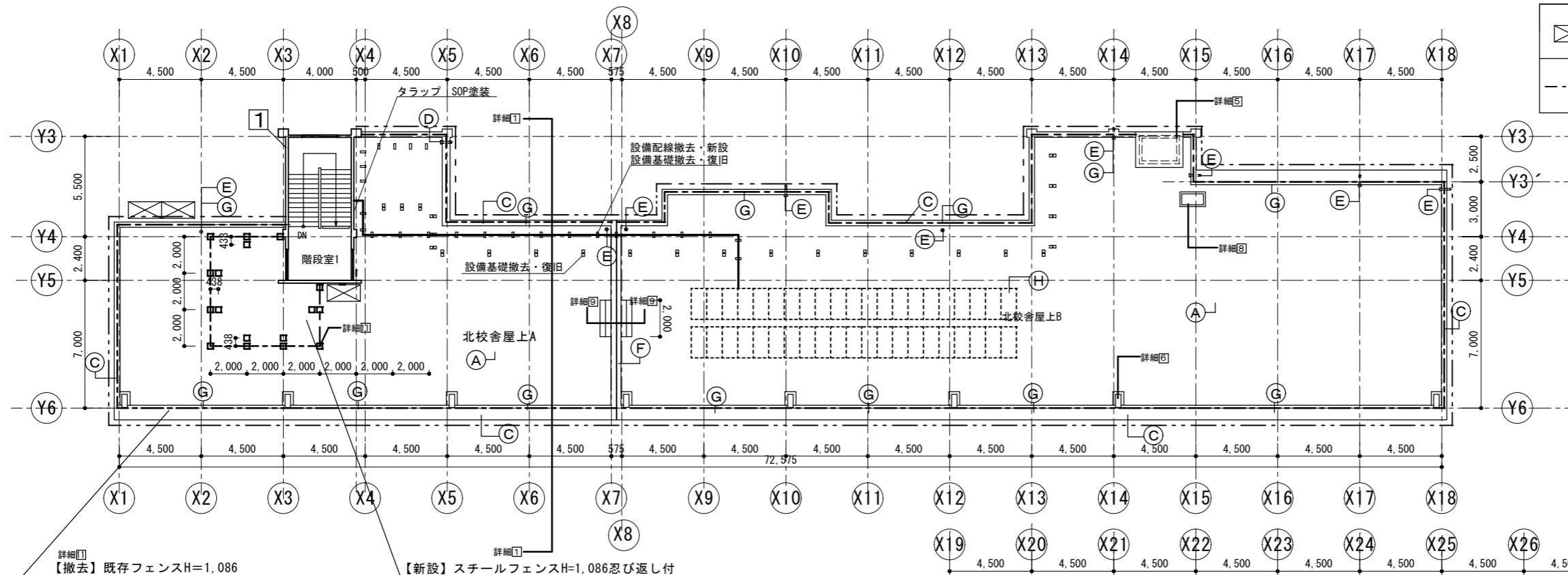
- くさび緊結式足場 (建地幅900)
- ネット状養生シート張り 防災I類



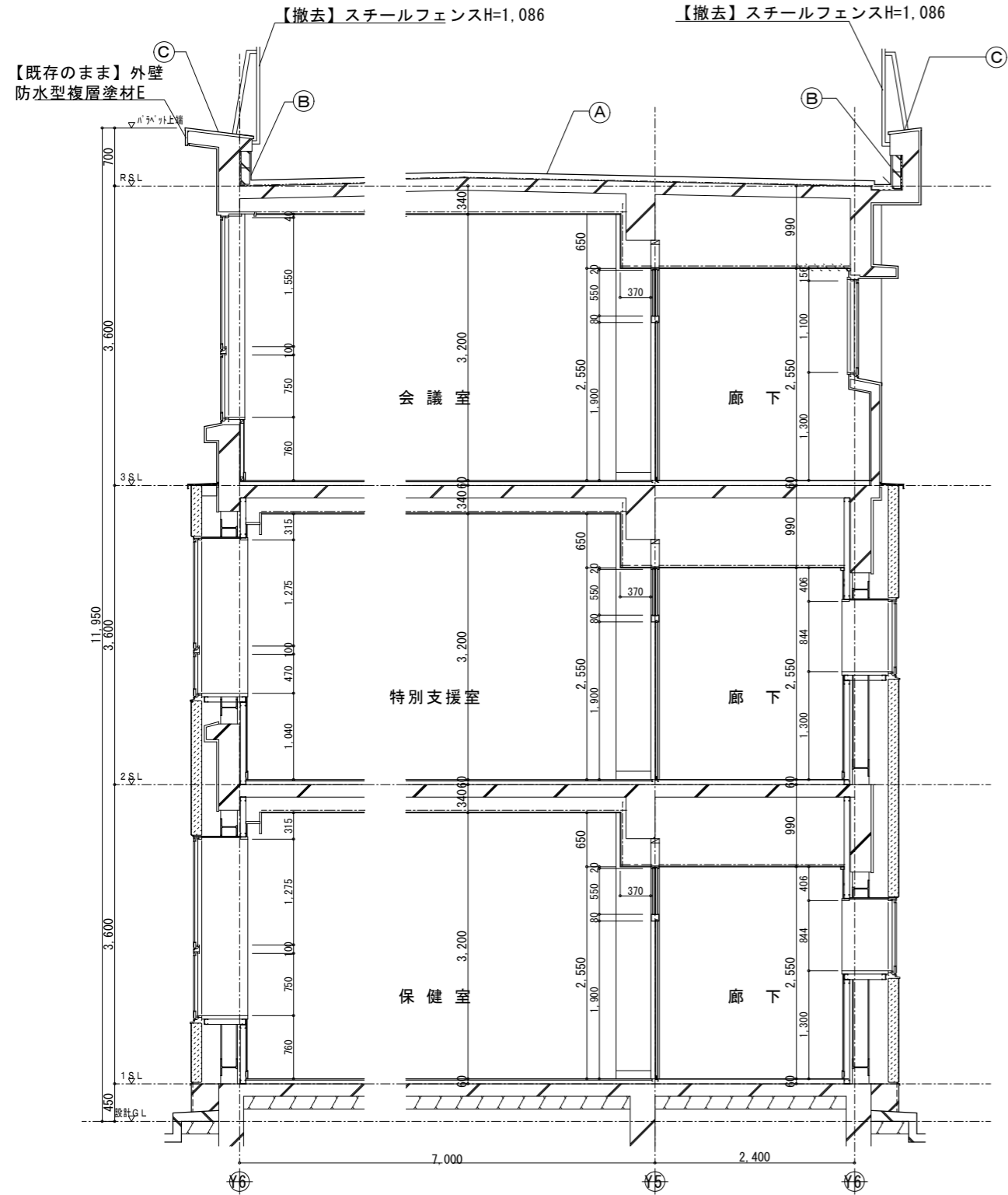
	狭山市 生涯学習部 教育施設管理課	工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
		図面名称 3階平面図	縮尺 A2 1/200 図番番号 A-24

凡例

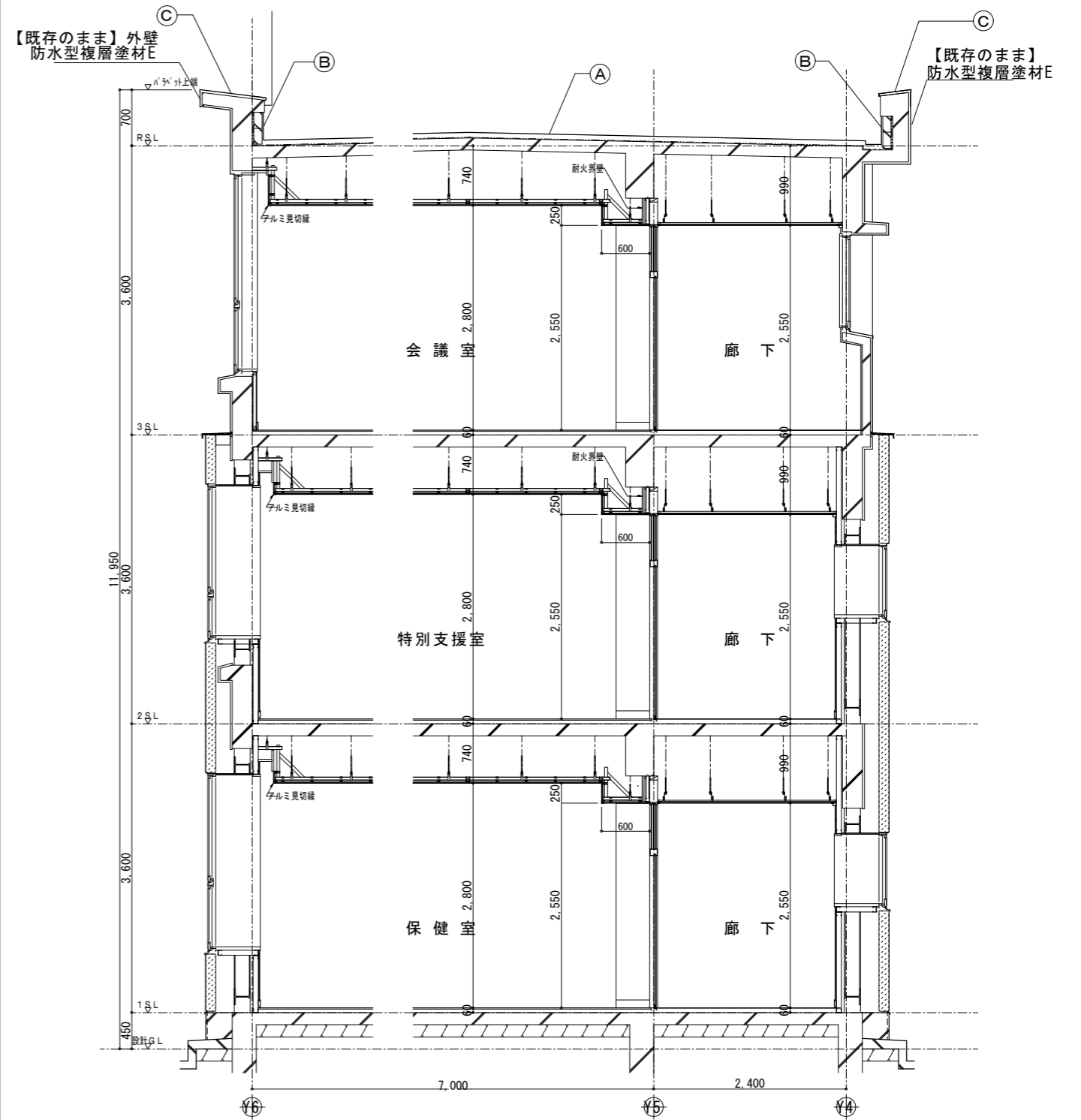
	くさび緊結式足場 (建地幅900)
	ネット状養生シート張り 防災I類
	ガードポスト



記号	部位	仕上 (既存)	下地処理	改修仕上	記号	部位	仕上 (既存)	下地処理	改修仕上
A	平場	ウレタン塗膜防水 (X-2)	ウレタン塗膜脆弱部撤去	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	D	付属物	ドレン	既存ドレン (縦・横)	ドレン廻り研り モルタル補修
			平滑処理、高圧洗浄	高耐久シリコン系保護塗料				既存ドレン (縦・横)	清掃、既存ドレン撤去
B	立上	ウレタン塗膜防水 (X-2)	既存ウレタン部プライマー塗布	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	E	付属物	ドレン	高耐久シリコン系保護塗料	撤去
			ウレタン塗膜脆弱部撤去	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)				高耐久シリコン系保護塗料	下地調整
C	笠木	ウレタン塗膜防水 (X-2)	平滑処理、高圧洗浄	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	F	付属物	EXP.Jカバー	既存ウレタン部プライマー塗布	高耐久シリコン系保護塗料
			高架水槽基礎・X-2 W500×H450×L3,700	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)				高耐久シリコン系保護塗料	撤去
D	付属物	ドレン	高架水槽基礎・X-2 W250×H450×L750	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	G	付属物	丸環	高架水槽基礎・X-2 W320×H300×L2,520	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)
			配管基礎・X-2 W250×H450×L750	高耐久シリコン系保護塗料				高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	高耐久シリコン系保護塗料
E	付属物	ドレン	高架水槽基礎・X-2 W250×H450×L750	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	H	付属物	太陽光パネル	高架水槽基礎・X-2 W320×H300×L2,520	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)
			高架水槽基礎・X-2 W500×H450×L3,700	高耐久シリコン系保護塗料				高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	高耐久シリコン系保護塗料
F	付属物	EXP.Jカバー	高架水槽基礎・X-2 W250×H450×L750	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	H	付属物	太陽光パネル	高架水槽基礎・X-2 W320×H300×L2,520	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)
			高架水槽基礎・X-2 W500×H450×L3,700	高耐久シリコン系保護塗料				高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	高耐久シリコン系保護塗料
G	付属物	丸環	高架水槽基礎・X-2 W250×H450×L750	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	H	付属物	太陽光パネル	高架水槽基礎・X-2 W320×H300×L2,520	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)
			高架水槽基礎・X-2 W500×H450×L3,700	高耐久シリコン系保護塗料				高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	高耐久シリコン系保護塗料
H	付属物	太陽光パネル	高架水槽基礎・X-2 W250×H450×L750	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	H	付属物	太陽光パネル	高架水槽基礎・X-2 W320×H300×L2,520	高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)
			高架水槽基礎・X-2 W500×H450×L3,700	高耐久シリコン系保護塗料				高粘性ウレタン塗膜防水密着工法 (X-2)	高耐久シリコン系保護塗料

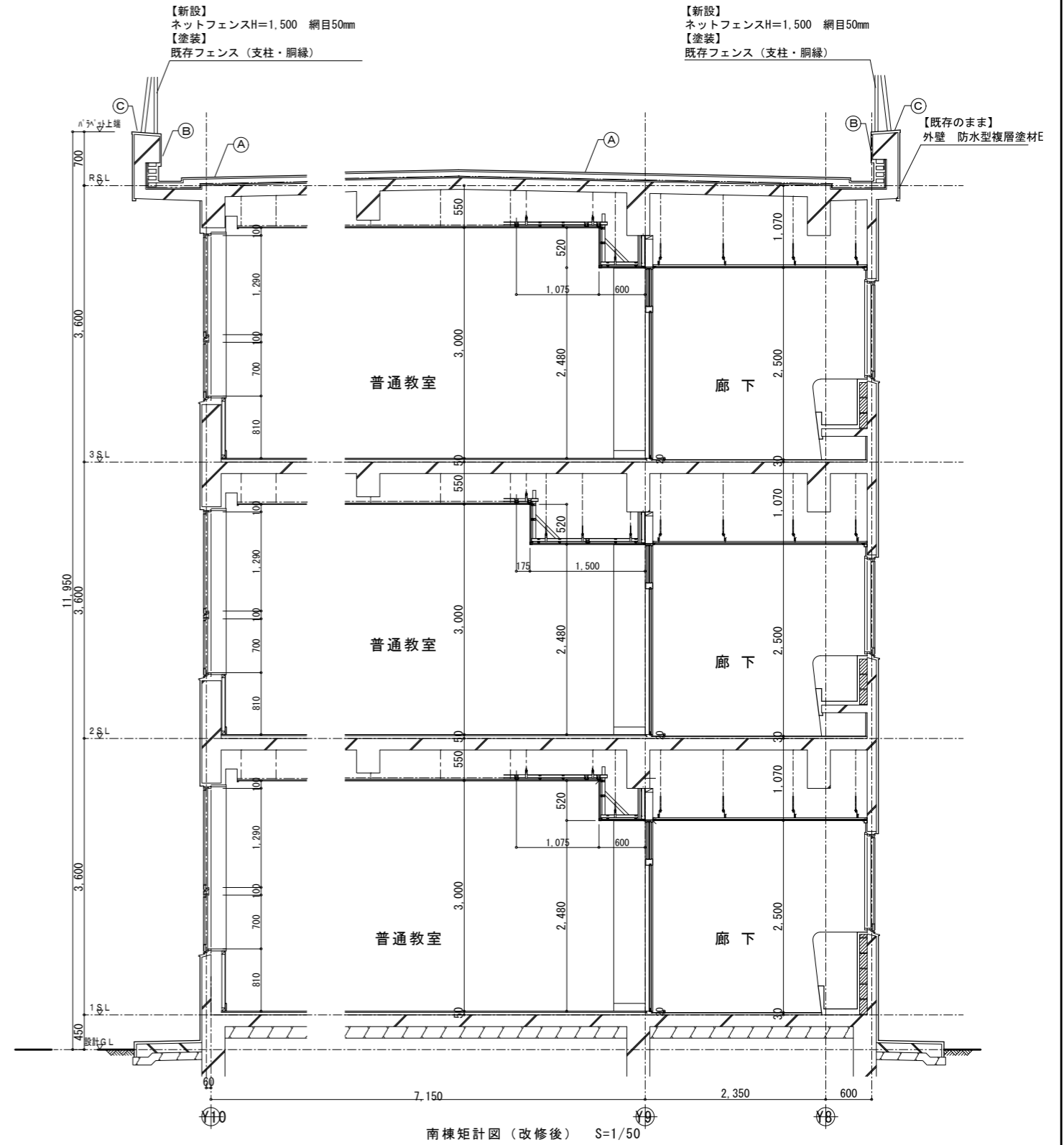
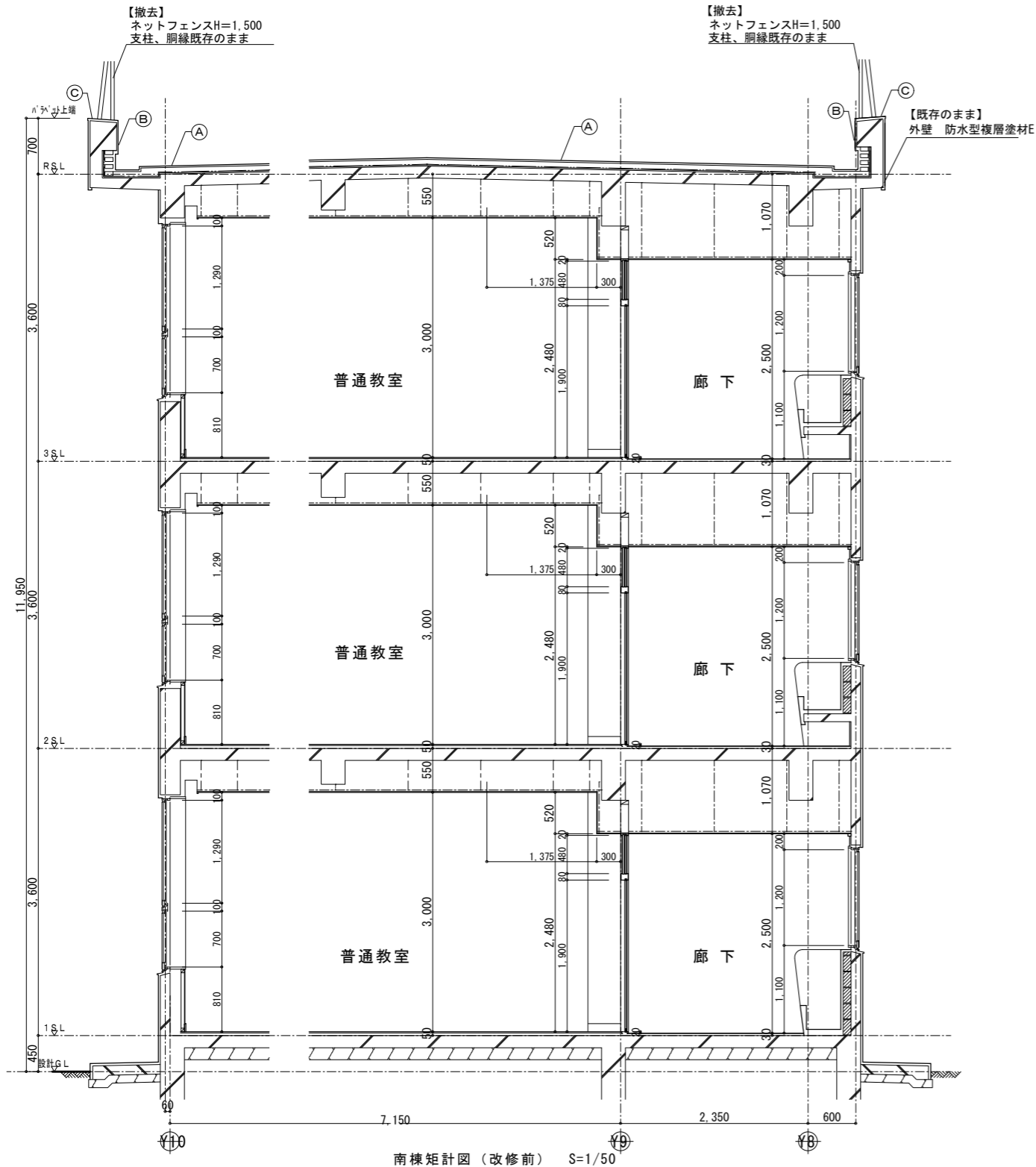


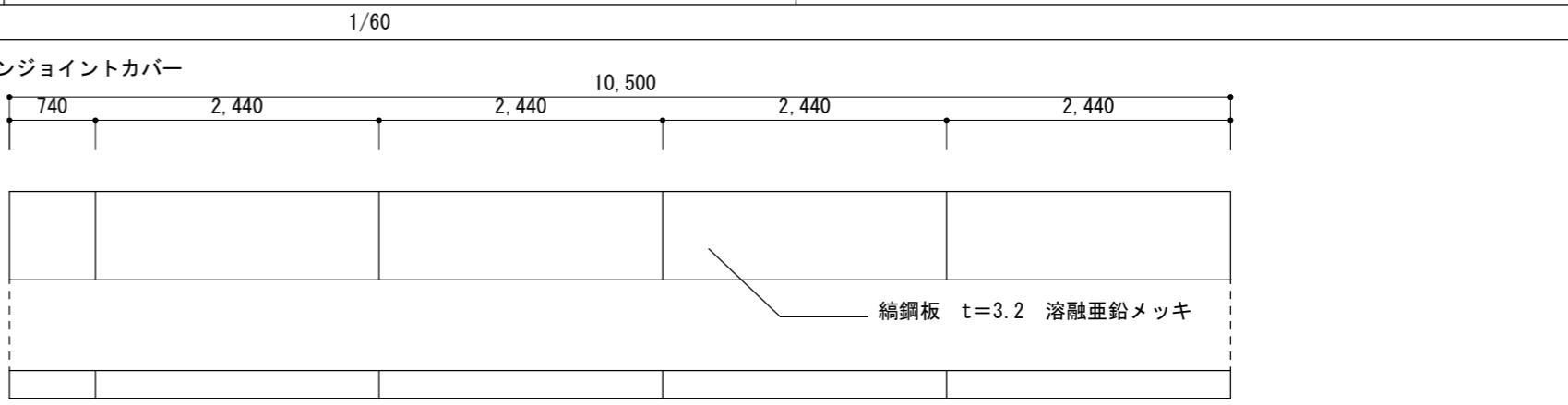
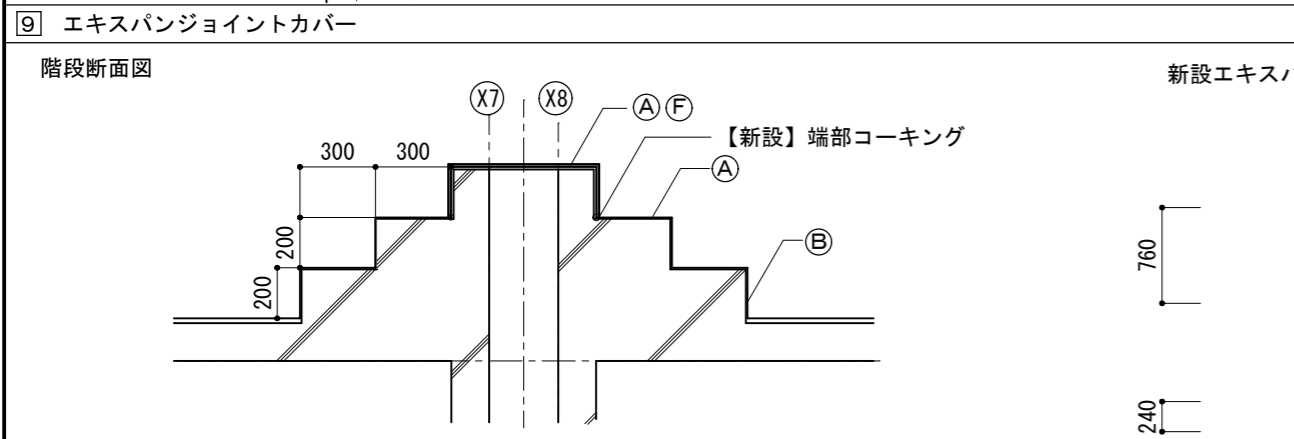
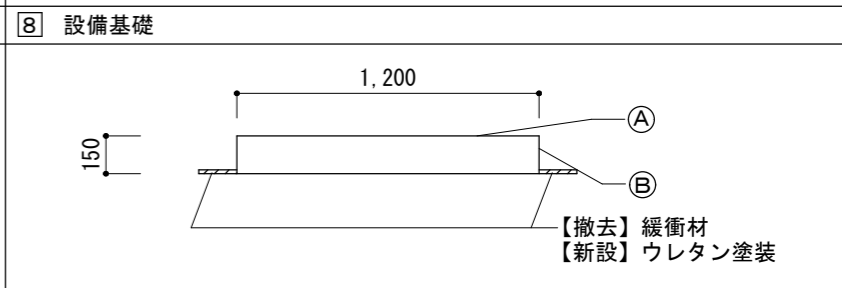
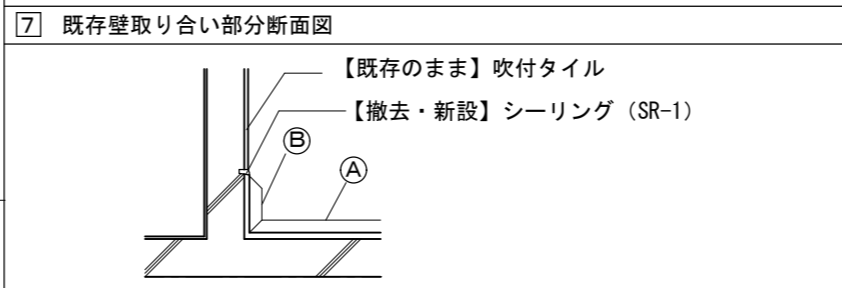
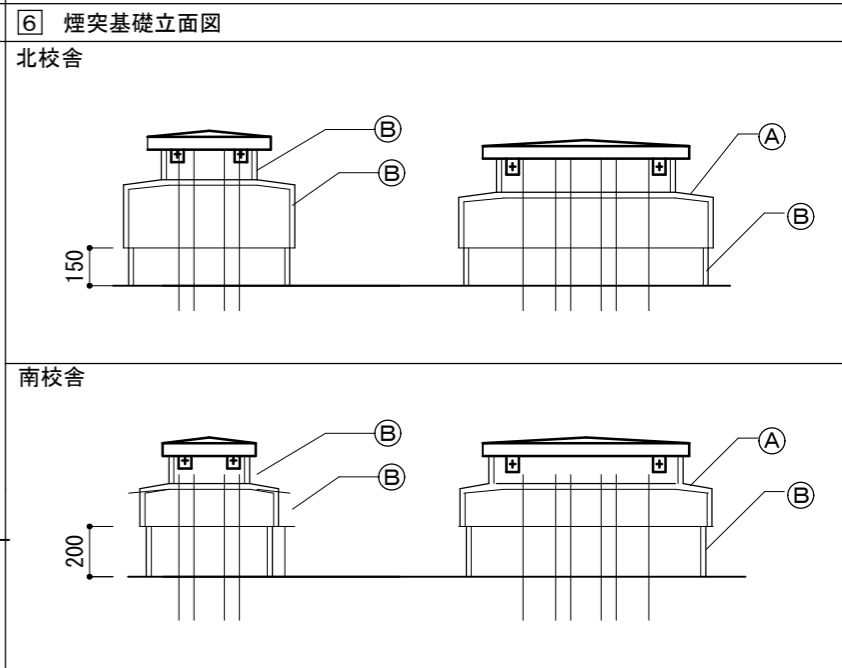
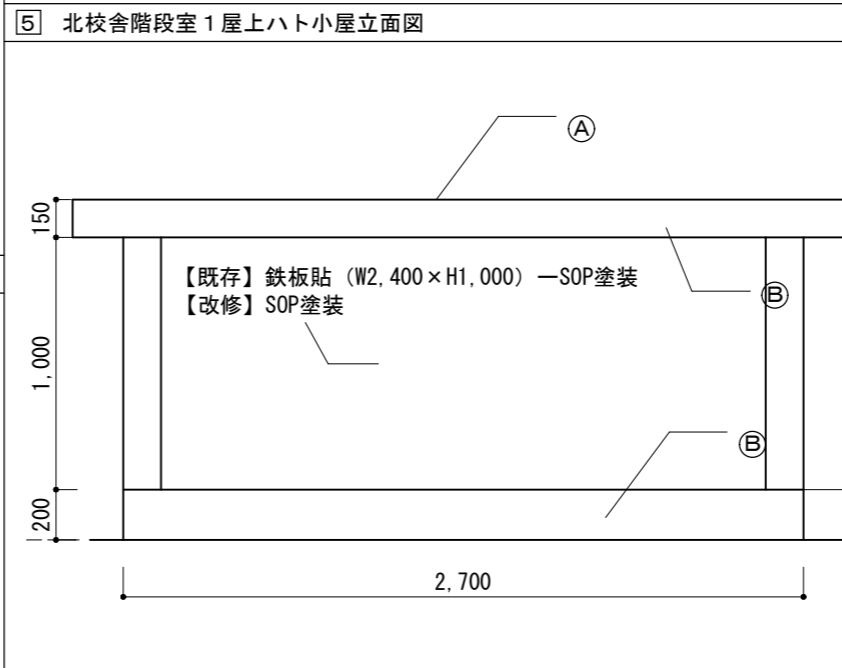
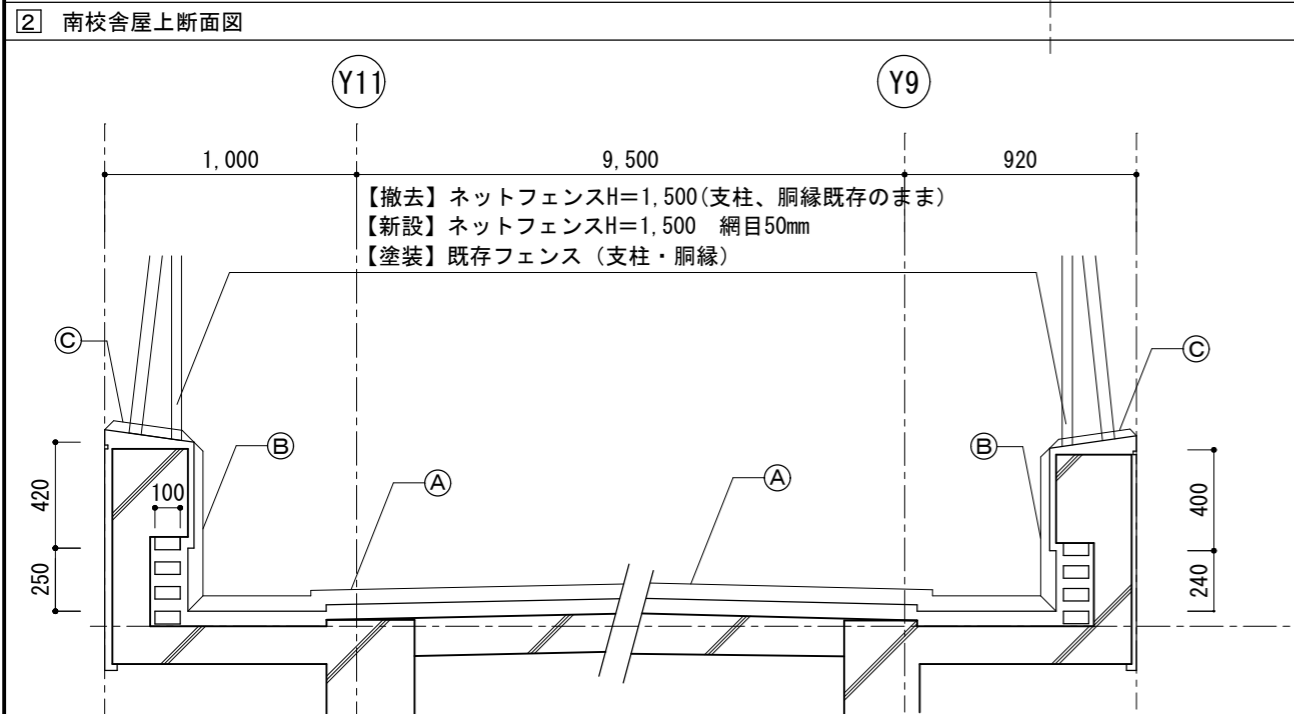
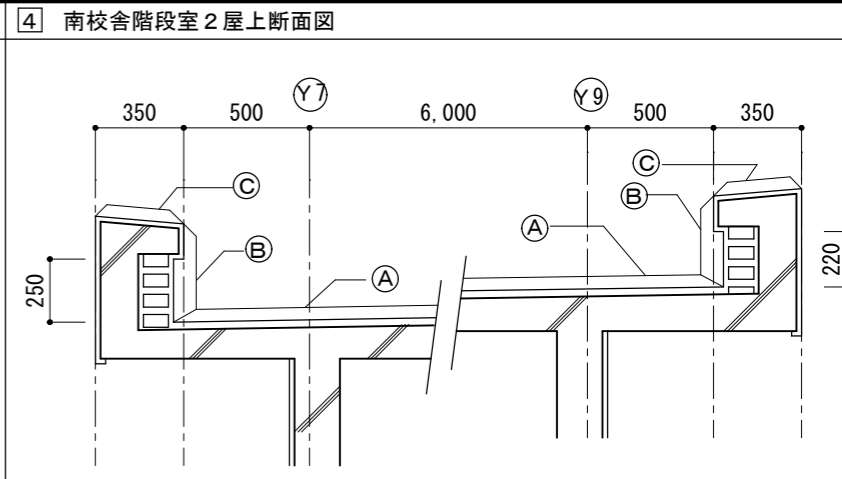
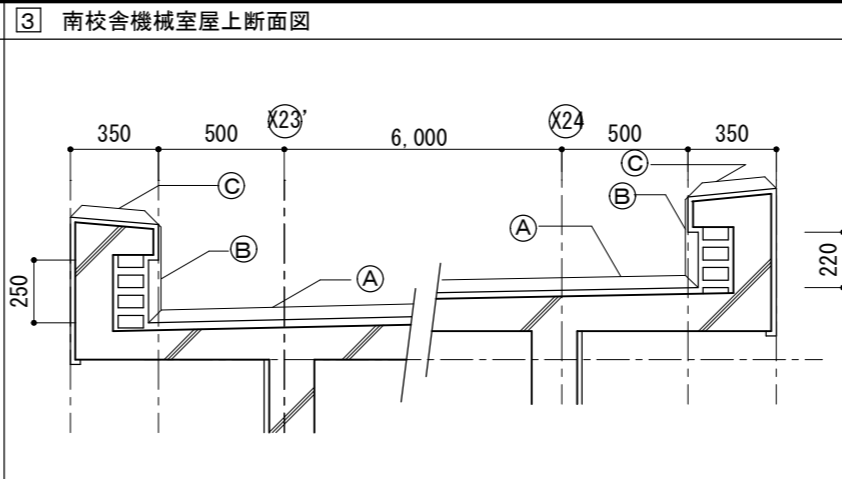
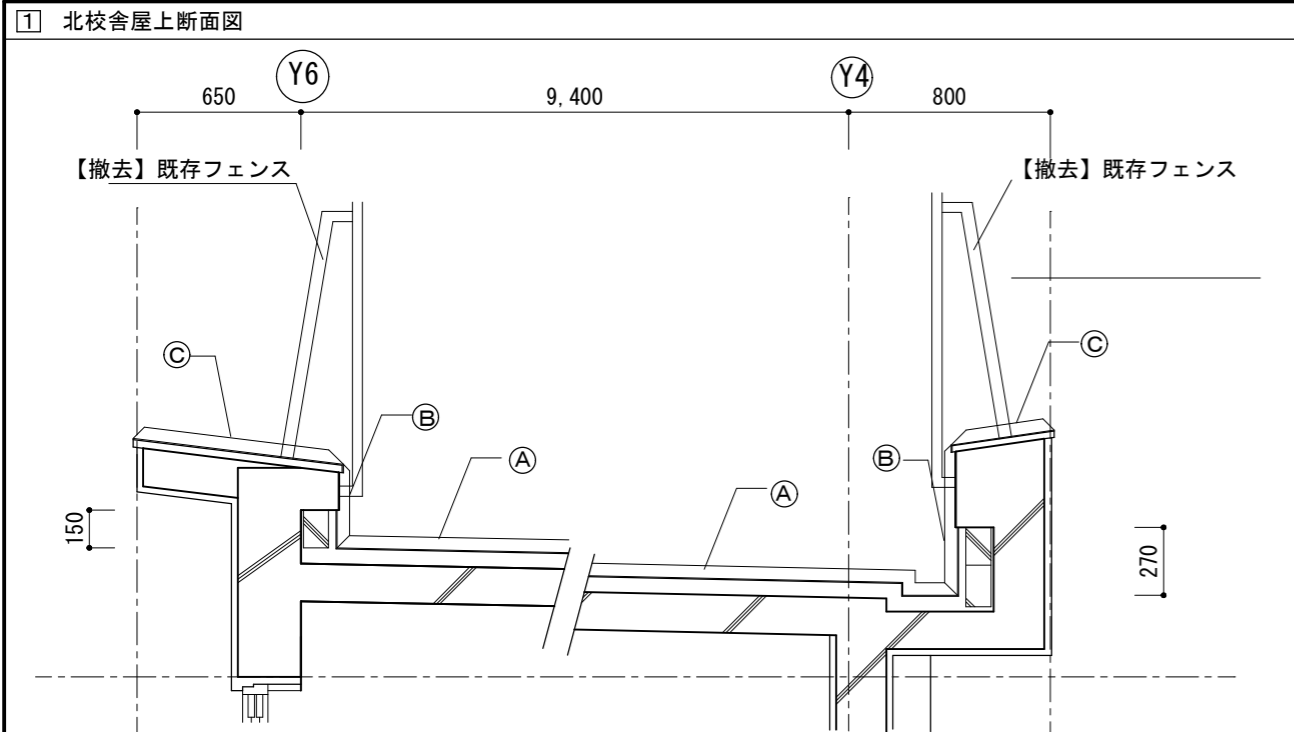
北棟矩計図（改修前） S=1/50



北棟矩計図（改修後） S=1/50

狭山市 生涯学習部 教育施設管理課	工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
	図面名称 北校舎矩計図	縮尺 A2 1/50 図面番号 A-26

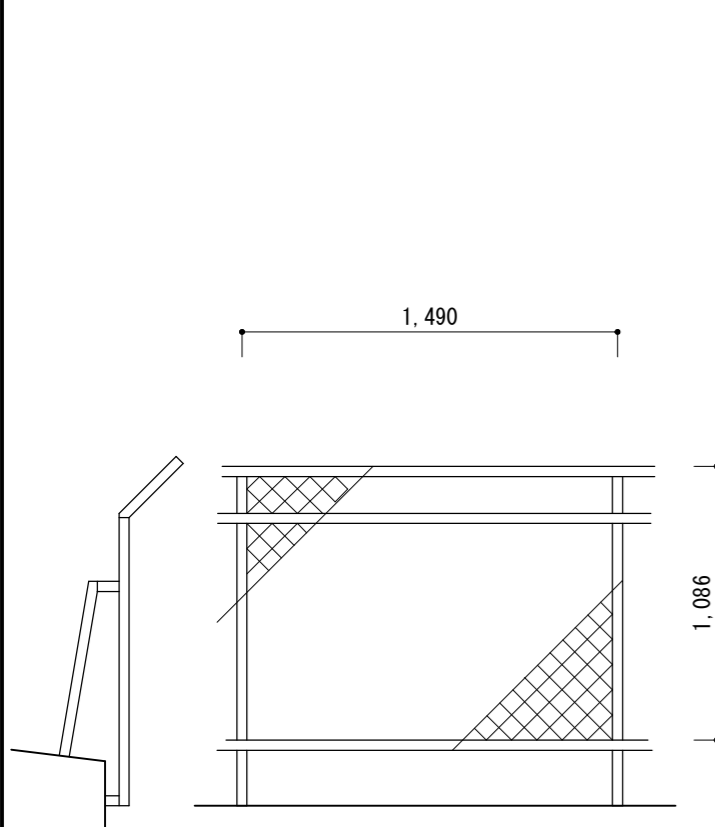




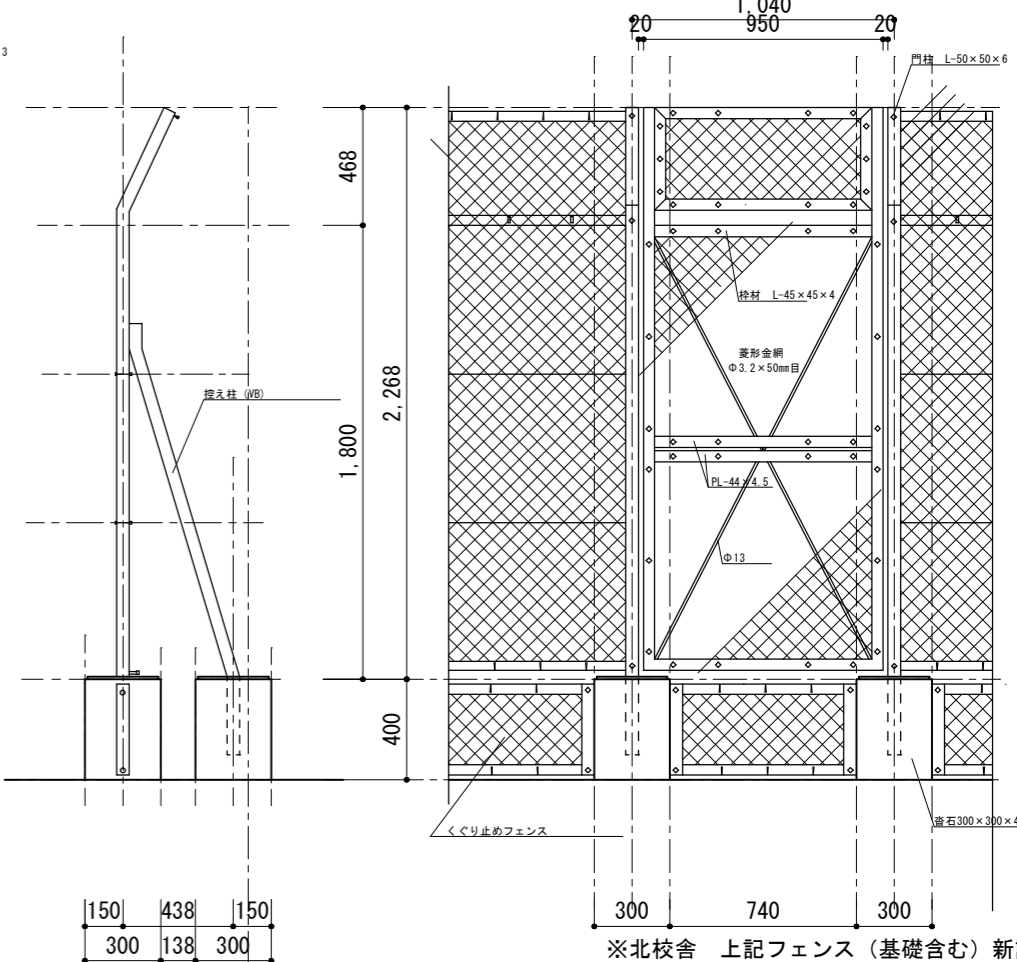
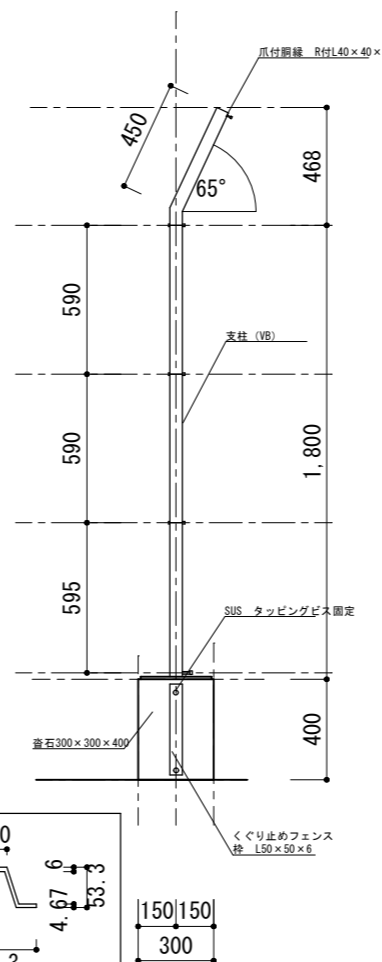
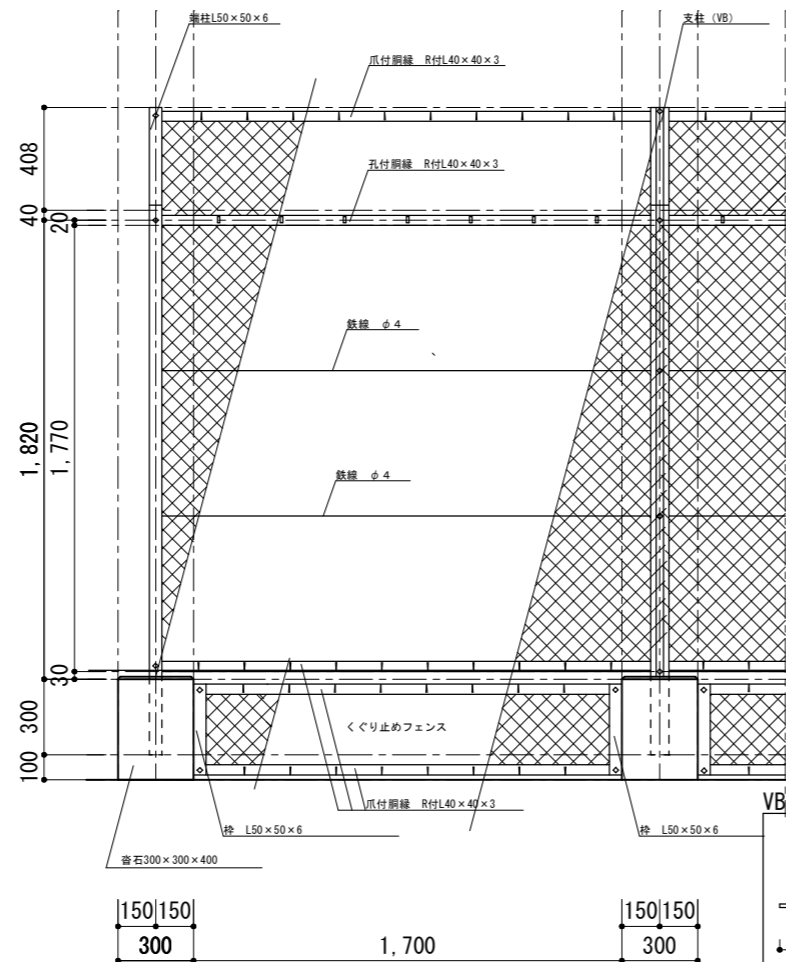
※既存EXP. Jカバー(屋上部)は撤去。

狭山市 生涯学習部 教育施設管理課	工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
	図面名称 詳細図(1)	縮尺 A2 1/30
	図面番号 A-28	

11 北校舎屋上フェンス

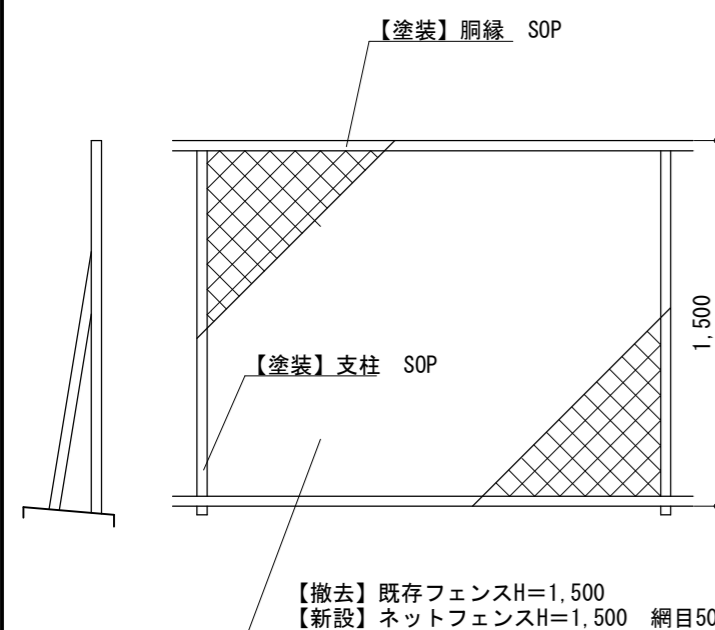


※北校舎笠木上既存フェンス撤去



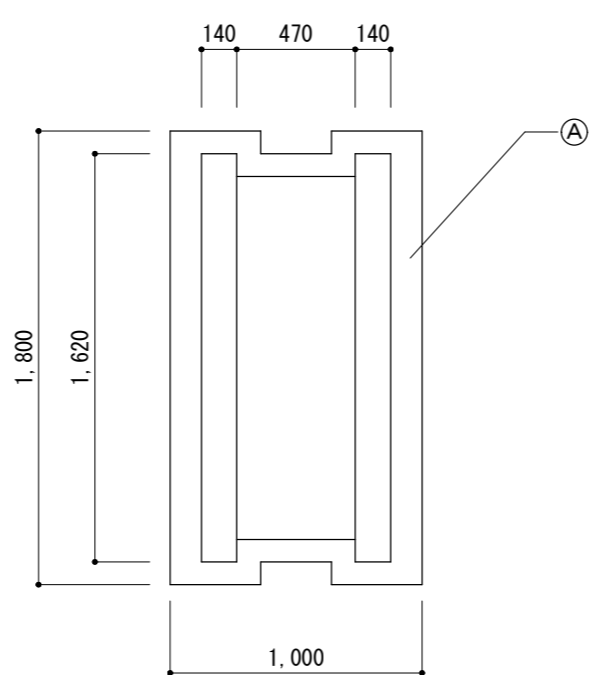
※北校舎 上記フェンス (基礎含む) 新設

12 南校舎屋上フェンス

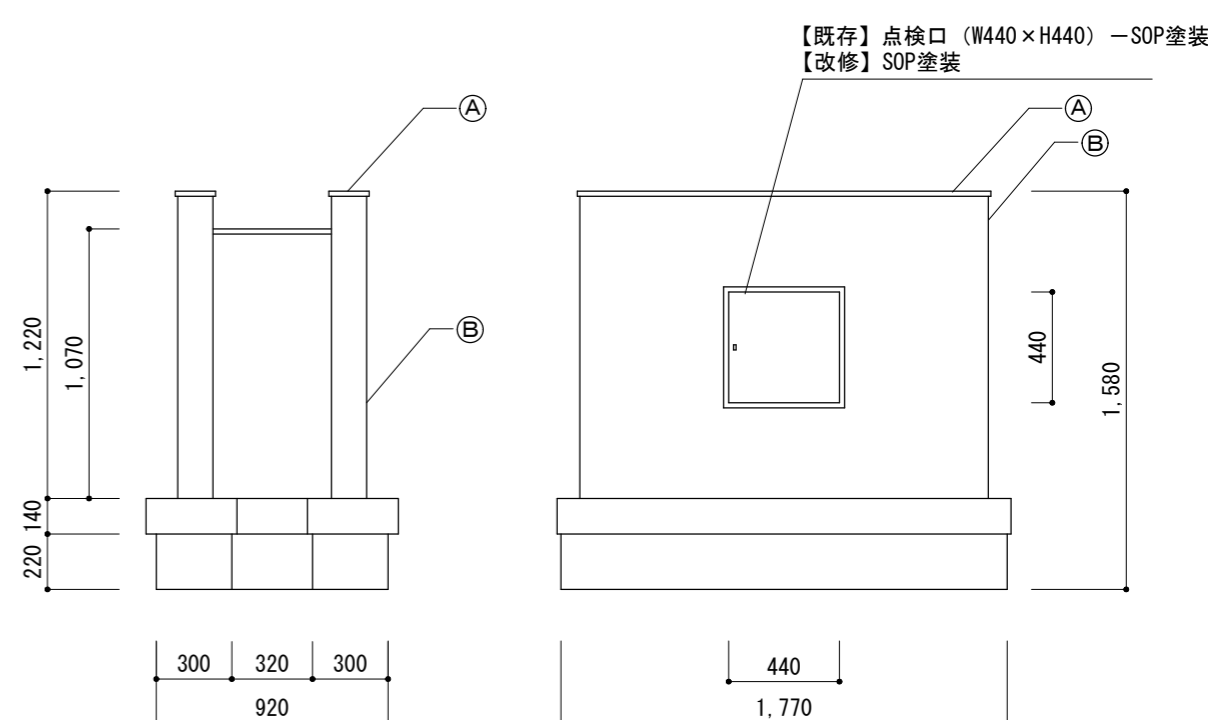


【撤去】既存フェンスH=1,500  
【新設】ネットフェンスH=1,500 網目50mm

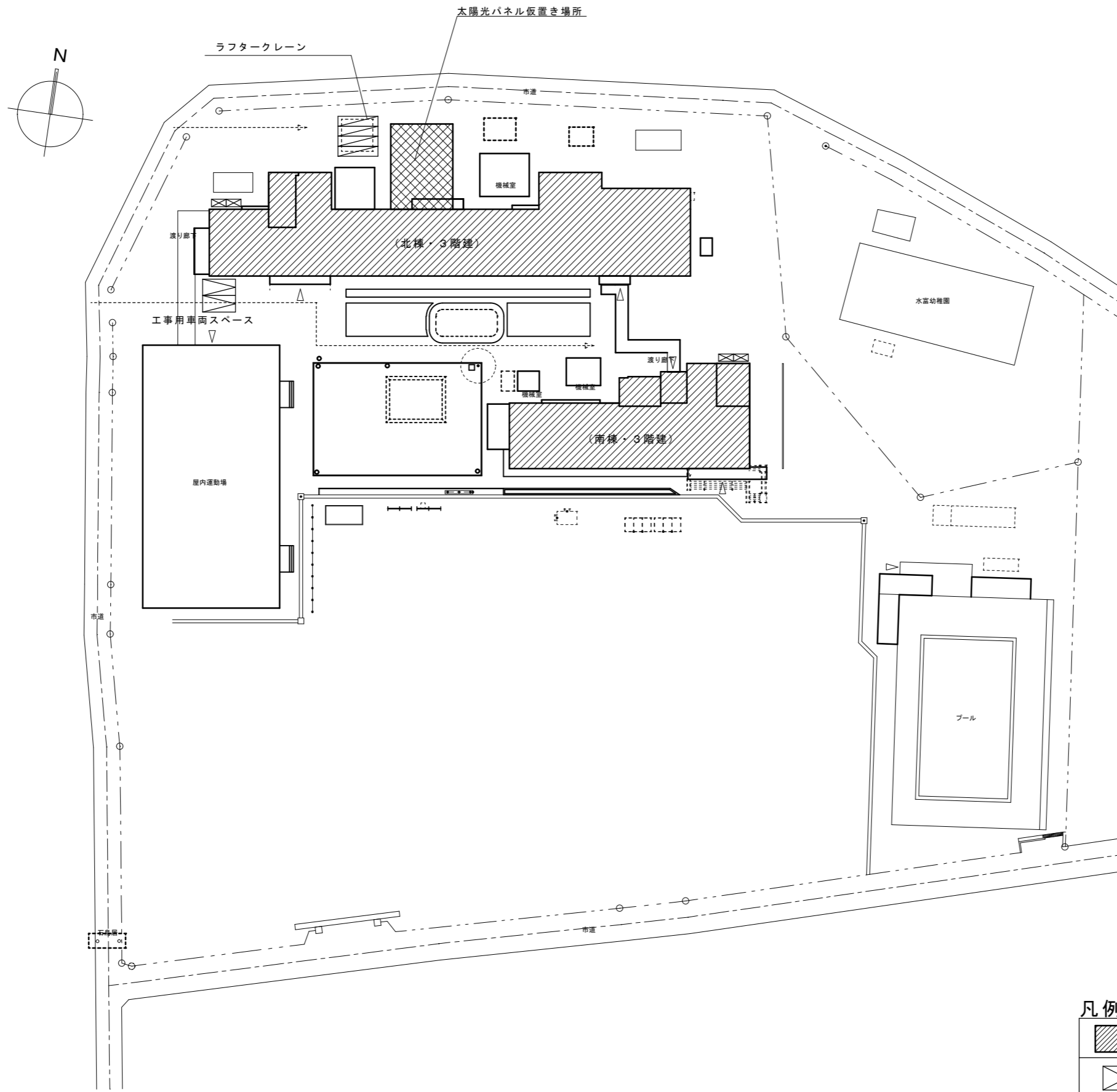
13 南校舎屋上ハト小屋平面図





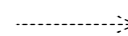
14 南校舎屋上ハト小屋立面図



【既存】点検口 (W440xH440) - SOP塗装  
【改修】SOP塗装



凡例

	工事対象範囲
	くさび緊結式足場（建地幅900） ネット状養生シート張り 防災I類
	搬入経路

		工事名称 狭山市立水富公民館トイレ改修工事及び 狭山市立水富小学校屋上防水改修工事	設計年月
狭山市 生涯学習部 教育施設管理課		図面名称 仮設計画図	縮尺 A2 1/600 図面番号 A-30